

ツ會社財産ヨリ辨濟ヲ得ヘントセリ是レ獨逸ノ合名會社ハ純然タル法人ニ非
スト云フ所以ノ一ナリ

各社員カ會社債務ニ對シテ負フ責任ハ連帶無限ナリ之ヲ合名會社ノ最モ重ナ
ル本質トシ社員間ノ契約ニテ變更スルモ第三者ニ對抗スルヲ得ス社員カ第三
者ニ對シテ負フ此責任ハ自己カ直接ニ負フモノナリ會社ニ代ハリテ負フニ非
ス又會社ヲ通シテ負フニ非ス第一次ノ債務ハ會社ノ債務ナレトモ會社カ其債
務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リテ辨濟ヲ爲スヘキ債務ハ社員ノ負ヘル直接
債務ナリ會社カ債務ヲ負フ當時ヨリシテ既ニ成立シ條件ノ到來ニ依リテ履行
スヘキノミ社員ノ此義務ハ會社解散ノ登記後五年ヲ經過シタルトキハ消滅ス
(一〇三)

會社財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキトハ債務ノ辨濟期ニ
辨濟ヲ請求スルモ之ヲ完済セサルトキナリ單ニ債務ハ財産ヨリモ多キコトヲ
發見シタルトキニ非ス又辨濟ヲ請求シ支拂ハサル爲メニ破産セシメ清算ノ後
ニモ尙完済ヲ得サルトキニ非ス

社員ハ悉ク上述ノ責ヲ負ヒ會社設立ノ時ヨリ入社セルト債務ノ發生前ヨリ入
社セルト或ハ其發生後ニ入社シタルトヲ問ハス他國ノ法律中ニハ社員ハ其入
社前ニ生シタル債務ニ就キテハ責任ヲ負ハストスルモアレハ之ヲ制限スルヲ
得トスルモアレトモ我商法ニテハ然ラサルナリ(六四)又會社ノ債務ニ付キ責任
ヲ負フ者ヲ現社員トスルヲ本則トスルモ債權者ヲ保護スル爲メ更ニ現社員ニ
非サル者ニモ責任ヲ負ハシムルコトアリ即チ退社員ヲシテ退社ノ登記ヲ爲ス
前ニ生シタル會社ノ債務ニ付キ登記後二年間責任ヲ負ハシムルカ如シ(七三)故
ニ同時ニ一人退社シ一人加入スルトキハ會社債務ニ付キ責任ヲ負フ者一人ヲ
増ス理ナリ

退社員ヲシテ退社後モ責任ヲ負ハシムルト同主意ヨリシテ社員ノ出資ノ減少
ハ減少ノ登記後二年間之ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得ストス(六六)
或學者ハ社員カ其出資ヲ減少スルモ社員トシテ存スル以上ハ會社ノ債務ニ關
シ無限責任ヲ負ヘルヲ以テ可ナラヌヤト云フモ其社員カ資力薄弱ニシテ而モ
多クノ債權者ヲ有スル場合ニ出資ノ減少ヲ對抗セラルト否トハ會社債權者ノ

利害ニ影響アリ例ハ社員カ其出資ヲ半減シ之ヲ會社債權者ニ對抗シ得トスレハ會社債權者ハ以前ニハ其社員ノ出資額全部ニ對シテ優先ニ請求シ得タリシニ後ニハ半額ニ對シテノミ優先權ヲ有スルニ止マリ不利益ヲ蒙ルル如シ
 出資ノ減少ニ關シテ恰モ減少セサルト同一ノ有様ニ在ラシムトセハ退社ノ場合ニモ恰モ退社セサルト同一ノ有様ニ在ラシメ退社ノ際ニ於ケル出資額ヲ以テ第一次ニ實ヲ負ハシムヘキニ商法ハ二者ノ間ニ區別シタリ
 終リニ會社ノ外部關係ト云ヒ難キモ而モ之ニ準スヘキモノトシテ本節ニ規定スルモノヲ示サン

第六五條ニ「社員ニ非サル者ニ自己ヲ社員ナリト信セシムヘキ行爲アリタルトキハ其者ハ善意ノ第三者ニ對シテ社員ト同一ノ責任ヲ負フト云ヘリ社員ニ非サル者ノ責任ナルカ故ニ會社關係ニ非サルナリ若シ法律ニ會社ノ商號ニハ必ス社員ノ氏名ヲ用キシメ社員ニ非スシテ其氏名ヲ使用スルコトヲ許シタル者ヲシテ必ス社員ト同責任ヲ負ハシムル規定アリトセハ實質ハ別トシ外形上會社ト關係アリトシテ其規定ヲ會社ノ關係中ニ置クモ可ナレトモ我國ハ會社ノ

商號ニハ如何ナル名稱ヲ用ユルモ可トスルヲ以テ此ノ如キモノヲ會社ノ關係ト云フヲ得ス又我商法ハ商號ノ自由選定及ヒ自由讓渡ノ主義ヲ採ルヲ以テ此規定ノ適用少カルヘシ

社員ニ非サル者カ此ノ如キ行爲ニ關シ善意ノ第三者ニ對シテ社員ト同一ノ責任ヲ負フハ商法ノ規定ナルニ止マリ若シ其行爲ニシテ不法行爲ナルトキハ民法ノ不法行爲ノ實ヲ負フヘク詐欺取財ト爲ルトキハ刑法ノ制裁ヲ受クヘシ

第四節 社員ノ退社

社員ノ各自カ社員タル權利義務ヲ全然消滅セシメテ讓渡スニ非ス(内部關係ニ於テモ外部關係ニ於テモ)社員トシテ會社ト關係ナキニ至ル事實ヲ稱シテ退社ト云フ又社員タル資格ノ喪失ト云フコトアリ

總社員カ合同シテ會社トノ關係ヲ絶ツカ一人ヲ除ク外總テノ社員カ會社トノ關係ヲ絶ツトキハ會社ハ解散シ之ト反對ニ會社カ解散スルトキハ總社員ハ退社スルコトト爲ル會社ヲ法人トスルトキハ各社員ノ死亡破産等ハ直接ニ會社

ニ影響ナキヲ以テ各社員ノ退社ト會社ノ解散トヲ明カニ分チテ説明シ得レトモ會社ヲ法人トセサルトキハ合名會社ハ専ラ社員ノ人ト爲リニ重キヲ置クカ故ニ各社員ノ退社ニ因リテ會社ノ基礎ヲ覆ヘシ勢ヒ解散スト云ハサル可カラサルコトアラン尙ホ立法主義ノ如何ニ依リテ退社ノ事由ニモ差ヲ生シ即チ一人ノ退社ニテモ會社ヲ解散ストセハ退社ニハ成ルヘク重大ノ原因ヲ要スヘク單ニ各社員ノ脱退ニ止マルトスレハ退社ヲ容易ナラシムルナラン

退社ノ事由

退社ノ事由ヲ分チテ當事者ノ意思ニ因ルモノ及ヒ法定ノ事由ニ因ルモノトス大體ニ於テ民法ノ組合員ノ脱退商法ノ匿名組合ノ解除ノ規定ニ類スル所アリ(六九)

當事者ノ意思ニ因ルモノ左ノ如シ

一 定款

定款ニ定メタル事由カ發生スルトキハ他ニ何等ノ行爲ヲモ爲サスシテ社員ハ當然退社スルヲ以テ之ヲ法定ノ事由中ニ列シ得ルモ定款ニ其事由ヲ定メ

タル本源ニ遡リテ之ヲ當事者ノ意思ニ因ル原因中ニ算ス

二 總社員ノ同意

專ラ定款ヲ變更セシテ總社員ノ同意ニ因リテ退社セシムル場合ヲ示スナリ

三 除名

除名ニハ社員ノ一致ニ因ルモノト裁判所ノ命令ニ因ルモノアレトモ通常稱スルモノハ前ノ場合ナリ(七〇)

除名者ニハ退社ノ意思ナキコトヲ要セス或學者ハ除名ニハ除名者ニ退社ノ意思ナキヲ要ス若シ其意思アルトキハ總社員ノ同意ト爲レハナリト云ヘトモ法律ニハ除名ハ除名者ノ意思ニ反スルコトヲ必要ト云ハス觀察ノ主點ヲ他ノ社員ノ一致ニ置キテ除名者ノ意思ヲ問ハサルナリ

同時ニ數人ヲ除名スルモ可ナリ或學者ハ一時ニ一人ニ限ルト云ヒ商法ニ他ノ社員ノ一致トセルハ一人以外ノ一致ヲ示スモノト見ルヘシ若シ然ラスシテ同時ニ數社員ヲ除名シ得トスルトキハ多數決ヲ以テ少數者ヲ除名スル弊

ヲ生ヌ固ヨリ除名ノ原因ハ法律ニ限定セラルルモ其原因中ニハ社員カ重要ナル義務ヲ盡ササルトキト云ヘル漠然タルモノアリテ亂用シ得ル餘地アルナリト論セリ然レトモ商法ニハ除名ハ他ノ社員ノ一致ヲ以テ爲スコトヲ得ト云フニ止マリ除名者ノ數及ヒ除名ニ一致スヘキ社員ノ數ヲモ限定セサルヲ以テ尙クモ法定ノ事實ヲ生シタルトキハ他ノ社員ノ一致ヲ以テ同時ニ數人ヲ除名スルモ可ナリ

以上ハ一括シテ二人以上ノ者ヲ除名スル場合ヲ論シタルナリ數人ノ社員ヲ除名セントスル際其中ノ一人ヲ除名スルコトニ他ノ社員カ一致シ又他ノ一人ヲ除名スルコトニ其他ノ社員カ一致シ此二個ノ除名ヲ同時ニ舉行シ得ルコトハ如何ナル論者モ認ムル所ナリ
除名ヲ爲スコトヲ得ル場合左ノ如シ

(一) 社員カ出資ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ催告ヲ受ケタル後相當ノ期間内ニ出資ヲ爲ササルトキ
出資ノ目的タル特定動産カ滅失シタル爲メニ出資ヲ爲スコト能ハサルカ

或ハ勞力ヲ出資ノ目的ト爲シタル場合ニ疾病傷殘ノ爲メニ之ヲ供スルヲ得サル場合ノ如シ

(二) 社員カ他ノ社員ノ承諾ヲ得スシテ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行為ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲リタルトキ

(三) 社員カ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルニ當リ會社ニ對シテ不正ノ行為ヲ爲シタルトキ
商法ハ社員ヲ除名シ得ル場合ヲ廣ク社員カ會社ニ對シテ不正ノ行為ヲ爲シタル場合トセスシテ業務ヲ執行シ會社ヲ代表スルニ當リテ之ヲ爲シタル場合ニ限ルヲ以テ社員ハ他ノ場合ニ於テ不正ノ行為ヲ爲スモ此規定ニ依リテ除名スルヲ得ヌ余ハ之ヲ改メ社員カ會社ニ對シテ不正ノ行為ヲ爲シタルトキハ如何ナル場合タリトモ除名シ得トセントヲ望ム

(四) 社員ハ會社ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有セサル場合ニ其業務ノ執行ニ干與シタルトキ

(五) 其他社員カ重要ナル義務ヲ盡ササルトキ
上述四個ノ場合ノ或モノハ重要ナル義務ヲ盡ササル例ト爲リ又或モノハ
特別ノ事由ト爲ルナリ

社員ヲ除名シタルトキハ直チニ其旨ヲ其社員ニ通知スヘシ然ラサレハ除名
ヲ其社員ニ對抗スルコトヲ得ヌ之ヲ第三者ニ對抗スルニハ如何ニスヘキカ
ハ他ノ規定ニ依リテ定マル

四 各社員ノ意思

會社ハ契約ニ因リテ成立シ殊ニ合名會社ニ在リテハ社員ハ相互ニ相手方ニ
重キヲ置クヲ以テ隨意ニ退社シ得サルヲ原則トス然レドモ已ムコトヲ得サ
ル事由アルトキハ何時ニテモ退社スルヲ得ヘク又定款ヲ以テ會社ノ存立時
期ヲ定メサリシトキ或ハ或社員ノ終身間會社ノ存續スヘキコトヲ定メタル
トキハ營業年度ノ終ニ於テ退社スルコトヲ得ヘシ(六八)

此外眞ノ退社ニ非サルモ法律ノ規定ニ因リテ退社ト看做ス場合アリ即チ會社
カ存立時期ノ満了其他定款ニ定メタル事由ノ發生ニ因リテ解散スヘキ場合ニ

社員ノ全部又ハ一部ノ同意ヲ以テ會社ヲ繼續スル際同意ヲ爲ササリシ社員ヲ
退社シタルモノト看做スコト是ナリ(七五)

法定ノ事由左ノ如シ

一 社員ノ死亡

法人主義ヲ貫徹セサル法律中ニハ一社員ノ死亡ニ因リテ會社ハ解散ストス
ルモアレハ定款ヲ以テ繼續ヲ定ムルコトヲ得トスルモアリ我商法ハ社員ノ
死亡ヲ會社解散ノ原因トセスシテ其社員ノ退社ニ止メ總社員若クハ一社員
ノ外悉ク死亡スル場合ニ限り解散セシム

社員カ死亡シタル場合ニ其相續人ヲ當然社員トスルコトナシ定款ヲ以テ相
續人ヲ社員トスト定ムルトキハ之ヲ有效トシテ相續人ヲ社員トス獨逸ニテ
ハ之ヲ酷ナリトシ相續人ヲシテ有限責任ニテ社員タルコトヲ繼續スルコト
ヲ請求シ得セシメ他ノ社員カ之ヲ諾スルトキハ其會社ヲ合資會社トシ諾セ
サルトキハ相續人ヲシテ直チニ退社スルコトヲ得セシム

二 社員ノ破産

社員カ破産スルトキハ當然退社シ定款ヲ以テ反對ノ契約ヲ爲スモ無効ナリ
三 社員カ禁治産者ト爲ルトキ

定款ヲ以テ之ニ反スル定款ヲ爲ストキハ如何ニ關シテ二説ヲ生シ有效トスル者ハ社員カ禁治産者ト爲ルモ後見人之ニ代ハリテ法律行爲ヲ爲スヲ以テ可ナリ況ンヤ社員ハ必スシモ常ニ自ラ會社ノ業務ヲ執行シ會社ヲ代表スルヲ要セサルニ於テオヤト云ヒ無効トスル者ハ合名會社ハ社員ノ人ト爲リニ重キヲ置キ禁治産者ト會社ヲ繼續スルコトハ其本質ニ反スト云ヘリ後説ニ依ルトキハ禁治産者ハ合名會社ノ社員ト爲ルヲ得サルナリ

退社ノ效果

退社ノ最大效果ハ退社員ヲシテ社員トシテノ會社トノ關係ヲ消滅セシムルニ在リ之ニ關聯シテ多クノ效果ヲ生ス

社員カ退社スルトキハ持分ノ拂戻ヲ受ク持分ノ拂戻ハ金錢ヲ以テスルニ限ル是レ會社ノ財産ハ法人ノ包括財産ニシテ動産債權等ヲ各分割シテ分配スヘキニ非サレハナリ拂戻ノ爲メニハ會社ノ總財産ヲ計算スヘク多少ノ時日ヲ要ス

ルハ已ムヲ得サルヘシ若シ社員ニシテ長年月間待ツヲ欲セス會社モ亦精細ナル計算ヲ欲セサルトキハ交換更改等ノ方法ニ依リテ一定ノ金額ヲ給付スルカ或ハ債權ヲ設定移轉シテ拂戻ニ代フヘシ

持分ノ拂戻ハ如何ナル社員モ之ヲ受クヘキモノトシ勞務信用ヲ以テ出資ノ目的ト爲シタル者モ亦之ヲ請求スルコトヲ得然レトモ勞務信用ハ他ノ出資ノ目的ト稍異ナルカ故ニ定款ヲ以テ之カ出資者ニハ拂戻ヲ爲サスト定ムルコトヲ得(七)或法律ニテハ此出資者ニハ拂戻ヲ爲ササルヲ原則トセリ

會社ノ商號中ニ退社員ノ氏又ハ氏名ヲ用ヒタルトキハ退社員ハ其氏又ハ氏名ノ使用ヲ止ムヘキコトヲ請求スルコトヲ得(七)退社シナカラ會社ノ商號中ニ之ヲ使用セシムルトキハ社員ニ非スシテ自己ヲ社員ナリト信セシムヘキ行爲ヲ爲シタリト解セラルコトアルヘシ社員ハ理由ヲ述ヘスシテ自己ノ氏名ノ使用ヲ止ムヘキコトヲ請求シ得レトモ會社ノ商號カ退社員ノ氏名ヲ示ス外他ノ社員ノ氏名ヲ示ストキハ退社員ハ其停止ヲ請求スルコトヲ得ス又會社カ一旦其使用ヲ止メタル後更ニ正當ノ理由ニ因リテ之ト同一ノ名稱ヲ用ヒタル場合

ニモ停止ヲ請求スルヲ得サルヘシ法律ニ氏又ハ氏名ト云ヘルヲ以テ名又ハ商號ノ使用ハ停止スルヲ得ストノ解釋ヲ生シ得ルヲ遺憾トス

退社員ハ退社ノ登記前ニ生シタル會社ノ債務ニ付キ登記後二年間責任ヲ負フ

〔七三〕社員カ退社スルトキハ會社トノ關係ヲ消滅セシメ其效果トシテ會社債務ニ付キ直チニ無責任ト爲ルヘキ理ナルモ會社ノ債權者ヲ保護スル爲メ退社ノ登記前ニ生シタル會社ノ債務ニ付キ退社後二年間責任ヲ負ハシムルナリ此責任ハ會社財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ之ヲ辨濟スル責ニシテ從タル債務ナリ一層債權者ヲ保護セント欲セハ社員ノ退社ハ二年間之ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得ストシ全出資ヲ以テ第一次ニ責任ヲ負ハシメ次ヲ全財産ヲ以テ第二次ニ責任ヲ負ハシムルコト出資減少ノ場合ト同一ニヌヘキナリ商法ハ出資ノ減少ハ社員タルコト依然タル場合ニシテ退社ハ社員タルコトヲ止メタル場合ナリトシテ差異ヲ設ケタルモ債權者ヨリ見レハ何レノ場合ニモ其社員ノ出資額ヲ標準トシテ會社ト取引シタルモノナルヲ以テ之ヲ保護スル爲メニハ同一ニ規定セサルヘカラス

社員カ他ノ社員ノ承諾ヲ得テ持分ヲ讓渡シタル場合ニモ二年間ハ前述ノ責任ヲ負フ亦第三者ヲ保護スル爲メナリ此場合ニハ債權者ハ同一ノ債權ニ關シテ擔保的ノ義務ヲ負フ者ヲ多ク得ルコトト爲ル

第五節 解散

會社ノ解散ハ人格ノ消滅ナリ會社ノ設立ヲ自然人ノ出生ニ比スルト等シク解散ヲ自然人ノ死亡ニ比スルコトアリ會社カ消滅スルトキハ最早何等ノ行爲ヲモ爲シ得サルヲ原則トス假令社員及ヒ第三者ノ利益ヲ慮カリ清算ノ範圍内ニ於テハ尙存續スルモノト看做スコトアルモ其存續ハ獨逸學者ノ所謂一部ノ存續ニシテ清算以外ニ存セサルヲ以テ商業ヲ目的トセル法人ハ消滅シ會社ノ本質ハ無ニ歸スルナリ

會社解散ノ法理ハ從來商法學者ノ詳論スル所ニシテ社員ノ退社ニ比シテ一層精密ナルモ根本ノ法理ニ於テハ一般法人ノ解散ニ於ケルト同一ナルヲ以テ茲ニ説明セス

解散ノ事由

解散ノ事由ヲ分チテ當事者ノ意思ニ因ルモノ、法定ノ事由ニ因ルモノ、及ビ裁判所ノ命令ニ因ルモノトス

當事者ノ意思ニ因ルモノ左ノ如シ

一 定款

當事者ハ會社ノ存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定ムルコトアリ之ヲ定メタルトキハ必ス定款ニ記載シ且登記スヘシ(五)一旦定メタル後ハ其時期ノ滿了若クハ其事由ノ發生ニ因リテ會社ハ當然解散スルヲ以テ法定事由中ニ列スルヲ得ルモ定款ヲ作ル本源ニ遡リテ之ヲ當事者ノ意思ニ因ル原因中ニ算スル會社ノ存立時期到來スルカ或ハ解散ノ事由發生シテ會社カ當然解散スルトキハ其後其會社ノ事業ヲ繼續セントスルニハ更ニ會社ヲ設立スルヲ要スル理ナリ然レトモ社運隆々タルニ當然解散セシメ而シテ更ニ設立セシムルヲ不便トシ法ハ此場合ニ社員ヲシテ其儘ニ會社ヲ繼續シ得セシムル途ヲ講シタリ即チ社員ノ全部又ハ一部ノ同意ヲ以テ會社ヲ繼續スルコトヲ得セシメ

タリ(七五)繼續ニハ社員一部ノ同意ニテモ可トシ其數ヲ制限セサルヲ以テ單ニ二人ノ社員カ繼續ニ同意スルモ可ナリ他ノ社員會社ノ債權者債務者等ハ之ニ異議ヲ唱フルヲ得ス然レトモ不同意ノ社員ヲシテ強ヒテ繼續會社ノ社員タラシムルヲ得ストシ不同意者ハ退社シタルモノト看做シ之ニ對シテ持分ノ拂戻其他退社ニ伴フ諸行爲ヲ爲サシム

繼續シタル會社ハ繼續前ノ會社ト同一ノ人格ナリ同一ノ合名會社ハ存續スルナリ其權利義務ハ繼續前ノ會社ノ權利義務其モノナリ舊權利舊義務ヲ消滅シテ新權利新義務ヲ生シタルニ非ス又繼續前ノ會社ノ權利義務ヲ承繼シタルニモ非ス畢竟更改承認等ノ行爲ヲ要セサラシムル爲メニ斯カル規定ヲ設ケタルナリ

二 總社員ノ同意

三 合併

合併ニハ總社員ノ同意ヲ要スルヲ以テ合併ハ總社員ノ同意ノ一例ニ過キサルモ普通ノ場合ト異ナリテ決議ノ形式ニ顯ハルルヲ要ス商法ニハ合併ノ條

件手續效力等ニ關シテ合名會社ノ章ニ規定スルモ他ノ凡テノ會社ニ共通準用スルヲ以テ余ハ總則ニテ説明シタリ

四 各社員ノ意思

已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ會社ノ解散ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘク裁判所ハ此請求ヲ至當ト認ムルトキハ解散ヲ命ス(八三)之ヲ裁判所ノ命令ニ因ル解散中ニ入ルモ可ナレトモイニシヤチーヴヲ採ル者ハ各社員ナルヲ以テ當事者ノ意思ニ因ル解散中ニ入レタリ
已ムヲ得サル事由ハ到底各場合ニ決セサルヘカラサレトモ例ハ社員中ニ業務ヲ執行スル適任者ナキカ業務執行社員間ニ軋轢アリテ事業ヲ繼續シ得サル場合等ナリ資産ノ減少經濟界ノ變動等モ亦此事由ト爲ルコトアラン此ノ如キ場合ニ各社員ハ退社シテ持分ノ拂戻ヲ受ケ得ルヲ以テ必スシモ會社ノ解散ヲ請求スル權ヲ與ヘストモ可ナリト云ハンモ退社シテ持分ノ拂戻ヲ受クルト清算ニ依リテ之ヲ受クルトノ間ニハ差アルカ故ニ解散請求權ヲ與ヘタルナリ然レトモ會社ノ解散ハ他ノ社員及ヒ會社ト取引スル第三者ノ利害

ニ影響スル所大ナルヲ以テ裁判所ハ認定ニ當リ慎重ヲ加ヘサルヘカラス同シク已ムコトヲ得サル事由ト云フモ退社ノ場合ハ多クハ社員ノ一身上ノ事由ニシテ解散ノ場合ハ會社全體ニ關スル事由ナリ

或社員カ會社ノ解散ヲ請求スルモ裁判所カ解散ヲ命令スル丈ノ事由ナシト認ムルトキハ解散ヲ命セス又裁判所ハ其事由アリト認ムルモ社員カ解散ヲ請求セスシテ或社員ノ除名ヲ請求シタルトキハ其社員ヲ除名ス之ニ依リ成ルヘク解散ニ至ラスシテ止マシメ且除名ノ事由ノ遺漏ヲ補足シタリ

法定ノ事由左ノ如シ

- 一 會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能
- 事業ノ成功モ其成功ノ不能モ所詮ハ裁判所ノ認定ニ歸スルヲ以テ寧ロ始メヨリ之ヲ裁判所ノ命令ニ因ル解散原因トスヘシト云フ者アレトモ裁判所ハ爭アル場合ニ之ヲ認定スルニ止マリ會社ハ事實ノ發生ニ因リテ當然解散スルヲ以テ法定ノ事由ニ因ル解散トセサルヘカラス極端ノ場合ヲ想像スルトキハ社員ハ悉ク事業ノ成功ヲ信シ居ルニ成功ハ不能ト爲リ居リテ會社ハ自

然ニ解散セルコトアラシ

二 社員カ一人ト爲リタルトキ

社團法人ノ消滅ニ關シテハ多クノ既ヲ生シ或者ハ社團法人ノ成立ニハ社員ハ二人以上アルヲ要スルモ一旦成立シタル後ハ社員ハ全缺スルモ可ナリト云ヒ或者ハ社團法人タルニハ少クトモ一人ノ社員アルヲ要スト云ヒ又或者ハ社團法人ノ本質トシテ常ニ二人以上ヲ要スト云ヘリ民法ノ法人ニ在リテハ社員ハ一人ニテモ可ナレトモ商法ハ明文ヲ以テ會社ノ社員カ一人ト爲リタルトキハ會社ハ解散ストシタリ是レ一般法人ト商業ヲ目的トスル會社トノ間ニ差アリト認メタルニ由ル合名會社ノ社員カ二人ナル場合ニハ一人ノ死亡ニ因リテ突然會社カ解散スルコトアルヲ以テ其際ニ相續人ト會社ヲ繼續セント欲セハ豫メ定款ヲ以テ社員カ死亡スルトキハ直チニ相續人ヲ社員トスト定ムヘシ

三 會社ノ破産

會社ハ破産スルトキハ行爲能力ノ大部分ヲ失フヲ以テ解散スヘキハ當然ナ

リ或國ハ社員ノ一人破産スルモ會社ヲ解散セシムルモ合名會社ヲ純然タル法人トシタル我國ニテハ之ニ從ヒ難シ或學者ハ會社カ支拂ヲ停止スルトキハ之ヲ解散セシメント主張スルモ我國ハ之ヲ探ラス又他國法ニハ會社カ破産シタル後ニモ債權者ノ協議ヲ以テ會社ヲ繼續セシムルコトヲ得トスルモ特別ノ規定ナキ限りハ此ノ如ク解スルヲ得ス

裁判所ノ命令ニ因ルモノ
會社ノ解散ハ裁判所カ職權ヲ以テ命令スルコトアリ檢事ノ請求ニ因リテスルコトアリ又當事者ノ請求ニ因ルコトアリ然レトモ當事者ノ請求ニ因ルモノハ當事者ノ意思ニ因ル解散中ニ入ルヲ可ト信シタリ其他ノ場合ハ主トシテ公權ノ發動ヨリスル解散ニシテ重ナルモノハ會社カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタル場合ナリ(四八、四七、八三)

解散ノ效果

合名會社ノ解散ノ效果ハ合名會社ヲシテ營業會社トシテノ存在ヲ消滅セシムルニ在リ假令清算ノ目的ノ範圍内ニ於テ存續スルモ商業ヲ目的トセル會社カ

商業ヲ爲シ得サルニ至リタルヲ以テ既ニ其本質ヲ失ヒ遺骸ノミ存スト云フモ可ナリ

會社カ解散シタルトキハ合併及ヒ破産ノ場合ヲ除ク外二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス合併ノ場合ニハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ニ付テハ合併後二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲サシムルヲ以テ(七六、八一)茲ニ之ヲ除外シ破産ノ場合ニハ破産法ノ規定ニ依リテ登記セシムルヲ以テ同シク除外ス

組織變更

會社ハ其組織ヲ變更シテ他種ノ會社ト爲スコトヲ得之ヲ組織變更ト稱シ廣ク各種ノ會社間ニ變更ヲ認ムル主義僅カニ二三ノ會社間ニ之ヲ認ムル主義及ヒ全然認メサル主義アリ改正規定ハ合名會社ヲ合資會社ニ合資會社ヲ合名會社ニ又株式合資會社ヲ株式會社ニ變更スルコトヲ認ム
合名會社ハ其組織ヲ變更シテ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得(八三ノ二、四)
合名會社ヲ合資會社ニ變更スル方法ノ中ニハ從來ノ社員中ノ或者ヲ有限責任

社員ニ變シテ兩種ノ社員ヲ作り以テ合資會社ト爲スコトアリ之ヲ現員變更ト稱ス變更ノ際ニ尙ホ多クノ無限責任社員ヲ入ルモ可トシ同シク廣意ノ現員變更ニ合マシム又從來ノ社員ハ其儘ニ存シ新タニ有限責任社員ヲ加入セシメテ合資會社ト爲スコトアリ之ヲ加入變更ト稱ス何レノ場合ニ於テモ組織ノ變更ニハ總社員ノ同意ヲ要スルハ當然ナリ

組織變更ノ場合ニハ法人ハ維然同一ノ法人トシテ存續スルモ組織ハ變更シ前ノ形式消滅シテ新ナル形式ヲ生スルヲ以テ形式ニ於テハ合名會社ヲ解散シテ合資會社ヲ新設シタルニ等シ故ニ第三者ニ之ヲ知ラシムル爲メ合名會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ合資會社ニ付テハ設立登記ニ等シキ登記ヲ爲サシム(八三三ノ)

法人ノ存續形式ノ變更及ヒ之ニ伴フ登記ノ必要ニ關シテハ二種ノ變更ノ間ニ差ナキモ債權者ヲ保護スル點ニ於テハ異ナレリ加入變更ノ場合ニハ新タニ有限責任社員ヲ増加スルコトナルヲ以テ債權者ニハ利アリテ害ナキモ現員變更ノ場合ニハ之ト異ナリテ或社員ノ無限責任ヲ變シテ有限責任ト爲スコトナル

ヲ以テ之ニ應シテ債權者ヲ保護セサルヘカラス從テ會社カ其組織ヲ變更セシトスルトキハ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り債權者ニ對シテ異議ヲ公告催告シ債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ辨濟ヲ爲スカ擔保ヲ供スルコトヲ必要トス法律ニハ現員變更ノ場合ニハ異議アル債權者ニ辨濟ヲ爲スニ非サレハ組織ノ變更ヲ爲スコトヲ得ストスルニ會社カ辨濟ヲ爲サスシテ變更スルトキハ如何組織變更ハ全爲無効ナルカ或ハ全然有效ニシテ異議債權者ニモ對抗シ得ラレ唯彼等ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ負フニ止マルカノ疑ヲ生スルモ改正規定ノ主意ハ何レニモ非ス改正規定ニハ會社ハ組織變更ニ付キ異議債權者ニ辨濟ヲ爲シタル後ニ登記ヲ爲スヲ要ストシ辨濟スルニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ストセリ而シテ登記ヲ爲サレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得サルヲ以テ此場合ニハ會社ハ組織ノ變更ヲ第三者ニ對抗スルヲ得ス而モ當事者間ニハ變更ハ成立スト解スヘキナリ之ヲ正解トシ立法論トシテ研究スヘキハ何故此點ニ關シテ合併ト組織變更トヲ區別シタルヤノ點ニ在リ(七九三項)

第六節 清算

會社ノ清算トハ會社ノ解散後ニ會社財産ヲ處分スル包括行爲ナリ或學者ハ清算ハ會社財産ヲ金錢ニ換フル行爲ナリトカ金錢ニ換フルコトニ歸著スル行爲ナリト云フモ然ラス清算ハ會社解散ノ時ヨリ財産分配ノ終結ニ至ルマテニ爲スヘキ數多ノ行爲ヲ總合シ其中ニハ現務ノ結了アリ債權ノ取立アリ債務ノ辨濟アリ殘餘財産ノ分配アリ決シテ財産ヲ金錢ニ換フルニ止マラス又必スシモ常ニ金錢ニ換フルヲ要セス

會社カ解散スルトキハ法人ハ消滅シ法人ハ消滅スルトキハ其權利義務ハ無主物ト爲ル理ナルモ社員タリシ者ヲ相續人ノ如ク見テ會社ノ權義ヲ承繼セシムヘキナリ唯直接ニ之ヲ承繼セシムルトキハ會社ノ債權者及ヒ社員各自ノ債權者ニ損害ヲ醸スコトアリ且會社ヲ法人トシタル主意ニ反スルヲ以テ他ノ處分方法ヲ規定ス而シテ清算ノ便宜ヨリシテ會社ハ存在スルモノノ如クスルナリ多數國ノ法律ニ於テ會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尙ホ

存續スルモノト看做ストスルハ之ニ由ルモノニシテ我商法モ其一ナリ(八四)主要ノ目的ヨリ見テ會社ハ消滅シ或目的ノ爲メニノミ存スルヲ以テ獨逸ノ學者ハ清算中ノ會社ヲ評シテ死後ノ生活ト稱シ獨逸商法ハ其會社ノ清算中ナルヲ明カニスル爲メ商號中ニ清算中ノ會社タルコトヲ示サシム

清算ノ種類

會社カ消滅スル場合ニ會社財産ヲ處分スル方法三種アリ法定清算任意清算及ヒ破産又ハ合併後ノ處分是ナリ

一 法定清算

法定清算ハ狹義ニ於ケル清算ニシテ單ニ清算ト稱スルトキハ屢法定清算ヲ指スコトアリ會社解散ノ場合ニ如何ニ其財産ヲ處分スヘキカ何人カ之ヲ爲スヘキカ等ヲ法律ニ定メ第六節清算ト題スル規定ノ多クハ之カ爲メニ生ス立法論トシテ會社消滅後ノ財産處分ハ悉ク同一ノ規定ニ依ラシムヘシ清算ハ悉ク法定清算トスヘシト云フ者アルモ必スシモ而カスルヲ得サルヲ以テ法定清算ヲ原則トシ他ニ例外ヲ認ム

二 任意清算

任意清算ハ會社カ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ會社財産ノ處分方法ヲ定メテ之ヲ遂行スルコトナリ會社ノ未タ發達セス又法人ト爲ラサル時代ニ在リテハ會社財産ノ處分方法ハ契約ニ依リテ定マリ特別ノ現象ハ値ニ破産ノ場合ニ遇キサリシモ會社カ單純ナル契約關係ヨリ進ンテ團體關係ト爲リ遂ニ法人ト爲ルニ至リテ解散後ノ處分ニ關スル特別規定ヲ生シ之ニ從ヒテ爲ス處分ヲ法定ノ清算ト稱シ後ニ法定ノ清算ヲ原則トシ任意ノ清算ハ例外トシ遂ニハ任意清算ヲ禁スヘシトノ論サヘモ生スルニ至リシナリ然レトモ合名會社ハ少數人間ノ團體ニシテ専ラ相互ノ信用ヲ以テ立ツモノナレハ必スシモ常ニ法定ノ處分方法ニ依ラシムル必要ナシ要ハ第三者ニ損害ヲ禁ラシメサルニ在リ

任意清算ノ場合ニハ會社ハ其解散ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り債權者ニ對シ其處分方法ニ對シテ異議ヲ述フヘキ旨ヲ公告催告シ異議ヲ述ヘタル者ニハ辨濟ヲ爲スカ相當ノ擔保ヲ供スヘシ債權者カ異議

ヲ述ヘタルニ拘ハラヌ辨濟ヲ爲サス又ハ擔保ヲモ供セスシテ會社財産ヲ處分シタルトキハ之ヲ其債權者ニ對抗スルコトヲ得テ債權者ハ既ニ處分セラレタル財産ヲ未タ處分セラレサルモノト看做シテ追及シ得ルナリ此ノ如クスルモ若シ其財産ニシテ更ニ處分セラレテ善意ノ第三者ニ歸スルトキハ會社ノ債權者ハ如何トモスルヲ得サルヲ以テ此規定ハ未タ十分ニ會社ノ債權者ヲ保護スルニ足ラス

會社カ法定清算ヲ爲ストハ任意清算ヲ爲ストハ隨意ナルモ二者ヲ折衷スルヲ得テ法定清算ニハ債權者ニ異議ヲ述ヘシムルヲ要セサル利益アリ任意清算ニハ債務ノ辨濟ヲ終ラサル前ニ會社財産ヲ分配シ得ル利益アリ故ニ若シ二種ノ清算ヲ混合取捨スルコトヲ許ストキハ會社ハ之ヲ濫用シテ第三者ヲ害スレハナリ

三、破産又ハ合併後ノ處分

會社カ破産ニ因リテ解散スルトキハ破産法ノ手續ニ從ヒテ財産ノ處分ヲ爲スヘシ此處分モ亦一種ノ清算ナルモ其手續大ニ普通清算ニ於ケルト異ナル

ヲ以テ清算ト云ハス商法モ亦之ヲ清算中ヨリ除外セリ會社カ合併スル場合ニハ其財産ヲ舉ケテ他ノ會社ニ移轉セシムルヲ以テ財産ノ包括的處分ト爲リ清算ニ非ス合併ノ一大理由ハ會社ヲシテ清算ノ要ナカラシムルニ在ルヲ以テ之ヲ清算中ヨリ除外シタルハ當然ナリ

三種ノ處分方法中最モ重ナルモノハ法定清算ナルヲ以テ以下專ラ法定清算ニ關シテ述フヘシ

清算ノ種類

法定清算ヲ爲ス者ヲ法定清算人トシ略シテ清算人ト稱ス會社解散ノ後ニ法律ノ規定ニ從ヒテ會社財産ノ處分ヲ爲ス權義ヲ有スル者ナリ三種アリ

一 總社員

清算ハ總社員之ヲ爲スヲ本則トス合名會社ノ社員ハ會社解散ノ場合ニ當然清算人ト爲ルヘキ者ナルヲ以テ之ヲ生シナカラノ清算人ト稱ス清算人ト爲ルハ社員ノ權利タルト同時ニ義務ニシテ社員ハ漫リニ之ヲ辭スルコトヲ得ヌ又他ノ社員ノ一致ヲ以テ或社員ヲ清算人中ヨリ排斥スルコトヲモ得サル

ナリ

社員ハ清算人タルコトヲ辭スルヲ得ス法律ニハ清算ハ總社員又ハ其選任シタル者ニ於テ之ヲ爲スト云フニ止マリ業務執行ノ如ク之ヲ爲ス權利及ヒ義務ヲ有スト云ハサルモ主意ニ於テハ同一ニシテ社員ニハ清算ノ義務アルヲ以テ漫ニ辭スルヲ得サルナリ(八七、五六)社員カ之ヲ辭スルトキハ清算ヲ爲ス者ナキニ至リ第三者ニ損害ヲ醸シ一般經濟ニ害アルヘシ社員ハ已ムコトヲ得サル事由アルモ之ヲ辭スルヲ得ス法律ニハ已ムコトヲ得サル場合ニ或事ヲ許ス爲メニハ特ニ明文ヲ置クニ(六八、八三)清算ニ關シテハ社員ハ已ムコトヲ得サルトキハ清算人タルコトヲ辭スルヲ得ト云ハサレハナリ組合ニ關シテモ清算人ニ選任セラレタル組合員ハ正當ノ事由アルトキハ之ヲ辭スルコトヲ得トスルモ選任セラレサル當然ノ清算人タル總組合員ハ之ヲ辭スルコトヲ得ストスルヲ以テ合資會社ニ在リテモ生レナカラノ清算人ハ如何ナル場合ニモ之ヲ辭スルヲ得スト解セサルヘカラス

吾人カ總テノ社員カ清算人タルコトヲ辭スレハ清算人ナキニ至ラント云フ

ニ對シテ或者ハ總テノ社員カ清算人タルコトヲ辭スルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任スルヲ以テ可ナリト云フモ我國法ニハ裁判所カ清算人ヲ選任シ得ル場合ヲ限定スルヲ以テ其他ノ場合ニ之ヲ選任シ得サルヘシ假ニ裁判所ハ凡テノ場合ニ選任シ得トスルモ選任セラレタル者カ清算人タルコトヲ辭スルトキハ如何トモスルヲ得ス故ニ公平ニ總社員ニ其負擔ヲ課スルヲ正當トス

社員ハ自己ノ意思ニ反シテ清算人中ヨリ除外セラルコトナシ換言スレハ社員ノ過半数若ハ一致ヲ以テモ或社員ノ清算人ト爲ル權利ヲ奪フコトヲ得ス法律ニハ除名其他ノ事項ニ關シテハ他ノ社員ノ決議ヲ以テ或社員ヲ排斥シ得ルコトヲ定ムルモ清算ニ關シテハ此定ナキカ故ニ此ノ如ク解シ尙ホ清算ニ關シテハ必ス總社員ノ權利ヲ認ムヘキ理由アルナリ或學者ハ過半数ノ同意ヲ以テ或社員ノ清算人ト爲ル權利ヲ奪フコトヲ得トシ其理由トシテ商法第八七條ニ「清算ハ總社員又ハ其選任シタル者ニ於テ之ヲ爲ス清算人ノ選任ハ社員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ストセルヲ撥用シ社員ノ過半数ヲ以テ或社員

ヲ清算人トシ其結果トシテ他ノ社員ヲ排斥スルコトヲ得ト云ヘト誤ナリ商
 法ハ先ツ清算ハ總社員ニテ爲スカ又ハ選任シタル者ヲシテ之ヲ爲サシムル
 カヲ規定シ總社員ノ意見ニテ特ニ清算人ヲ選任スト定メタル後何人ヲ之ニ
 充ツルカハ過半数ヲ以テ決スト規定シタルナリ決シテ始ヨリ社員ノ過半数
 ヲ以テ或者ヲ選任スルコトヲ得ト規定シタルニ非ス清算ハ各社員ニ利害ノ
 大關係ヲ有スルコト、清算人ニハ社員外ノ者ヲモ選任シ得ルコト等ヲ觀察ス
 ルトキハ益嚴正ニ法文ヲ解シテ多數壓制ノ弊ヲ防カサルヘカラス業務執行
 社員ノ選任ニ關スル規定ト比較研究スルトキハ益此決論ノ正シキヲ知ル
 社員カ死亡シタル場合ニハ相續人ヲシテ社員ノ權利ヲ行ハシム(一〇)會社
 ニ新タニ社員ヲ加入セシムルニハ總社員ノ同意ヲ要シ社員ノ死亡後ニ相續
 人ヲ社員ト爲スコトニ關シテモ亦之ヲ要スルモ清算ハ會社事業ノ續行ト異
 ナリテ現務ノ結了、財産ノ分配ヲ爲ス等ニ止マルヲ以テ相續人ニモ此權利ヲ
 與ヘテ可ナルヘク又之ヲ與ヘサルヘカラス或社員カ死亡ニ因リテ退社スル
 場合ニ會社カ相續人ニ持分ヲ拂戻ス爲メ清算ニ類スル行爲ヲ爲スヲ知ラハ

解散ノ際相續人ヲ加入セシメテ共ニ清算ヲ爲スハ當然ナリ社員カ死亡シタ
 ル場合ニ相續人數人アルトキハ清算ニ關シテ社員ノ權利ヲ行フヘキ者一人
 ヲ定ムルコトヲ要ス數人ノ社員死亡シ相續人ハ同一人ナル場合ニ其一人ニ
 テ數人ノ社員ノ權利ヲ個々ニ行フコトヲ得ス

二 社員ノ選任ニ因ル清算人

清算ハ總社員ニ於テ之ヲ爲スヲ本則トスルモ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ或者
 ヲ選任シテ清算ヲ爲サシムルコトヲ得定款ヲ以テ定ムルコトアレハ單純ナ
 ル總社員ノ同意ヲ以テ定ムルコトアリ何レニスルモ先ツ特定清算人ヲ選任
 スルコトニ一致シ然ル後何人ヲ之ニ充ツヘキカヲ決議ス人選ノ決議ハ社員
 ノ過半数ヲ以テ決シ若シ過半数ヲ得サルトキハ清算人ト爲ル者ナキニヨリ
 本則ニ還リテ總社員ニテ清算ス

清算人ト爲ル者ハ社員ニテモ可ナリ社員外ノ者ニテモ可ナリ清算ハ會社解
 散後ノ處分ニシテ營業ト異ナルヲ以テ清算人ヲ社員ニ限定スルヲ要セス會
 社及ヒ第三者ノ爲メニ誠實迅速ニ殘務ヲ結了スルカアル者ナレハ足レリ殊

ニ清算ハ一種ノ技術ナルヲ以テ往々専門家ヲ入ル必要アラシク社員外ノ者カ
選任ノ申込ヲ受ケタル場合ニ之ヲ承諾スルカ否カハ自己ノ隨意ナルハ勿論
社員タリトモ之ヲ辭スルコトヲ得或社員ハ他ノ社員ヨリモ多クノ負擔ヲ負
ハシメラル理由ナシ

選任ニ因ル清算人ハ社員ノ過半数ヲ以テ何時ニテモ解任スルコトヲ得解任
ニ豫告ヲ要セス又正當ノ理由アルヲ要セス正當ノ理由ナクシテ解任シタル
爲メニ清算人ニ損害ヲ生スルモ之ヲ賠償スルヲ要セス船舶所有者ハ何時ニ
テモ船長ヲ解任スルコトヲ得正當ノ理由ナクシテ解任シタルトキハ之ニ因
リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシト明言セルニ清算人ノ場合ニハ之ヲ明言セ
サレハナリ(九六、五七四)且清算人ト船長トノ間ニハ情態ノ異ナル所アルヲ以
テ船長ニハ賠償ノ請求權ヲ與フルモ清算人ニハ殊更ニ之ヲ與ヘサルモノト
解シ得ルナリ賠償ヲ與ヘサル立法ノ可否ハ別トシ清算人ハ廣大ナル權限ヲ
有シテ財産ノ處分ヲ爲ス者ナルニ社員ノ多數カ之ヲ信セサルトキハ一日モ
安心スルヲ得サルヲ以テ何時ニテモ解任スルコトヲ得セシムルナリ清算人

ノ選任又ハ解任ヲ議決スル社員ノ過半数ニハ選任又ハ解任當時ノ現在數ヲ
標準トス

清算人ノ解任ハ社員ノ過半数ノ決議ヲ以テスルヲ通常トスルモ重要ナル事
由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得
例ハ或清算人カ殊更ニ不公平ナル處分ヲ爲スカ或ハ破廉罪又ハ信用ヲ害
スル罪ヲ犯シタル場合ノ如シ

三 裁判所ノ選任ニ因ル清算人

會社ハ裁判所ノ命令ニ因リテ解散スルコトアリ例ハ會社カ公ケノ秩序又ハ
善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタ
ル後六ヶ月内ニ開業ヲ爲ササルトキ已ムコトヲ得サル事由アリトシテ社員
ヨリ解散ヲ請求シタル際ノ如シ其場合ニハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因
リテ清算人ヲ選任ス又會社ハ社員カ一人ト爲リテ解散スルコトアリ其場合
ニハ利害關係人ノ請求ニ因リテ清算人ヲ選任ス
裁判所ノ選任シタル清算人ハ社員ノ隨意ニ之ヲ解任スルコトヲ得ス何等特

別ノ規定ナキトキハ清算人ヲ解任スル權アル者ハ之ヲ選任シタル者ナレハナリ裁判所カ利害關係人ノ請求ニ因リテ選任シタル者ヲモ利害關係人ノ隨意ニ解任スルコトヲ得ス清算人ノ同意アルモ未タ可ナラス必スヤ再ヒ裁判所ニ其解任ヲ請求セサルヘカラス

清算人ノ選任、解任又ハ變更ハ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記スルコトヲ要ス選任ナルトキハ選任セラレタル清算人自ラ登記スヘク解任ナルトキハ殘存スル清算人登記スヘシ變更ニ關シテモ亦同一ナリ選任登記トシテ爲スヘキコトハ清算人ノ氏名住所トシテ特定ノ代表清算人ヲ定メタルトキハ其氏名、共同代表者ヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定トス解任登記ハ抹消登記ヲ爲スニ止マル(九〇、九七)

清算人ノ職務

清算人ノ職務ナル語ニハ廣狹ノ二義アリ廣義ニ於テハ清算人カ清算人トシテ爲スヘキ一切ノ事項ヲ云ヒ狹義ニ於テハ清算人ノ爲スヘキ事項中重要ナルモノヲ云フ我商法ハ狹義ヲ採リ清算人ノ職務ハ現務ノ結了、債權ノ取立債務ノ辨

濟及ヒ殘餘財産ノ分配ナリトシ之ヲ爲スニ先チテ要スル手續之ヲ爲シ終ハリタル後ニ爲スヘキ手續等ハ其中ニ入レス即チ清算人ノ職務トシテハ重要ナル事項ヲ掲ケ他ノ事項ハ附屬ト見タリ

清算人ハ選任セラレタルトキハ二週間内ニ自己ノ氏名住所ヲ登記シ就職ノ後遲滯ナク會社財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作りテ之ヲ社員ニ交付シ社員ノ請求アルトキハ毎月清算ノ狀況ヲ報告スヘシ現務ヲ結了シ債權ヲ取立テ債務ヲ辨濟シ會社ノ現存財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルトキハ社員ヲシテ出資ヲ爲サシメ債務ヲ辨濟シタル後ニ殘餘財産アルトキハ之ヲ社員ニ分配シ此等ノ任務ヲ終了シタルトキハ遲滯ナク計算ヲ爲シテ各社員ノ承認ヲ求メ清算カ結了シタルトキハ遲滯ナク其登記ヲ爲スヘシ之ヲ概括的説明トシ此外清算中ニ會社財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スヘキ職務アリ任務終了ノ後計算ヲ爲シテ各社員ノ承認ヲ求メタルニ或社員カ異議ヲ述ヘタルトキハ之ニ應スル手段ヲ取ルヲ要スルコトアリ細別スルトキハ

極メテ多端ト爲ルヘシ

重要ナル職務即チ商法自ラ清算人ノ職務ト云ヘルモノ左ノ如シ

一 現務ノ結了

會社ハ解散スルモ其以前ニ著手シタル業務ハ完結セサルヘカラス其儘ニ放擲スルハ會社ニモ不利益ナレハ第三者ニモ不利益ナルコト多シ清算ノ爲メニハ清算人ハ種々ノ行爲ヲ爲スナリ代理人ヲ委任スルコトアリ使用人ヲ雇入ルコトアリ賣買交換更改免除等ノ行爲ヲ爲スコトアリ會社ノ債務者ヲシテ其債務ヲ履行セシメ又會社カ第三者ニ對シテ負ヘル債務ヲ履行ス

二 債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟

債權ノ取立ハ專ラ金錢債務者ニ對シテ其債務ノ履行ヲ請求スルコトナリ借金ヲ返濟セシメ賣却代金ヲ支拂ハシムル如シ其以外ノ債權ノ行使ハ多クハ現務ノ結了中ニ入ラン然レトモ若シ或債權ノ行使ニシテ現務ノ結了ト云ヒ難キモノアラハ債權ノ取立中ニ入レテ可ナリ取立ナル文字ハ必スシモ債權ノ目的ヲ金錢ノ給付ニ限ラサレハナリ會社ノ有スル債權ニシテ會社解散ノ

際ニ辨濟期ニ至レルモノハ直チニ辨濟ヲ請求シ得ルモ然ラサルモノハ期限ノ到來ヲ待タサルヘカラス從テ更改交換等ノ行爲ヲ爲シテ適當ノ處分ヲ爲ス要アリ

債務ノ辨濟トハ會社ノ負擔スル債務ヲ履行スルコトナリ期限ノ到來セル債務ハ一般ノ原則ニ從ヒテ直チニ辨濟スヘキハ言フ俟タストシ商法ノ改正規定ハ清算人ヲシテ辨濟期ニ至ラサル債務ト雖モ之ヲ辨濟セシム(九一ノ二)此ノ如クセサルトキハ債務ニ期限ノ存スルニ乘シテ清算ヲ故ラニ遲延セシムル弊ヲ生スヘク又社員ノ責任ハ會社ノ解散登記後五年ヲ經過シタルトキハ消滅スルヲ以テ清算ノ終了前ニ社員ノ責任ハ消滅スル奇果ヲ見ルコトアルニ由ル此規定ハ全體トシテハ會社ノ債權者ニ利益アルモ或場合ニハ不利益ナリ法律ニ會社ハ辨濟期ニ至ラサル債務ト雖モ之ヲ辨濟スルコトヲ要ストスルハ同時ニ之ヲ辨濟スルコトヲ得トスル主意ナラン然ルトキハ債權者ハ或目的ヨリシテ長期ノ貸附ヲ爲シタルニ速カニ返濟セラレテ困難ヲ感スルコトアルヘク又高利ノ利息附ノモノヲ返濟セラレテ損害ヲ蒙ムルコトアラ

ン假ニ損害賠償トシテ請求シ得トスルモ少クトモ利息トシテ當然ニ請求シ得サル不利益アリ

無條件ノ債權ニシテ存續期間ノ確定セルモノハ其儘ニ全額ヲ辨濟セシメテ可ナルモ條件附ノモノニ在リテハ條件ノ成否ニ因リテ債權ノ有無若クハ行使ヲ異ニシ決シテ會社ノ解散ヲ以テ條件ノ成就ト同視スルコトヲ得ス又存續期間ノ不確定ナルモノニ在リテモ如何ナル額ヲ直チニ辨濟シテ債務ヲ消滅セシムヘキカハ明ラカナラサルヲ以テ裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ヲシテ評價セシメ其評價ニ從ヒテ之ヲ辨濟セシム

清算人カ會社ノ債務ヲ辨濟スルニ當リ如何ナル債務ヲ先キニスルモ可ナリ條理上ハ期限ノ先キナルモノヲ先キニスヘク會社ノ利益ヨリ云ヘハ負擔ノ重キモノヲ先キニスヘク何レモ同等ナルトキハ平分シテ辨濟スヘキモ破産ノ場合ト異ナリテ清算人ニ自由活動ノ餘地多シ唯清算人カ或債權者ヲ詐害スル意思ヲ以テ或債務ヲ先キニ辨濟スルトキハ被害者ハ一般ノ原則ニ從ヒテ廢罷訴權ヲ行フコトヲ得ルノミ合名會社ノ清算人ノ辨濟能力ノ大ナルコ

トハ株式會社ノ清算人ノ能力ニ比シテ明カニ之ヲ知ルヲ得(二三四、二六二、民七九)

法律ニ清算人ノ職務ハ債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟ナリト云フモ是レ決シテ事ノ順序ヲ定メタルニ非サルヲ以テ清算人ハ債權ノ取立ヲ終ラサルニ先チテ債務ヲ辨濟スルモ可ナレハ債權取立ニ著手スルニ先チテ辨濟スルモ可ナリ會社財産ノ分配ハ會社債務ノ辨濟後タルヲ要スルモ其他ノ事項ニ關シテハ前後ノ區別ナク一ニ清算人ノ所決ニ依ル而シテ會社ニ現存スル財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルトキハ清算人ハ辨濟期ニ拘ハラズ社員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得(九二)此規定ニ關シテハ聊カ疑義ヲ生スルヲ以テ左ニ説明スヘシ

會社ニ現存スル財産トハ金錢、有價物等ナリ如何ニ廣ク解スルモ社員ヲシテ出資ノ義務ヲ履行セシムヘキ債權ヲ含マス商法ハ會社ノ財産ヲ分チテ現存スル財産ト現存セサル財産トシ兩者ヲ包含セシムル場合ハ單ニ會社財産ト稱シ(六三、一七四、民八一)現存財産ノミヲ示ス場合ニハ特ニ現存スル財産ト云

ヘリ嚴格ナル理論ヨリスルトキハ財産ニ現存ノモノト不現存ノモノトアリ得サレトモ商法ハ此語ヲ採用シタルヲ以テ説明ニハ此區別ヲ爲ササルヘカラス而シテ兩者ノ區域ハ判然セサルモ少クトモ會社カ社員ヲシテ出資ヲ爲サシムル權利ハ現存セサル財産タルコト明カナリ

清算人カ會社ニ存スル金錢ヲ拂渡シ債務ノ目的物ヲ給付シ著々債務ヲ辨濟シ行キタルニ債務ハ尙存シ現存財産ヲ以テハ之ヲ完濟シ得サル現情ニ迫リタルトキハ社員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得法文ニ「債務ヲ完濟スルニ不足ナルトキ」ト云ヘルハ現實ノ不足ヲ云フナリ故ニ不足ナルコト分明ナルモ未タ出資ヲ爲サシムルヲ得ス若シ此場合ニモ出資ヲ爲サシメ得ル主意ナラハ之ヲ示スコト恰モ清算中ニ會社ノ財産カ其債務ヲ完濟スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキ「トスルナラン(九一三項民八二)然ルヲ故ラニ不足ナルトキハ」ト云ヘルヲ以テ其間ニ區別アリト解ス立法論ヨリスルモ現存財産ヲ以テ債務ヲ完濟スルニ不足ナルコトヲ知リタルノミニテ社員ヲシテ辨濟期ニ拘ハラヌ出資ヲ爲サシムルニ及ハス

茲ニ辨濟期ト云ヘルハ社員ノ出資ノ辨濟期ナリ出資ヲ爲スハ社員ノ會社ニ對スル債務ニシテ出資ヲ爲スコトヲ債務ノ辨濟ト云フ一度ニ出資ヲ完納スルトキハ債務ハ消滅スルモ出資ハ必スシモ直チニ完納スルヲ要セス或期限ヲ定ムルコトアリ其場合ニハ社員ハ期限ニ至ラサレハ出資ヲ爲スヲ要セス然ルヲ會社ノ現存財産カ不足ナルトキハ其期限ニ拘ハラヌ出資ヲ爲サシムルナリ或者ハ此辨濟期トハ會社債務ノ辨濟期ナリト云ヘトモ誤ナリ之ヲ出資義務ノ辨濟期ト解セサレハ清算人ハ出資ノ期限ノ來ルマテハ社員ニ出資ヲ迫ルコトヲ得サラン

清算人カ社員ヲシテ出資ヲ爲サシメ會社債務ヲ辨濟スルモ尙ホ之ヲ完濟スルコト能ハサルトキハ破産ヲ請求スヘキハ勿論ナルモ法律ハ會社ノ債權者社員自身及ヒ一般經濟社會ヲモ保護スル爲メ清算人ヲシテ財産ノ現實ノ不足ヲ待タシメヌ又社員ヲシテ出資セシメヌ現存財産ト社員ノ出資ヨリ得ル財産トヲ合スルモ會社債務ヲ完濟スルニ不足ナルコト分明ナリト認メタルトキハ直チニ破産宣告ヲ請求セシメ清算人之ヲ怠ルトキハ十圓以上千圓以

下ノ過料ニ處ス(九二、二六二ノ六號)

清算人カ破産宣告ヲ請求シ破産管財人ヲ生シタルトキハ其事務ヲ管財人ニ引渡シテ自己ノ任務ヲ終了ス

三 殘餘財産ノ分配

會社債務ノ完済後ニ財産カ殘存スルトキハ清算人ハ之ヲ社員ニ分配スヘシ(九五)或國ニハ債務ノ完済前ニ財産ヲ分配スルコトヲ許シ會社財産カ不足スル場合ニ之ヲ返還セシムルモ我國ハ先ツ一切ノ債務ヲ辨済スルコトヲ要ストシタリ法文ニハ債務ノ辨済ト云ヒ完済ト云ハサルモ其主意ハ適法ノ手續ニ依リ適法ノ時機ニ辨済スヘキ債務ヲ悉ク辨済シタル後ニ非サレハ財産ヲ分配シ得ストスルニ在リ會社ノ債務中ニハ清算中ニ生シタルモノヲ含ム殘餘財産ヲ悉皆分配スルモ可ナレトモ後ニ或債務ノ發見セラルヲ慮リテ一部ヲ分配セサルコトアルヘシ殘餘財産尙ホ存スルトキハ會社ノ債權者ハ解散登記後五年ヲ經過スルモ辨済ヲ請求スルコトヲ得(一〇三)如何ナル場合ニ此種ノ債務カ存スルカ又此ノ如キ未済債務ノ存スルニ拘ハラヌ清算人ハ適

法ノ分配ヲ爲シ得ル理由如何等ノ問題ヲ生スルモ債權ノ申出清算手續ノ規定等ノ適用ニ依リテ此種ノ債務ノ存スル餘地アリト見レハ可ナリ
清算カ終了スルトキハ清算人ノ任務ハ終了シ而シテ會社ハ最早存續スル必要ナキニ至ルヲ以テ全然消滅ス然レトモ後ノ證據其他ノ用ニ供スル爲メ會社ノ帳簿其營業ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ保存セシム保存期間ハ任意處分ノ場合ニハ解散登記後十年間トシ其他ノ場合ニハ清算終了登記後十年間トス

保存者ハ社員タリシ者タルモ清算人タリシ者タルモ又其以外ノ者タルモ可ナリ社員ノ過半数ヲ以テ之ヲ定ム保存ノ場所方法等ニ關スル規定ナキヲ以テ事物ノ性質慣習等ニ依リテ決スルヨリ外ナシ舊社員舊清算人其他ノ利害關係人ハ之ヲ閱覽スルコトヲ得ルヤ閱覽シ得トスレハ其手續如何保存者カ保存ノ義務ヲ盡ササルトキハ如何ニスヘキカ等ニ關シテ規定スル國アルモ我商法ニハ何等ノ規定モナキヲ以テ亦事物ノ性質商慣習等ヲ參酌シテ決スルヨリ外ナシ

清算人ハ其職務ニ伴フ權限ヲ有シ之ヲ内外ノ二關係ニ分ツコトヲ得内部關係ニ在リテハ清算人一人ナルトキハ其職務ニ伴フ專權ヲ有シ數人アルトキハ過半数ヲ以テ決ス外部關係ニ在リテハ總社員清算人ハ勿論社員又ハ裁判所ノ選任ニ因ル清算人タリトモ各自會社ヲ代表スルヲ原則トシ特定代表者ヲ選任スルトキハ其者ハ會社ヲ代表シ共同代表者ヲ定メタルトキハ其者等カ共同シテ會社ヲ代表ス而シテ何レノ場合ニ在リテモ會社ヲ代表スヘキ清算人ハ清算ノ重要ナル職務即チ現務ノ結了、債權ノ取立債務ノ辨濟及ヒ殘餘財産ノ分配ヲ爲スニ必要ナル一切ノ權限ヲ有シ其代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス(九三、九三ノ二)

此以外ノ職務ニハ殆ト代理行爲ト見ルヘキモノナク多クハ事實的行爲ナルヲ以テ殆ト代理權ノ問題ヲ生セサルモ若シ稀ニ生シタリトスレハ其場合ノ權限ハ不明ナリ又其權限ニ加ヘタル制限ヲ善意ノ第三者ニ對抗シ得ルヤ否ヤモ不明ナリ然レトモ代表ノ性質ヨリシテ清算人ハ之ヲ爲ス權限アリトシ又當事者ノ意思ヲ以テ制限シ得サルモノト解シテ可ナリ

準清算(設立ノ無効取消)

準清算ハ會社ノ設立ノ無効判決確定後又ハ其設立ノ取消後ニ爲ス清算ナリ會社ハ設立後ニ其無効ヲ發見スルコトアリ又設立ハ有效ナルモ或事由ノ爲メニ取消サルコトアリ此等ノ場合ニ會社財産ノ處分ヲ如何ニスヘキカヲ規定セサルトキハ困難ヲ生スヘシ舊規定ニハ合名會社及ヒ合資會社ニ在リテハ設立後ニ無効ヲ發見スルコト稀ナルヘク稀ニ發見スルモ普通ノ原則ニ從ヒテ處分スレハ足ルトシ唯取消ハ多ク生スルヲ以テ其場合ニ關シテ特ニ規定スル必要アリトシテ之ヲ定メタリ然レトモ合名會社及ヒ合資會社ニ在リテモ設立後ニ無効ヲ發見スルコト多ク而シテ其場合ニ常ニ普通ノ原則ニ依リテ財産ヲ處分セシムルハ不便ナルヲ以テ改正規定ニ於テハ無効發見ノ場合ニモ解散ノ場合ニ準シテ清算ヲ爲サシメ何レモ名ケテ準清算ト云フ

會社カ事業ニ著手シタル後其設立ヲ無効トスル判決カ確定スルカ又ハ其設立カ取消サレタルトキハ解散ノ場合ニ準シテ清算ヲ爲スコトヲ要ス(九九ノ六、一〇〇)會社ノ設立カ無効ナルトキハ始メヨリ一度モ會社ナキナリ其設立カ取消

サレタルトキハ取消ノ效力ハ既往ニ遡リテ會社ハ初メヨリ無キコトト同一ト爲ルナリ何レニモ會社無キトキハ會社ハ行爲ヲ爲スコトヲ得ス行爲ノ外觀アルモ悉ク無効ト爲リ從テ一切ノ事實ヲ原狀ニ復セサルヘカラス然レトモ此理ヲ貫クトキハ種々ノ煩雜ヲ生スルヲ以テ法ノ特別規定ヲ以テ無効及ヒ取消ノ效力ヲ通常ト異ニシ恰モ會社カ存在シテ行爲ヲ爲シタルト同視シ解散ニ準シテ清算ヲ爲サシム其結果トシテ會社ハ有效ニ成立シタルト同一ト爲リ無効判決又ハ取消ノ前ニモ存在スレハ其後ニモ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テ存在スルコトト爲ル

此規定ニ依リ會社ハ凡テノ方面ニ成立シタルト同一ト爲リ設立ノ無効判決又ハ取消ハ會社ト第三者トノ間ニ成立シタル行爲ノ效力ニ影響ヲ及ホサス(九九ノ六)會社ト社員トノ關係及ヒ社員相互ノ關係ニモ影響ヲ及ホサス故ニ第三者ハ會社ノ不存在ヲ主張シテ會社ノ請求ヲ拒ムコトヲ得ス會社ハ其不存在ヲ主張シテ第三者ノ請求ヲ拒ムヲ得ス又會社ハ其不存在ヲ主張シテ社員ノ監督權ノ行使或ハ利益配當ノ請求ヲ拒ムヲ得サルヘク社員ハ會社ノ不存在ヲ主張シ

テ出資義務ノ請求ヲ拒ムヲ得サルナリ此等ノ事ハ會社ノ無効取消ヲ解散ニ準スル結果トシテ當然生スルコトニシテ特別ノ明文ヲ要セズ故ニ余ハ特別ノ明文ナキ舊規定ノ下ニモ此ノ如ク解シ而シテ獨逸商法ニ獨三十一條此二事ヲ規定シタルヲ蛇足ト評シタリキ此意味ヨリスルトキハ我改正規定第九九條ノ六ノ第二項ハ蛇足ナリ殊ニ改正規定ハ設立ノ無効判決又ハ取消ハ會社ト第三者トノ間ノ行爲ニ影響ヲ及ホサスト云フニ止マルヲ以テ行爲ニ非サルコトニハ影響ヲ及ホスカ又會社ト社員トノ間ノ行爲ニハ影響ヲ及ホスカ等ノ疑ヲ生シ寧ロ有害ト爲ル

會社ノ設立ノ無効判決カ確定スルカ又ハ其設立カ取消サレタルトキハ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス無効判決ノ際ニハ囑託登記ヲ爲サシムルヲ以テ登記期間ヲ商法ニ定メス取消ノ際ニハ當事者カ爲スヘキヲ以テ登記期間ヲ定メ之ヲ取消ノ時ヨリ二週間トス九九ノ五一〇〇)準清算ヲ爲スハ會社カ事業ニ著手シタル後ニ無効又ハ取消ト爲ル場合ナリ時トシテハ一層其場合ヲ廣クシ會社ノ設立登記後ニ於ケルモノトスヘシト云フ

者アレハ開業準備著手後トスヘシト云フ者アルモ此點ハ改正規定ノ如クシテ可ナリ

準清算ヲ爲ス者ハ裁判所ノ選任セル清算人ナリ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リテ之ヲ選任ス廣ク利害關係人ト稱スルモ其重ナル者ハ社員會社ノ債權者債務者等ナリ裁判所ハ如何ナル者ヲ選任スルモ可ナルモ多クハ社員タリシ者ノ中ヨリ選任スルナラン若シ利害關係人カ清算人ノ選任ヲ請求セサルトキハ清算人ヲ生セス而モ清算ハ必ス爲ササルヘカラサルヲ以テ會社解散ノ場合ニ準シ社員タリシ者ヲ生レナカラノ清算人トス

以上ハ無効ト取消ニ共通ノコトナリ商法ニハ先ツ無効ニ關シテ規定シ之ヲ取消ニ準用ス(一〇〇)而シテ其條文ニハ會社ノ設立カ取消サレタルトキハ登記ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ストセルヲ以テ登記ノ手續ノ規定ヲ準用スル如ク見ユルモ前條ニハ登記ノ規定毫モナキヲ以テ意ヲ汲ミテ讀ミ會社ノ設立カ取消サレタル場合ニハ無効判決ノ確定スル場合ノ規定ヲ準用スト解スヘシ

之ヨリ特ニ無効ニ關シテ述ヘン

會社カ一旦形式的ニ成立スルトキ即チ成立ノ外觀アルトキハ會社ハ一應存在スルモノトシ之ヲ不成立トスルニハ何人カ其無効ヲ主張セサルヘカラス我國ハ會社ノ無効ヲ主張シ得ル者ヲ社員ニ限リタリ而シテ主張ノ方法ハ訴ヲ以テスルニ限リ訴訟ハ本店所在地ノ地方裁判所ニ限リ數個ノ訴カ同時ニ繫屬スルトキハ辯論及ヒ裁判ハ併合シテ之ヲ爲スコトヲ要ストシタリ何レモ専ラ獨逸商法ヲ摸シタルモノナルモ余ハ其中ノ或モノハ無用ニ非サルカヲ疑フ又假ニ有用トスルモ訴訟法中ニ入ルヘク商法ノ如キ實體法ニ入ルヘカラサルカヲ疑フ九九ノ二三、四獨商三〇九三一、二七二、二七三

設立無効ノ訴ニ於テ原告カ敗訴シタル場合ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ原告ヲシテ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任セシム濫訴ノ弊ヲ防ク意ナリ然レトモ同時ニ無効ノ會社ハ成ヘク無効トスルヲ可トシ訴訟ヲ容易ニ爲サシムル爲メ原告ニ輕過失アルモ會社ニ對シ損害賠償ノ責ニ任セシメス不法行爲ヲ理由トシテ責任ヲ負フコトアルカ否カハ民法ノ解釋ニ屬ス

第三章 合資會社

合資會社ハ海外ニ關スル事業ヨリ起リ後ニ海内ノ事業ニモ用ユルニ至リシナ
 リ其最モ著シキモノヲ航海業トス是レ航海業ハ大資本ヲ要シ且冒險ノモノナ
 ルヲ以テ勢ヒ多數人ノ資本ヲ糾合シテ營ムヘキ必要アリ又資本家ト航海者ト
 合同シ資本家ハ出資ヲ爲シ航海者ハ勞務ヲ供シテ其得タル利益ヲ分配スルヲ
 適當トスレハナリ此事情ヨリ合資會社ヲ發達セシメ就中中世ニ在リテ合資會
 社ノ發達ヲ助ケタルモノヲ捕獲會社ノ設立トス
 合資組織ニ依リテ營ミタル海内事業ノ最初ノモノハ銀行業ナリ是レ兩替手形
 取引等ノ業ヲ爲スニハ多クノ資本ヲ要シ一朝ノ失敗ハ忽チ破産ト爲ルヲ以テ
 自ラ多數者ノ資本ヲ合スルニ因ルナリ後漸々他ノ事業ニモ應用シテ現今ノ如
 シ爲レリ

會社ノ組織ヲ標準トシテ沿革ヲ説ク者ノ中ニ合資會社ハ中世紀ニ地中海ノ沿
 岸諸市ニ生シタル「コムメンダ」ヨリ起リト云フ者多シ「コムメンダ」ハ信用又ハ

委託ノ意義ヲ有シ即チ或者カ他ノ者ヲ信用シ之ニ財産ヲ委託シテ或事業ヲ爲
 サシメ之ヨリ生スル利益ノ分配ヲ受クルコトヲ云フ海外ニ赴ク船員ニ或商品
 ヲ委託シテ販賣セシメ其得タル利益ヲ分配スルトキハ當事者ノ一方ハ出資者
 ニシテ相手方ハ勞務者ナリ委託ノ點ヨリ云フトキハ委託者ト受託者ニシテ「コ
 ムマンデチアル」ト「コムマンデテ」ナリ伊太利ニ起リテ佛國ニ及ヒ路易ノ商令ニ
 依リテ明カニ合資會社ト認メラレ佛國商法ニ繼受セラレ更ニ獨逸商法ニ於ケ
 ル合資會社ト爲リタルナリ尙獨逸ニ在リテハ合資會社ハ匿名組合ト關聯シテ
 發達シタリト云ハル何レモ出資者ト勞務者ト結合ニシテ今モ獨逸ニテハ兩制
 度ノ當事者ガ同一ノ名稱ヲ有セルコト克ク二者ノ起源沿革ヲ示スニ足レリ我
 國ハ佛國ノ法制ヲ繼受シテ合資會社ヲ規定シ曾テ差金會社ト稱セシヲ後ニ合
 資會社ト改メ却テ會社ノ實質ヲ知り難キ名稱ト爲リタリ
 合資會社ハ有限責任社員ト無限責任社員トヨリ成ル會社ナリ其特色トシテ述
 ブヘキコトハ其社員ノ有限責任者及ヒ無限責任者ノ混合ナル點ニ在リ之ニ依
 リテ一方ニ於テ無限責任社員ノミヨリ成ル合名會社ト區別シ他方ニ在リテ有

限責任社員タル株主ノミヨリ成ル株式会社ト區別ス佛國商法編纂ノ際此特質ヲ示ス爲メ混合會社ナル名稱ヲ附スル說アリシモ容レラレスシテ沿革上ノ名稱ヲ其儘ニ採用シソシエテアンコムマンデットト名ケタルナリ二種ノ社員ヲ要素トスルヲ以テ無限責任社員ノミニテ合資會社ヲ設立スルヲ得ヌ又有限責任社員ノミニテモ之ヲ設立スルヲ得ヌ無限責任社員ノミナルトキハ合名會社ト爲リ有限責任社員ノミニテ設立セントスルモ我國ニハ此ノ如キ會社ナシ合資會社ニハ別段ノ定アル場合ヲ除ク外合名會社ニ關スル規定ヲ準用ス(一〇五)別段ノ定アレトモ何レモ合名會社ノ規定ヨリ推知シ得ルモノナリ合資會社ヲ設立スルニハ定款ヲ作成セサルヘカラス之ヲ第三者ニ對抗スルニハ本店ノ所在地ニ登記セサルヘカラス定款ニ定ムヘキ事項登記簿ニ登記スヘキ事項等ハ大體ニ於テ合名會社ニ等シク其異ナル所ハ合資會社ノ特色タル社員ニ二種アルコトヲ示スニ在ルノミニ定款ニモ登記ニモ各社員ノ責任ノ有限及ハ無限ナルコトヲ記載スルヲ要ス(一〇六一)〇七會社ノ設立會社ニ關スル内外

ノ關係社員ノ退社會社ノ解散及ヒ清算ハ大體ニ於テ合名會社ニ等シ
合資會社ニ特有ナル規定ヲ説クルニ當リ無限責任社員ト有限責任社員ニ分ツ

無限責任社員

合資會社ノ無限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有シ義務ヲ負フ原則トシ定款ヲ以テ特ニ或社員ヲ執行社員ト定メタルトキハ其者ノミ業務ヲ執行ス但支配人ノ選任及ヒ解任ハ特ニ執行社員ヲ定メタルトキト雖モ無限責任社員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス(一〇九)一〇〇執行社員數人アルトキハ執行ハ其過半数ヲ以テ決ス合資會社ニ關シテハ此ノ如キ明文ヲ置キタルニ合名會社ニ此規定ナキヲ以テ疑ヲ生スルモ合名會社ニハ組合ノ規定ヲ準用シ同シク過半数ヲ以テ決スト解スヘシ

無限責任社員カ會社ニ對シテ負フ出資義務ハ合名會社員ノ出資義務ニ等シ無限責任社員ハ各自會社ヲ代表スルコトヲ原則トシ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ會社ヲ代表スヘキ社員ヲ定ムルカ或ハ數人ノ社員カ共同シ又ハ社員カ支配人ト共同シテ會社ヲ代表スヘキ旨ヲ定ムルトキハ之ニ從フ(一一四)六一

此ノ如ク合資會社ノ無限責任社員ニ關スル規定ハ内外ノ關係トモニ合名會社ノ社員ニ關スルモノト等シキヲ以テ歐洲ノ學者中ニハ合資會社ノ無限責任社員ハ合資會社中ニ在リテ別ニ合名會社ヲ組織スト説ク者アリ然レトモ一ノ會社内ニ他ノ會社ヲ存置スト云フハ會社ヲ法人トセサル國法ノ下ニモ容易ニ首肯シ得サル説ニシテ之ヲ法人トスル法律ノ下ニハ到底容ルヘカラスルモノナリ(佛ノリオンカン氏ハ余ト同説ナリ)

有限責任社員

合資會社ノ特色ハ有限責任社員ノ存在ニ在リ
 有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルコトヲ得ス(一一五)此社員ノ責任ハ出資ヲ限リトスルヲ以テ會社トノ利害關係密ナラス隨テ會社ノ業務ニ從事スルコト熱心ナラサレハナリ合資會社ノ性質ヨリ云フモ或者ハ自己ノ資力ノ不十分ナルヨリシテ他ノ資力者ノ協力ヲ得ントスルモノナルヲ以テ自ラ業務ヲ執行シ出資者ヲシテ執行セシメサル事情アリ有限責任社員ハ業

務ヲ執行シ得サルニ之ヲ執行シタルトキハ除名セラレ且會社ニ加ヘタル損害ヲ賠償シ若シ其執行行為ニ依リ第三者ヲシテ自己ヲ無限責任社員ナリト信セシムルトキハ無限責任社員ト同一ノ責任ヲ負フ(一一六)有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表セサルヲ以テ競争禁止ノ義務ヲ負ハス隨意ニ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行為ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得(一一三)

有限責任社員ハ會社ノ商業使用人トシテ行為ヲ爲スハ法律ノ禁スル所ニ非ス業務執行社員トスルハ不可ナルモ使用人トシテ特定事項ヲ爲サシムルハ可ナリ支配人トスルモ可ナリ
 有限責任社員ハ會社ヲ監督スルコトヲ得隨テ監督機關ナリト云フヲ得監督ノ方法ハ營業年度ノ終ニ於テ營業時間内ニ會社ノ財産目錄及ヒ貸借對照表ノ閱覽ヲ求メ且會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ検査シ重要ナル事由アルトキハ何時ニテモ會社業務及ヒ會社財産ノ狀況ノ検査ヲ裁判所ニ請求スルニ在リ(一一)此以外ノ方法ニテ監督スルヲ得サレトモ此方法ハ包括的ノモノナルヲ以

テ之ニテ足レリ而シテ此權利ハ公益上ヨリ來ルモノニシテ定款ヲ以テモ奪フ
コトヲ得ス合名會社ニ在リテハ各社員ハ業務ヲ執行シ得ルモノナルカ故ニ殊
更ニ特別ノ監督權ヲ認ムル必要ナキモ合資會社ニテハ有限責任社員ハ業務執
行社員ト爲リ得サルヲ以テ必ス監督權ヲ有セシメ稱株式會社ニ監査役ヲ置カ
シムルニ類ス

有限責任社員ニ出資ノ義務アルハ無限責任社員ト異ナル所ナシ然レトモ出資
ノ目的ヲ限定セラルル點ニ於テ異ナレリ即チ財產以外ノモノヲ出資ノ目的ト
爲スコトヲ得ス第一〇八條ニ曰ク有限責任社員ハ金錢其他ノ財產ノミヲ以テ
其出資ノ目的ト爲スコトヲ得ト此クシテ勞務信用ノ如ク人ニ重キヲ置クモノ
ヲ出資ト爲シ得サラシメタリ有限責任社員ハ社員トシテ業務ヲ執行スルヲ得
ス隨テ此種ノ勞務ヲ出資ト爲スヲ得ス又會社ヲ代表シ得サルカ故ニ信用ヲ出
資トスルヲ得サル理ナリ且合資會社ノ性質ヨリ云フモ資力者ヲシテ金錢有價
物債權等ヲ出資セシメ事業家ノ勞務信用ト合シテ事業ヲ營マシムヘキヲ以テ
出資ノ目的ヲ限定スルハ至當ナリ唯法文ニハ廣ク財產ヲ以テ出資ノ目的ト爲

スコトヲ得トセルニ因リ財產ノ解シ方ニ依リテ勞務信用モ其中ニ入り來ルハ
遺憾ナリ獨逸學者ハ獨逸商法ニ有限責任社員ハ財產ヲ出資スヘシト云ヘルヲ
解シテ資金ヲ出資スヘシトノ意味ナリトセリ又或學者ハ此場合ノ出資ハ客觀
的財產ヲ意味スト云ヒ他ノ學者ハ出資トセラレサル以前ニ其社員ノ有ル存シ
テ讓渡シ得ヘキ財產ト爲リ居ルモノナリト云ヘリ有限責任社員ノ出資ハ財產
ナルヨリシテ之ヲ財產ニ依ル社員ト稱シ以テ人ニ依ル無限責任社員ト區別ス
有限責任社員カ持分ヲ讓渡スニハ無限責任社員全員ノ承諾ヲ要ス(一一二)此社
員ハ專ラ財產ノ點ヨリ觀察スルヲ以テ其持分ヲ隨意ニ讓渡サシメテ可ナル理
ナルモ茲ニ至リテ稍社員其人ヲ見テ持分ノ讓渡ニ無限責任社員全員ノ承諾ヲ
要ストシタリ法文ニハ有限責任社員ハ無限責任社員全員ノ承諾アルトキハ其
持分ヲ讓渡スコトヲ得トセルヲ以テ承諾ナキトキハ讓渡スコトヲ得ス之ニ反
シテ讓渡スコトキハ無効ナリト見ユルモ然ラズ讓渡ハ當事者間ニ有效ナリ合名
會社ノ社員カ他ノ社員ノ承諾ヲ得スシテ讓渡スモ當事者間ニ有效トシ會社ニ
對抗シ得サルノミトスレハ合資會社ノ有限責任社員ノ讓渡ニ關シテハ一層此

ノ如ク解スヘキ理由アリ
無限責任社員カ其持分ヲ讓渡スニハ無限責任及ヒ有限責任ノ社員全員ノ同意
ヲ要ス反對説アルモ吾人ハ文理的及ヒ精神的ノ解釋ヨリ此ク如ク解ス

退社及ヒ解散

合資會社ニ於ケル社員ノ退社及ヒ解散ニ關シテモ合名會社ノ規定ニ異ナル所
極メテ少シ

合名會社ニ在リテハ社員ノ禁治產ヲ法律ノ規定ニ因ル退社原因トシ合資會社
ニ在リテモ無限責任社員ハ之ニ等シ然レトモ有限責任社員ハ禁治產ノ宣告ヲ
受クルモ退社セズ是レ此社員ハ財產出資ヲ爲スニ止マリテ業務ヲ執行セス又
會社ヲ代表セサルヲ以テ禁治產ノ宣告ヲ受クルモ會社ニ影響スル所ナク却テ
其儘ニ存在セシムルヲ會社ノ利益トスレハナリ又合名會社ニ在リテハ社員ハ
死亡ニ因リテ退社シ相續人當然代リテ社員ト爲ルコトナク定款ヲ以テ定メタ
ル場合ニノミ社員ト爲ルモ合資會社ニテハ有限責任社員ノ相續人ヲシテ當然
代リテ社員ト爲ラシメ恰モ株式會社ノ株主ノ相續人ヲシテ當然代リテ株主ト

爲ラシムルニ等シ

解散ノ事由ニシテ合資會社ニ特別ナルハ社員ノ退社ヨリ生スルモノナリ合資
會社ニ在リテモ合名會社ニ於ケルト等シク社員カ一人ト爲リタルトキハ會社
ハ解散スルモ此外合資會社ハ無限責任社員若クハ有限責任社員ノ全員ノ退社
ニ因リ解散ス是レ合資會社ニハ此二個ノ原素ヲ要スルニ其一ヲ缺クヲ以テナ
リ(一八)然レトモ有限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於テ無限責任社員
ノ一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトアルハ後ニ述フヘシ無限責
任社員カ悉ク退社シタル場合ニハ會社ハ常ニ消滅ス有限責任社員ノ一致ヲ以
テ會社ヲ繼續セシメントスルモ不能ナリ我國ニハ有限責任會社ナケレハナリ

組織變更

合資會社ハ其組織ヲ變更シテ之ヲ合名會社ト爲スコトヲ得(一一八)一八ノ二
合資會社ハ有限責任社員及ヒ無限責任社員ヨリ成リ合名會社ハ無限責任社員
ノミヨリ成ルヲ以テ合資カ合名ニ變更スルハ合資ヨリ有限責任社員ノ消滅ス
ルトキナリ其方法ノ中ニハ從來ノ有限責任社員ヲ變シテ無限責任社員ト爲シ

社員ヲ悉ク無限責任社員トシ以テ會社ヲ合名會社ト爲スコトアリ之ヲ現員變更ト稱ス變更ノ際ニ或無限責任社員ハ退社スルモ可トシ此場合ヲモ廣意ノ現員變更ノ中ニ含マシム又從來ノ有限責任社員カ退社シタルニ因リ殘員悉ク無限責任社員ト爲リ從テ會社ハ合名會社ト爲ルコトアリ之ヲ退社變更ト稱ス會社カ其組織ヲ變更セント欲シテ故ラニ有限責任社員ヲ退社セシムルコトアリ或ハ社員カ死亡又ハ禁治産ニ因リテ自然ニ退社スルコトアリ退社ノ原因ニ於テ異ナリトスルモ退社ノ事實ハ同一ナルヲ以テ何レモ退社變更ノ中ニ入ル現員變更ハ會社ノ社員カ進ンテ爲ス變更ナルモ退社變更ハ殘員カ已ムヲ得スシテ爲ス變更ニ近キヲ以テ前者ヲ自動的變更ト云ヒ後者ヲ他動的變更ト云フ合資會社ヲ變更シテ合名會社ト爲スニハ常ニ總社員ノ同意ヲ要ス現員變更ノ場合ニハ現在ニ社員タル有限責任及ヒ無限責任ノ兩社員ノ總同意ヲ要シ退社變更ノ場合ニハ現在ニ社員トシテ殘存スル無限責任社員ノ總同意ヲ要スルナリ而シテ何レノ場合ニモ財産目錄ヲ調製シ會社ノ債權者ニ催告スル等ノ手續ヲ要セス是レ現員變更ハ有限責任社員ノ責任ヲ變シテ無限責任トスルモノニ

シテ債權者ニ利アリテ害ナク又退社變更ノ場合ニモ會社ヲ解散スルヨリモ繼續セシムルヲ債權者ニ利トスレハナリ

合資會社ハ變更シテ合名會社ト爲ルモ法人ハ從來ノ儘ニ存續シ決シテ解散スルニ非ス然レトモ形式ニ於テ合資會社ハ解散シテ合名會社ハ設立セラレタルニ類スルヲ以テ之ニ伴フ登記ヲ爲サシメ即チ合資會社ニ付テハ解散登記ヲ爲シ合名會社ニ付テハ設立登記ニ等シキ登記ヲ爲サシム

第四章 株式會社

株式會社ノ起原及ヒ沿革ニ關シテハ學者ノ說歸一セサルモ株式會社ハ希臘羅馬ニ存セリト云フ者殆トナク何レモ中世紀ニ起リタリトシ其中ニ伊太利ニ起リシト云フ者ト歐洲ノ北海岸ニ起リシト云フ者アリ前者ハ金錢債權者團體モントラス銀行事業等ヲ起原トシ後者ハ多ク船舶共有ヲ起原トス
「モンテヌ」ハ「マオナ」又ハ「マホナ」ト稱シ亞刺比亞語ノ「マウナ」ヨリ來リ債權者ノ團體ナリ團體カ一定ノ金額ヲ國家ニ貸付ケ其金額ニ關シテハ團體員各自一定ノ額ヲ負擔シ其額マテハ責ヲ負ヒ其以上ハ之ヲ負ハス而シテ國家ヨリ團體ニ給付セラルル利息ヲ分配スルコトトシ團體員ノ權利ハ遂ニ一種ノ持分ノ如クナリ「ロカ」ト稱シテ自由ニ買賣讓與シ得ルニ至レリ「マオナ」ノ最モ古キモノハ一三四六年ノヒオヌノ「マオナ」ナリト稱スレトモ稍曖昧ナリ正確ニ其性質モ知レ又其「ロカ」盛ニ流通セラレテ現今ノ株式會社ノ起原ト爲リタルモノハ「グスマ」ノ「ゾオルグ」銀行ナリトス

株式會社ハ船舶共有ヨリ起レリト云フ者ハ海商法學者中ニ存スルハ勿論一般商法ヲ專攻スル學者中ニモ多クアリ航海業ハ大資本ヲ要シ且冒險ノ事業ナルヲ以テ一個人ノ經營ニ適セス殊ニ保險制度ノ生セサル時代ニ於テ然リトス故ニ多數ノ資本ヲ合シテ之ヲ經營セントシ爲メニ一個ノ船舶ヲ多數人ニテ共有シ各自船舶ニ對シテ持分ヲ有シ持分ノ轉讓ヲ自由ニシテ株式ノ如ク爲ラシム伊國及ヒ佛國ニ在リテハ慣習上船舶ヲ二十四部ニ分チ英國ニテハ法律上之ヲ六十四部ニ分チ何レモ一人ニテ一個又ハ數個ノ部分ヲ有シ得トシタルヲ以テ恰モ船舶ハ二十四株若クハ六十四株ヨリ成ル株式會社ノ如クナリ之ヨリ株式會社ヲ生スルハ實ニ容易ナリ株式會社ノ株主ノ權利ハ金錢ニ換算シテ見ルヘク船舶共有者ノ持分ハ船舶自身ニ對シテ有スルモノナルカ故ニ二者異ナレリト云フ者アリ又會社ハ法人ヲ爲シ共有ハ事實タルニ止マルカ故ニ異ナレリト云フ者アリ然リ二者ハ素ヨリ異ナレリ然レトモ船舶共有ヨリシテ株式會社ノ思想ヲ生スルハ必然ニシテ船舶共有ヲ以テ株式會社ノ起原トスルハ妄誕ニ非ス又株式會社ハ航海事業ニ依リテ著シク發達シタルコトハ何國ノ會社史及ヒ

航海史ヲ見ルモ明カナリ和蘭ノ東印度會社(一六〇二年)英國ノ東印度會社(一七〇九年)等ハ其例ニシテ就中和蘭東印度會社ハ最先ニ發達シテ株式ノ原語ナル「アクチー」ハ此會社ヨリ生シタリ

株式會社ノ特質

株式會社ノ特質ハ國ニ依リテ異ナレリ獨逸ニ於テハ合名會社ハ純然タル法人ニ非サルヲ以テ純然タル法人ナルコトヲ株式會社ノ特色ト爲シ得ルモ我商法ニテハ總テノ會社ハ純然タル法人ナルヲ以テ之ヲ株式會社ノ特色ト爲スヲ得ヌ又獨逸ニテハ合名會社又ハ合資會社タルニハ必ス商業ヲ目的トセサルヘカクナルモ株式會社ニハ商業ヲ目的トセサルモノアルヲ以テ此點ヨリシテ株式會社ヲ他ト區別シ得ルモ我商法ノ下ニハ之ヲ區別ノ標準ト爲スコトヲ得ヌ英佛其他諸國ノ株式會社ニモ各特色アリ
何國ノ商法ニ於テモ株式會社ノ特色トシテ著シク合名會社及ヒ合資會社ト異ナル所ハ其純然タル財產會社タルニ在ルナリ合名會社及ヒ合資會社ニ在リテハ人ト財產ニ重キヲ置キ就中人ニ重キヲ置キテ社員ノ人ト爲リテ觀察スルモ

株式會社ニテハ財產ニ重キヲ置キ殆ト出資者タル人ヲ問ハサル有様ナリ故ニ經濟的説明又ハ資本額ノ統計等ニ於テ會社ト個人ヲ比較スルニ當リ合名會社及ヒ合資會社ヲ個人中ニ入ルコト屢アリ此根本的差異ヨリシテ他ノ多クノ差異生ス

株式會社ノ株主ノ責任ハ有限ナリ株主トシテ會社ノ債務ニ關シテ無限ノ責任ヲ負フ者一人モナク取締役又ハ監査役カ或行爲ニ關シテ無限ノ責任ヲ負フコトアルハ行爲ノ性質上之ヲ負フナリ自己ノ行爲ニ對シテ負フナリ偶取締役又ハ監査役トシテ負フコトアリトスルモ株主トシテ負フニ非ス合名會社ニ在リテ總テノ社員合資會社ニ在リテ一部ノ社員カ社員トシテ必ス無限ノ責任ヲ負フトハ全ク異ナレリ(一四四)

株式會社ハ財產ノ集合セル如キモノニシテ各株主ノ責任ハ株式ノ金額ヲ限トスルカ故ニ何人ヲモ株主ト爲シ得ヘク深ク其者ノ信用品性等ヲ調査スルヲ要セヌ隨テ株式ノ讓渡ヲモ隨意トシ之ヲ第三者ニ對抗スルニハ會社ニ通知シ帳簿ニ記入セシムレハ足ルトシ合名會社及ヒ合資會社ニ於テ持分ノ讓渡ヲ會社

對抗スルハ他ノ社員ノ承諾ヲ要スルト大ニ異ナレリ同一ノ理由ニ依リ株
主カ死亡スルトキハ相續人ヲ當然株主トス何人モ容易ニ株主ト爲リ得ルヲ以
テ株主間相知ラサルヲ通常トシ會社ノ業務執行モ常ニ株主ノ同意ヲ以テスル
ヲ得ストシ會社ノ意志ヲ作成行使スル爲メ特定ノ機關ヲ設ク
特質ノ異ナルヨリシテ設立ノ方法對抗ノ手續等モ合名會社ニ於ケルト大ニ異
ナレハ成立後ノ業務執行其執行ノ監督方法等モ異ナレリ又株式會社ニハ他ノ
會社ニナキ資本充實ノ規定ヲ設ク定款ノ廢止變更等ニ關シテモ亦特ニ規定ス
ル所アリ各員ニ別個ノ名稱ヲ附シ一ヲ社員ト云ヒ他ヲ株主ト云ヒ社員ノ有
ルモノヲ社員權又ハ持分ト稱シ株主ノ有スルモノヲ株主權又ハ株式ト稱ス隨
テ會社ヲ株式會社ト云フニ至レリ或國又ハ或時代ニハ或會社ノ商號ニハ社員
ノ氏名ヲ合セタルモノヲ用ヒシメ之ヲ合名會社ト名ケ株式會社ニハ株主ノ氏
名ヲ用ユルヲ要セザリシヲ以テ之ヲ無名會社ト稱シテ彼此對照セシメタルコ
トアリ

第一節 設立

株式會社ノ設立ニ關シテハ四主義アリ其盛ニ行ハレタル時代ノ順序ヲ追ヘハ
左ノ如シ

第一 公立主義(特許主義)

最古ノ主義ニシテ會社思想發達セス弊害ノ發生シタル時代ニ行ハレタルモ
ナリ會社事業ノ利益アルヲ見テ漫ニ會社ヲ發起シ無智ノ小民ヲ之ニ驅リ
直チニ顛倒破産シテ彼等ニ損害ヲ蒙ムラシメタルコトアリ此ノ如ク甚クシ
キニ至ラサルモ會社ノ設立及ヒ其繼續ニ經驗ナクシテ完全ナルモノヲ組織
シ得ザリシヲ以テ國家其他ノ公法人ハ自ラ會社ヲ組織シテ個人ヲ其株主ト
ラシメタルコトアリ手ヲ直ニ設立スルコトアレハ法治ノ世ト爲リテ特別法
令ヲ出シテ之ヲ設立スルコトアリ(南滿洲鐵道株式會社ノ如シ)國家自ラ株主
ト爲リ君主モ官吏モ株主ト爲リテ世人ヲ誘導シタルコトモアルナリ此主義
ハ今モ尙或種類ノ會社殊ニ國家及ヒ社會ニ大影響ヲ及ホス會社ニ付キテ行

ハルモ一般ニハ廢滅ニ歸シタリ

第二 免許主義

公立主義ニ次テ行ハレタリ各人ヲシテ隨意ニ會社ヲ設立セシムルトキハ無智ノ爲メニ無謀ノ舉ヲ爲シテ自己モ損失ヲ招キ一般社會ニモ損害ヲ蒙ラシムルヲ以テ其ノ設立ニハ國家ノ許可ヲ要ス或場合ニハ會社ノ發起及ビ設立行為ノ段階毎ニ許可ヲ要ストシ或ル場合ニハ單ニ成立ノ際ニノミ之ヲ要ストス

國家ノ許可トハ大體ニ云フモノニシテ時トシテハ君主ノ許可ヲ要シタルコトアリ中央官府ノ許可ヲ要スルモノアリ地方官廳ノ許可ナルモノアリ又地方自治體ノ許可ニテ足ルコトアリ其如何ニ依リテ手續ヲ異ニス我商法ハ放任ニ近キ主義ヲ採リ商法ノ紙面ニ於テハ何人モ隨意ニ會社ヲ設立シ得レトモ特別法令ニ於テ多クノ會社ニハ官廳ノ許可ヲ要スルコトトモセリ

第三 準則主義

免許主義ハ嚴ニ失ストシテ起リタル主義ナリ法律ニ一定ノ準則ヲ設ケ或團體ニシテ此準則ニ從フトキハ會社ヲ成立セシム會社ハ法律ニ定ムル條件ヲ充タシタルトキ成立スルヲ以テ條件主義ト云フコトアリ我國モ準則主義ナリ商法ナル法律ヲ設ケ數人カ之ニ從ヒテ團體ヲ組織スルトキハ會社トスルナリ或學者ハ公立主義モ準則主義ナリ國家カ或會社ヲ組織セシメントスル場合ニ特ニ法令ヲ出シ會社ハ其法令ニ從ヒテ組織セラルレハナリト云ヘトモ誤ナリ準則主義トハ一定ノ準則ニ從ヘハ如何ナル會社ヲ幾個設立スルモ可ナルモノヲ指シ國家カ或會社ヲ設立セント欲シ其設立ノ手段トシテ特ニ法令ヲ出スモノハ此中ニ入ラス

或團體カ法定ノ條件ヲ充タセルカ否カヲ審査スル者ノ何人ナルカニ關シ爭アリ免許主義ニ近キ者ハ之ヲ行政官廳ニ屬セシメントシ此種ノ審査ハ行政事務ナリ故ニ行政官廳ヲシテ審査セシムルハ至當ナリ裁判所ハ此種ノ審査ニ不適任ナリ又爭ヲ決スヘキ裁判所ヲシテ爭ト爲ラサル事項ヲ決セシムルハ不可ナリト云ヘリ放任主義ニ近キ者ハ裁判所ヲシテ審査セシメント欲シ裁判所ハ單ニ訴訟ヲ決スルノミナラス非訟事件ヲモ管轄シ登記事項ヲモ管

轄ス又或事項カ法律ニ適合セルカ否カヲ審査スルハ裁判所ヲ最適任者トス
行政官廳ヲシテ之ニ當ラシムルトキハ往々職權ヲ濫用シテ準則主義ノ主意
ヲ破ラルニ至ラント云ヘリ後説ハ勢力アリ裁判所ノ審査ニ依リテ會社ノ成
否ヲ決スルヲ以テ裁判所審査主義ト云フ

第四 公示主義

免許主義ニテハ行政官府ハ會社ノ許否ヲ決シ準則主義ニテハ裁判所ハ條件
ノ成否ヲ判定シテ公衆ヲ保護スルモ未タ十分ナラス免許又ハ審査ヲ爲スニ
望ル以前ニ既ニ發起行爲ヲ爲シテ社會ニ害毒ヲ流スコトアレハナリ左リト
シ發起ノ始メニ免許ヲ要ストスルハ嚴格ニ失ス要ハ公衆ヲシテ詐害セラレ
テシムルニ在ルヲ以テ會社ヲ發起スル場合ニハ十分ニ事業ノ目的資本額
其蒐集ノ方法發起人ノ氏名等ヲ公示シ世人ヲシテ自ラ注意セシムヘシト云
フモノナリ自治ノ國民ニ適ス

以上ハ主義ノ分類ナリ必スシモ或國ノ採用セルモノヲ其儘ニ揭ケタルニ非ス
何レノ國モ單純ニ一ノ主義ノミヲ採用シテ凡テノ場合ニ貫通スルコトナク會
社ノ種類ニ依リテ區別シ又同種ノ會社ニ關シテモ種々ノ主義ヲ折衷ス大體ニ
付テ言フトキハ今ヤ公立主義ヲ採ルモノナク免許主義ハ埃太利ニ準則主義ハ
獨逸ニ公示主義ハ英國ニ行ハル獨逸ハ近々二十年ニ三回ノ改正ヲ爲シ始メハ
免許主義ナリシヲ純然タル準則主義ニ改メ後ニ審査ヲ加ヘタル準則主義トシ
現行ノモノナリ我國ハ準則主義ニシテ而モ放任主義ニ近シ
株式會社ノ設立ニハ多クノ階段ヲ要ス其最先ニ爲スヘキコトハ會社ノ發起ナ
リ

會社ノ設立ヲ首唱スル者ヲ發起人ト云フ獨法ノ「グリュンダ」英法ノ「プロモ
ター」ナリ發起人ノミニテ會社ヲ設立スルトキハ同時成立トシ設立者間ニ何等
ノ區別モナシ株式ヲ募集シテ設立スルトキハ漸次成立トシ發起人ヲ主タル設
立者ト云ヒ應募者ヲ從タル設立者ト云フ會社ノ發起人タルニハ特別ノ資格ヲ
要求セス法律行爲ヲ爲シ得ル者ハ總テ會社ノ發起人タルコトヲ得而シテ
會社ハ他ノ會社ノ發起人ト爲リ得ルナリ獨人コザツク氏モ余ト同説ナリ發起
人ハ七人以上アルヲ要ス株式會社ニハ七人以上ノ株主ヲ要スルコトニ照應ス

（二）九箇ホ發起人ノ事ハ後ニ其實任ヲ述フル際説明スヘシ

定款ノ作成

會社ノ生ヌルニハ會社契約即チ定款ナカルヘルラス定款ハ會社ノ基礎ヲ爲ス
 契約ナルコトハ株式會社ニ於テモ他ノ會社ニ於ケルト異ナル所ナシ時トシテ
 ハ合名會社及ヒ合資會社ニ在リテハ定款ハ會社契約ナルモ株式會社ニテハ然
 ラスト云フ者アレトモ我商法ハ此兩種ノ會社ノ定款ニ差異ヲ設ケス獨逸ノ如
 ク合名會社及ヒ合資會社ヲ純然タル法人ニ非ストシ株式會社ヲ純然タル法人
 トスル國ニ在リテヌラ定款ノ形式及ヒ實質共ニ契約ナリトシ株式會社ノ定款
 ヲ示スニ會社契約ナル語ヲ以テシ學者ハ屢定款ト會社契約トヲ兩用セリ
 發起人ハ定款ヲ作成ヌ發起人ノ作成スル定款ハ之ニ基キテ會社ヲ設立セント
 スル基礎的契約ニシテ且成立後ノ會社ノ定款ト爲ル原案ナリ之ヲ原始定款ト
 稱ス

原始定款ノ記載事項ニ絕對事項及ヒ相對事項アリ

絕對事項ハ必ス定款ニ記載スヘク其一ヲ缺クモ定款ヲ成ササルモノナリ左ノ

如シ

- 一 目的
- 二 商號
- 三 資本ノ總額
- 四 一株ノ金額
- 五 發起人ノ氏名住所
- 六 取締役カ有ヌヘキ株式ノ數
- 七 本店及ヒ支店ノ所在地
- 八 會社カ公告ヲ爲ス方法

一ヨリ五マテハ發起人必ス記載スヘク後ノ補足ニ委スヘカラサルモノナリ六
 ヨリ八マテハ發起人カ記載スルヲ原則トスルモ發起人之ヲ記載セサレハトテ
 必スシモ定款ヲ無効トスルニ非ヌ後ニ創立總會又ハ株主總會ニ於テ補足シ得
 ルモノナリ而シテ此等ノ事項ハ何レモ重大ナルヲ以テ之ヲ決スルニハ株式引
 受人又ハ株主ノ半數以上ニテ資本ノ半額以上ニ當ルモノ出席シ議決權ノ過半

數ニテ決スルヲ要ス(二二二、二三一)

相對事項ハ之ヲ定ムルト否トハ會社ノ隨意ナレトモ效力アラシムルニハ必ス定款ニ記載セサルヘカラス左ノ如シ

- 一 存立時期又ハ解散ノ事由
- 二 株式ノ額面以上ノ發行
- 三 發起人カ受クヘキ特別ノ利益及ヒ之ヲ受クヘキ者ノ氏名
- 四 金錢以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲ス者ノ氏名其財産ノ種類價額及ヒ之ニ對シテ與フル株式ノ數
- 五 會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用及ヒ發起人カ受クヘキ報酬ノ額

此外株式ノ記名無記名ノコト或ハ株式ノ共有ニ關スルモノヲ相對事項トスヘシト云フ者アレトモ我國ハ之ヲ採ラス然レトモ法律ニ相對事項ヲ定ムルハ其事項ヲ記載セシムル主意タルニ止マリ他ノ記載ヲ禁スルニ非サルヲ以テ會社ノ隨意ニ何事ヲ定メテ記載スルモ可ナリ之ヲ任意事項ト稱ス任意事項ハ如何ナルモ可ナルヲ原則トシ公秩良俗ニ反スルカ會社ノ性質ト相容レサルモノヲ

無効トスルノミ

定款ノ作成ニ次テ爲スヘキコトハ株式ノ引受ナリ定款ニ次テト云ヘル中ニハ定款ノ作成ニ先テ爲ス株式ノ引受ハ無効ナリトノ意ヲ包含ス

株式ノ引受

株式引受ノ性質ニ關シテハ單獨行爲說契約說及ヒ團體說アリ

單獨行爲說 株式ノ引受ハ未來ノ株主タル資格ヲ得ル目的ヲ以テ爲ス單獨行爲ナリ一種ノ身分行爲ニシテ或者カ或國ノ國籍ヲ取得スルニ等シ同時成立ノ場合ニ付テ云ヘハ株式ノ引受ハ會社ヲ設立セントスル契約ノ履行タルト同時ニ株式會社ヘノ單獨的入社行爲ナリ漸次成立ノ場合ニモ單獨行爲ナリ株式ノ引受カ引受人ニ義務ヲ生セシムル爲メニハ發起人ノ承諾ヲ要セス會社ハ引受人ノ引受ナル單獨行爲ニ因リテ直ニ權利ヲ得ルナリ決シテ發起人カ引受人ニ對シテ得タル權利ヲ承繼スルニ非ス又發起人カ未來ノ會社ノ爲メニ引受人ト引受契約ヲ結ヒタルニモ非ス契約ニハ意思ノ合致ハ必要ナルニ株式ノ引受ニハ此合致ナク發起人ハ株式募集ナル單獨行爲ヲ爲シ引受人

ハ引受ナル單獨行爲ヲ爲スニ止マル

契約説 株式ノ引受ハ契約ナリ同時成立ノ場合ニモ契約ニシテ漸次成立ノ場合ニモ契約ナリ同時成立ノ場合ニ在リテハ各自ニ申込ミテ各自ニ承諾スルモノニシテ相互ニ申込人及ヒ承諾人ト爲ル

漸次成立ノ場合ニ在リテハ説ハ分カル

(一) 發起人ヨリ申込ミテ引受人ハ承諾ス發起人ハ停止條件ノ成就ニ依リテ引受人ニ株式ヲ有セシムヘキ申込ヲ爲シ引受人ハ之ヲ承諾シ停止條件ノ成就ニ依リテ拂込ヲ爲シ株主ト爲ル義務ヲ負フナリ而シテ茲ニ停止條件ト爲ルモノハ會社カ成立シ得ル程ノ引受アリテ而モ其引受人ニ分配スル丈ノ株式アラハトノコトナリ株式ノ引受カ不十分ニシテ會社カ成立セサルトキハ條件ハ成就セサルナリ株式ノ引受ハ多キニ過キ或引受人ニ株式ヲ割當テ得サルトキモ亦條件ノ成就セサルナリ何レノ場合ニ於テモ發起人ハ義務ヲ履行スル時機ニ至ラスシテ止ムナリ之ニ反シ株式ノ數カ或株式引受人ヲシテ株主タラシムルニ足ルトキハ彼ヲ引受人タラシメサルヘカラス之ヲ發起人

最大義務トシ他ハ枝葉ナリ發起人カ此義務ヲ履行シテ相手方ヲ引受人トスルトキハ相手方ハ自己ノ義務ヲ履行シテ引受人ト爲リ拂込其他ノ行爲ヲ爲ササルヘカラス

(二) 株式引受人ヨリ申込ミ發起人ハ之ヲ承諾ス發起人ノ爲ス募集ハ申込ノ誘引ナリ公衆ハ之ニ應シテ申込ミ發起人ハ株式ノ割當ニ依リテ之ヲ承諾ス或學者ハ此中間ニ在リテ或時ハ發起人ヨリ申込ミ又或時ハ引受人ヨリ申込ミ必スシモ一定セスト云ヘリ誤ナキヲ期スレハ此説ヲ採ルヘシ

團體説 此説ハ獨逸ノ團體法學者トシテ有名ナルギールケ氏ノ唱フル所ナリ曰ク株式ノ引受ハ共同行爲ノ要素タルト同時ニ未來ノ株式會社ノ利益ノ爲メニ取結フ契約ナリ第三者ノ利益ノ爲メニスル通常ノ契約ト異ナリテ之ニ因リテ負擔スル義務ハ團體的性質ヲ帶フ而シテ其義務ハ社團法人ノ社員ト爲ル義務ナルヲ以テ株式ノ引受ハ法人ヲ創設スル内部ノ行爲ナリト氏モ亦株式引受ヲ一ノ契約ト見ルモ其契約ヨリ生スル當然ノ結果トシテ株式引受人ハ會社ノ社員ト爲ルカ故ニ團體的行爲ナリト云フナリ

株式ノ引受ハ契約ナリ其契約ヨリ當事者ノ雙方ニ義務ヲ生シ發起人ハ相手方ヲシテ株式引受人タル權利ヲ得セシメサルヘカラス相手方ハ株式引受人ト爲リテ之ニ伴フ義務ヲ履行セサルヘカラス契約ナルカ故ニ各自相手方ニ對シテ義務ヲ負ヒ第三者ニハ債權ナキヲ原則トス會社ノ成立スルマテハ何レモ相手方ニ對シテ義務ヲ負ヒ當事者ハ發起人ト引受人ノミナリ後ニ會社ハ成立スルトキハ發起人及ヒ引受人ナキニ至ルヲ以テ其場合ニハ彼等ハ各々從前ノ發起人タリシ者及ヒ引受人タリシ者ニ對シテ義務ヲ負フカ或ハ會社ニ對シテ負フニ至ルカ會社ニ對シテ負フトスレハ會社ハ引受契約ヨリ生シタル權利ヲ承繼シタルカ彼等ハ將來ノ會社ノ爲メニ初メヨリ相手方ニ此義務ヲ負ハシメタルカ或ハ會社設立ナル原因ニ因リテ會社ニ當然此權利ヲ生シタルカノ議論ヲ生スヘシ余ハ最後ノ說ヲ採用ス

會社ヲ設立スルニ當リ發起人カ總株ヲ引受タル場合ト廣ク募集スル場合アリ會社成立ノ時機ヨリ觀察シテ同時成立及ヒ漸次成立ト云フ

同時成立ハ株式カ發起人ノミニ依リテ引受ケラル場合ナリ發起人カ總株ヲ引

受タルトキハ會社ハ之ニ因リテ成立ス(一二三)株式ノ引受ト同時ニ會社ハ成立スルヲ以テ同時成立ト稱ス總株ノ引受ト同時ニ成立スト云フコトニシテ株式ノ引受ハ悉ク同時タルヘシト云フニ非ス或發起人カ今日引受ケ他ノ發起人カ明日引受タルモ可ナリ又同人カ今日或數ヲ引受ケ明日又或數ヲ引受タルモ可ナリ此場合ニハ會社ハ未タ成立セスシテ發起人ハ相互ニ申込人承諾人ト爲リテ引受契約ノ存スルニ止マリ最後ノ株式引受ヲ以テ總株ノ引受ト爲リ之ト同時ニ會社ハ成立スルナリ此ノ如ク速ニ會社ヲ成立セシムルハ發起人ハ互ニ相知リ又會社ノ性質ヲ熟知スルヲ以テ殊更ニ創立總會ヲ開キ諸般ノ調査ヲ爲ス必要ナケレハナリ發起人ノミニテ設立スルヨリシテ發起設立ト云フコトアリ同時成立ニ因リテ會社カ成立シタルトキハ株主ハ遲滞ナク株金ノ四分ノ一ヲ下ラサル第一回ノ拂込ヲ爲シ且取締役及ヒ監査役ヲ選任スヘシ選任セラレタル取締役ハ其選任後遲滞ナク發起人カ受クヘキ特別ノ利益及ヒ報酬金錢以外ノ出資設立費用及ヒ第一回拂込ノ有無ヲ調査セシムル爲メ検査役ノ選任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス(一二三、一二四)法文ニ會社カ成立スル場合ニハ發起

人ハ第一回ノ拂込ヲ爲スヘシト云ヘルハ略語ヲ用ヒタルナリ發起人ニシテ株主ト爲リタル者ハ遲滞ナク拂込ヲ爲スヘシト云フ意ナリ
 發起人カ拂込ヲ爲ササルトキハ會社ハ之ヲ催告スルコトヲ得然ラハ何人ハ之ヲ催告スヘキカ未タ取締役ナキ故取締役ヲシテ之ヲ爲サシムルヲ得ス而シテ眞ノ發起人ハ會社ノ設立後ニハ存セス假ニ存ストシテモ會社ノ代表機關ニ非サルヲ以テ會社ノ爲メニ之ヲ爲スヲ得サルヘシ已ムナクハ發起人タリシ者カ準委任若クハ事務管理ノ原則ニ從ヒテ之ヲ爲スカ株式ノ引受契約ニハ此場合ニ於ケル相互ノ權義ヲモ規定シアリテ各當事者ハ相手方ニ對シテ會社ニ拂込ヲ爲シ又會社ノ取締役ヲ選任スルコトヲ請求スル權利ヲ有スルモノト解スヘシ

漸次成立ハ株式カ發起人以外ノ者ニモ引受ケラレ會社カ總株ヲ引受第一回ノ拂込創立總會ノ終結ノ階段ヲ經テ漸次ニ設立セラルル場合ニ存ス他ニ株式引受人ヲ募集シテ成立セシムルヲ以テ募集設立ト云フコトアリ此場合ニ在リテハ總株ノ引受ハ會社成立ノ一段タルニ過キス若シ發起人カ總株ヲ引受クルト

キハ會社ハ直チニ成立ストスレハ發起人ト他ノ者カ總株ヲ引受クルトキ亦直チニ會社ヲ成立セシムヘシト云フ者アルモ非ナリ等シク總株ノ引受ナルモ發起人ノミカ引受クル場合ト他ノ者ノ加ハル場合トハ事情ノ異ナル所アリ又時トシテハ漸次成立ノ場合ニハ發起人ハ引受ケサルモ可ナリ單ニ發起人タルニ止マリ株式ハ悉ク其以外ノ者ニ引受ケシムルモ可ナリト云フ者アレトモ商法ノ解釋トシテハ發起人ハ必ス株式ヲ引受ケサルヘカラス(一二五)

株式ノ引受ハ發起人ノ引受クル場合ニハ何等ノ方式ヲモ要セス然レトモ其以外ノ者ノ引受クル場合ニハ募集其他ノ方式ヲ要ス

發起人カ株式ヲ募集スルトキハ株式ノ申込ヲ爲サントスル者ハ發起人ノ作リタル株式申込證二通ニ其引受クヘキ株式ノ數及ヒ住所ヲ記載シテ之ニ署名スルコトヲ要ス(一二六)申込證ニ署名スルコトヲ必要トシタルハ之ニ依リテ申込人ヲシテ其會社ノ性質會社ト發起人ノ關係株式引受ニ因リテ自己ノ現在又ハ將來ニ負擔スヘキ義務ノ性質程度等ヲ知ラシメ且將來ノ證據ヲ存セシメ傍ラ會社ノ發起ヲ監督センカ爲メナリ統一ノ形式ヲ欲シ申込證ハ必ス發起人ヲシ

ヲ作成セシメ而モ形式證書トス住所ヲ記載セシムルハ發起人等ヨリ通知催告
ヲ爲ヌ便宜ノ爲メナリ株式申込人又ハ株式引受人ニ對スル通知又ハ催告ハ此
記載ノ住所又ハ其者カ發起人等ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足り又此通
知催告等ハ通常其到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス(一二六ノ二)
株式申込證ニ記載スヘキ事項左ノ如シ

- 一 定款作成ノ年月日
- 二 目的、商號、資本ノ總額、一株ノ金額、取締役カ有スヘキ株式ノ數、本店及ヒ支
店ノ所在地、會社カ公告ヲ爲ヌ方法、發起人ノ氏名住所存立時期又ハ解散ノ
事由、株式ノ額面以上ノ發行、發起人カ受クヘキ特別ノ利益及ヒ之ヲ受クヘ
キ者ノ氏名、金銀以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲ヌ者ノ氏名其財産ノ種
類、額及ヒ之ニ對シテ與フル株式ノ數、會社ノ負擔ニ屬スヘキ設立費用及
ヒ發起人カ受クヘキ報酬ノ額
- 三 各發起人カ引受ケタル株式ノ數
- 四 第一回拂込ノ金額

五 一定ノ時期マテニ會社カ成立セサルトキハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ
得ヘキコト

額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込人ハ引受價額ヲ
記載スルコトヲ要ス

株式申込人カ申込證ニ引受ノ株數ヲ記載シ發起人ノ割當ニ依リテ或數ノ株ヲ
引受ケタルトキハ株式引受人ト爲リテ第一回拂込ノ義務ヲ負フ然レトモ引受
人ノ意思表示カ詐欺又ハ強迫ニ因リテ爲サレタルトキハ會社ノ設立登記ノ時
マテハ之ヲ取消スコトヲ得又如何ナル引受人タリトモ一定ノ時期マテニ會社
カ設立セサル場合ニハ其後ハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ヘシ無能力者ハ何
時ニテモ之ヲ取消シ得ルコト一般ノ場合ニ等シ
凡テノ引受人カ之ヲ取消シ發起人ノミ殘存シテ其取消シタルモノヲ悉ク引受
クル場合ニ於テモ同時成立ヲ爲サス

第一回ノ拂込

株式引受ノ結果トシテ各引受人ハ第一回ノ拂込ヲ爲ヌ義務ヲ負フ然レトモ其

履行ノ前提條件トシテ總株ノ引受アルヲ要ス引受人ヲシテ拂込ヲ爲サシムルハ會社事業ノ有望ナルニ由ルニ總株ノ引受スラナキトキハ有望ト認ムルヲ得ス之ニ先チテ拂込ヲ爲サシムル必要ナク拂込ヲ爲サシムルトキハ却テ弊害ヲ生スヘシ故ニ拂込請求ノ前提トシテ總株ノ引受ヲ必要トシ又既ニ總株ノ引受アルトキハ成ルヘク速カニ會社ヲ成立セシムル爲メ發起人ヲシテ遲滯ナク株式ニ付キ第一回ノ拂込ヲ督促セシムルナリ(一二九)

第一回拂込ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス下ルヲ得ストシ其上ニ制限ナキヲ以テ之ヨリ多クノ額ヲ拂込マシムルモ可トシテ極端ヲ云ヘハ株金全額ノ拂込ヲ請求スルモ可ナラン然レトモ全額拂込ニ關シテハ有力ナル反對論ヲ生ス法律ニ第一回拂込ト云ヘルハ第二回以下アルヲ意味ス又會社ノ成立セサルニ先チ全額ヲ拂込マシムルハ不可ナリ殊ニ社債ニ付テハ取締役ハ各社債ニ付キ其全額又ハ第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ストスルニ株式ニ付テハ發起人ハ各株ニ付キ第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ストスルハ故ラニ株式ノ全額拂込ヲ認メサル主意ナリト云フニ在リ

株式發行ノ價額ハ券面額ヲ下ルヲ得ス之ヲ許ストキハ徒ラニ聲ヲ大ニシテ實カノ伴ハサル會社ヲ生スレハナリ額面以上ノモノハ可ナリ之ヲ許スモ害ナク却テ會社ノ資力ヲ増シテ第三者ニ利益ナリ恐ル處ハ券面額以上ニテ株式ヲ發行シ拂込ハ額面額ノ四分ノ一ニ止メテ世ヲ欺クニ在ルヲ以テ額面ヲ超ユル金額ハ第一回ノ拂込ト同時ニ拂込マシム此場合ニハ株式引受人ノ拂込ムヘキ金額ニ差ヲ生スルモ已ムヲ得サルナリ券面額ニテ引受ケタル者ノ間ニハ差等ナク第一回ノ拂込額ニモ差ヲ附スヘカラス曩キニ第一回ノ拂込金額ハ四分一ヲ下ルヲ得ヌ其上ハ幾許ニテモ可ナリト云ヒシハ凡テノ引受人ニ對シテ請求スルコトヲ云ヒシナリ決シテ甲ニハ四分ノ一乙ニハ四分ノ二ヲ請求シ得ト云フ主意ニ非ヌ株金額ノ均一株主平等ノ原理ハ株式引受ノ場合ニモ適用アリ

株式引受人カ拂込ヲ爲ササルトキハ發起人ハ一定ノ期間ヲ定メテ拂込ヲ催告シ其期間ヲ經過スルモ拂込マサルトキハ引受人ヲシテ失權セシメ且損害ヲ賠償セシム(一三〇)期間ハ株式引受人ノ利益ニ存シ最短期ヲ二週間トスルヲ以テ發起人ハ之ヲ延長シ得レトモ短縮スルコトヲ得ヌ或引受人カ失權シ他ノ引受

人生シテ會社ヲ成立セシメ株主ト爲リテ拂込マサル際從前ノ引受人ヲシテ拂込ノ義務ヲ負ハシムルコトナシ株主ノ失權ト株式引受人ノ失權ノ間ニ此區別ヲ附スルナリ

發起人ハ不拂引受人ヲ失權セシメタル後其株式ニ付キ更ニ株主ヲ募集セルコトヲ得之ヲ發起人ノ權利トシ發起人カ株主ヲ募集セシテ損害賠償ヲ請求スルモ失權者ハ異議ヲ述フルヲ得ス又既ニ拂込ミタル引受人ハ發起人ニ迫リテ新募集ヲ爲サシムルヲ得ス募集スルト否トハ發起人ノ裁量ニ存シ引受人ハ之ヲ強請スルコトヲ得ス一定ノ時期マテニ會社カ成立セサルトキハ自ラ株式ノ引受ヲ取消スコトヲ得ルノミ

創立總會

創立總會ハ第一回ノ拂込ニ次テ生スル階段ナリ株式引受人ノ集合ニシテ會社成立後ノ株主總會ニ相當ス隨テ招集ノ方法議決ノ手續等モ大ニ株主總會ニ類スル所アリ

創立總會ノ招集者ヲ發起人トシ招集ノ時期ヲ第一回拂込後遲滯ナキ時トシ招集者ヲ株式引受人トス招集ノ方法議決ノ手續等ハ悉ク株主總會ニ於ケルト同一ノ法理ニ基キ其大半ハ株主總會ノ規定ヲ準用ス故ニ詳説ハ株主總會ノ所ニ譲リ茲ニハ大體ヲ示スニ止ム

發起人カ創立總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ二週間前ニ各株式引受人ニ對シテ其通知ヲ發スルヲ要シ通知ニハ會議ノ目的タル事項ヲ記載スヘシ株式引受人ハ一様ニ付キ一個ノ議決權ヲ行フヲ原則トシ定款ニテ十一條以上ヲ有スル引受人ノ議決權ヲ制限スルトキハ其定ニ從フ總會ノ決議ニ付特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ議決權ヲ行フヲ得ス決議ハ株式引受人ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ヲ引受ケタル者出席シ其議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス若シ總會招集ノ手續又ハ其決議ノ方法法令又ハ定款ニ反スルトキハ株式引受人ハ其決議ノ無效ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得トシ其請求ハ決議ノ日ヨリ一ヶ月内ニ爲スヘシ(一三二)

創立總會ニ於テ爲スヘキ事項左ノ如シ

甲 取締役及ヒ監査役ノ選任(二三三)

將來ニ取締役、監査役ト爲ルヘキ者ノ選任ニシテ未タ眞ノ取締役、監査役ニ非サルコト明カナリ故ニ眞ノ取締役ニ關スル規定ニシテ此略稱ノ取締役ニ適用シ得サルモノアリ例ハ選任登記ノ規定ノ如シ略稱取締役カ眞ノ取締役ト爲ルハ創立總會カ終結シテ會社カ成立スル時ナリ
取締役及ヒ監査役ハ發起人中ヨリ選任スルモ其以外ノ引受人ヨリ選任スルモ可ナリ引受人ニ非サル者ヨリ選任スルヲ得ス

乙 一定ノ報告ヲ爲スコト(二三四—一三七)

發起人ハ會社ノ創立ニ關スル事項ヲ報告スルコトヲ要ス
取締役及ヒ監査役ハ左ニ掲クル事項ヲ調査報告スルコトヲ要ス若シ彼等ニシテ發起人中ヨリ選任セラレタル者アルトキハ創立總會ハ特ニ検査役ヲ選任シテ其調査報告ヲ爲サシムルコトヲ得

一 株式總數ノ引受アリタルヤ否ヤ

二 各株ニ付キ第一回ノ拂込アリタルヤ否ヤ

三 發起人カ受クヘキ特別ノ利益及ヒ報酬、金錢以外ノ出資及ヒ之ニ對シテ與フル株式會社ノ負擔ニ屬スヘキ設立費用等ノ正當ナルヤ否ヤ

創立總會ニ於テ發起人ノ受クヘキ特別ノ利益等ヲ不當ト認メタルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得又引受ナキ株式申込ノ取消サレタル株式又ハ第一回ノ拂込ヲ終ハラサル株式ヲ發見シタルトキハ發起人ヲシテ連帶シテ其引受又ハ拂込ノ義務ヲ負ハシメ損害アルトキハ其賠償ヲ爲サシムルコトヲ得又金錢以外ノ出資者ニ對シテ與フル株式ノ數多キニ過クルトキハ之ヲ減少スルコトヲ得トシ減セラレタル者ハ金銀ヲ拂込ミテ従前ノ株式數ヲ維持スルコトヲ得

丙 定款ノ變更又ハ設立廢止ノ決議(二三八)

原始定款ハ發起人ノ隨意ニ作成シタルモノナルヲ以テ他ノ引受人ヲシテ之ニ拘束セラルニ先チ意見ヲ述フルコトヲ得セシム發起人モ亦其定款ノ變更増減ヲ主張スルコトヲ得是レ定款ヲ作りタル時ヨリ創立總會ノ時マテニハ

多少ノ時日ヲ經過シ事情ノ變更スルコトアレハナリ設立ノ廢止ニ關シテ云
フモ亦然リ

若シ總會ニ於テ設立廢止ノ決議ヲ爲シタルトキハ會社ハ成立セシテ止ミ
拂込ミタル金額ハ各引受人ニ返還スヘキモノトス

創立總會ニ於テ爲スヘキ事及ヒ爲シ得ル事ハ以上ノ三種ニ限ル或學者ハ創立
總會ハ總引受人ノ集合ナルヲ以テ公益ニ反セサル限リハ何事ヲモ爲シ得ト云
ヘトモ否ラヌ總會ノ決議ハ過半数ヲ以テ爲シ得ルモノニシテ多數決ニテ少數
者ヲ壓制シ得ルコトナルヲ以テ法律ニ認ムル事項ニ限ルトセサルヘカラス又
商法ニハ創立總會ニ於テ爲スヘキ事項ヲ列舉セルヲ以テ此以外ノ事ヲ爲シ得
スト解スルハ至當ナリ此ノ如ク解スルモ商法ノ列舉ニハ重要ナル事項ヲ殆ト
悉ク網羅シ且廣大ナル文字ヲ用ヒタルヲ以テ不都合ヲ感セス
創立總會カ爲スヘキ事ヲ悉ク爲ストキハ總會ハ終結シ總會ノ終結ニ因リテ會
社ハ成立ス茲ニ至リテ略稱タリシモノハ悉ク眞ノモノト爲リ即チ眞ノ定款眞
ノ取締役眞ノ株式眞ノ株主等ヲ生スルナリ

設立ノ登記

會社カ成立シタルトキハ一定ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス登記ヲ怠リタル取
締役ヲ過料ニ處シ又登記セサルトキハ會社ノ設立ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ
得ス登記期間ハ同時成立ニ在リテハ取締役カ必要事項ノ調査ヲ終ハリタル日
ヨリ二週間トシ漸次成立ニ在リテハ創立總會終結ノ日ヨリ二週間トス登記ス
ヘキ場所ハ本店及ヒ支店ノ所在地ナリ(一四一)

- 一 目的、商號、資本總額、一株ノ金額、會社カ公告ヲ爲ス方法
- 二 本店及ヒ支店
- 三 設立ノ年月日
- 四 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由
- 五 各株ニ付キ拂込ミタル株金額
- 六 開業前ニ利息ヲ配當スヘキコトヲ定メタルトキハ其利率
- 七 取締役及ヒ監査役ノ氏名、住所

八 會社ヲ代表スヘキ取締役ヲ定メタルトキハ其氏名

九 數人ノ取締役カ共同シ又ハ取締役カ支配人ト共同シテ會社ヲ代表スヘ

キコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定

登記事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其登記ヲ爲スコトヲ要シ會社設立ノ後支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テハ各項ノ登記ヲ爲シ本店及ヒ他ノ支店ノ所在地ニ於テハ其支店ヲ設ケタルコトヲ登記スヘシ同一登記所ノ管轄内ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足り會社カ本店又ハ支店ヲ移轉シタル場合ニハ新舊兩所在地ニ於テ必要ノ登記ヲ爲スヘシ其事項及ヒ詳細ノ手續ハ合名會社ノ場合ニ於ケルト等シ

右九個ノ事項ヲ發起人カ原始定款ニ記載スヘキ事項ト對照スルニ定款ハ會社設立ノ用ニ供スルモノナルヲ以テ發起人ニ關スル多クノ事項ヲ含ミ登記ハ會社成立後ノ狀況ヲ第三者ニ示スモノナルヲ以テ自ラ差アリ
會社カ設立登記ヲ爲シタル後ハ株式引受人ハ詐欺又ハ強迫ニ因リテ其申込ヲ取消スコトヲ得ス(一四二)登記ハ第三者ヲシテ其事項ヲ信セシムルモノナルヲ

以テ會社カ設立登記ヲ爲シタル後引受人ヲシテ其引受ヲ取消シ依テ以テ會社ヲ不成立ニ至ラシムルカ不成立ニ至ラサルマテモ或變動ヲ生セシムルヲ不可トシテ取消ヲ許ササルナリ隨テ詐欺強迫ニ因リテ引受ヲ爲シタル者モ一旦ハ必ス會社ノ株主ト爲リ若シ之ヲ欲セザルトキハ株式ノ讓渡其他ノ方法ニ依リテ股退スルヨリ外ナシ而モ從前株主又ハ株式ノ讓渡人トシテ種々ノ責ヲ負フ

發起人ノ責任

發起人ハ七人以上アリ相合シテ會社ノ設立ニ從事ス隨テ發起團ナルモノヲ生シ此團體ノ性質ニ關シテ種々ノ學說アリ發起人間ノ契約ヲ定款ノ豫約ト云フ者アレハ定款ノ前發契約ト云フ者アリ又發起團ヲ會社ノ前身ト云フ者アレハ全ク別ノ團體ナリト云フ者アリ國法ノ異ナルニ從ヒテ團體ノ説明ヲモ異ニスヘキヲ以テ外國學者ノ說ヲ其儘ニ我國ニ輸入スヘカラス余ハ發起團ハ通常組合ナリト云フナリ發起團ニハ二人以上ノ者アリテ會社ノ設立ナル事ヲ共同ノ目的トシテ通常各發起人出資ヲ爲スヲ以テナリ唯我民法ニ組合ト稱スルモノハ其要素トシテ各當事者カ出資ヲ爲スコト及ヒ共同事業ヲ營ムコトヲ要

スルヲ以テ若シ發起人ノ或者カ出資ヲ爲ササルコトアラハ其發起團ハ組合ト爲ラヌ又會社ヲ設立スル事ヲ事業ヲ營ムト云フヲ得ストスレハ組合ト爲ラサルノミ故ニ發起團ハ常ニ民法ノ組合ナリト斷定シ難キモ通常ハ組合ニシテ然ラサルモ亦組合ニ酷似スルヲ以テ別段ノ定ナキ限リハ組合ノ規定ヲ準用シテ可ナリ

發起人ト會社ノ關係ニ付テモ種々ノ學說アリ機關關係ト云フモノ代理關係ト云フモノ及ヒ事務管理關係ト云フモノ等アルモ何レモ當ラヌ未タ會社ナキニ會社ノ存在ヲ前提トスル關係ハ生シ得サルヘシ然レトモ關係ノ理論的説明ハ學說ニ讓リ改正規定ハ發起人ト將來ノ會社トノ間ニ或密接ナル關係ノ存スルコトヲ認メ會社カ成立スル場合ニ於テ其會社ニ對シテ發起人ノ負フヘキ責任ヲ規定シ同時ニ會社ノ成立セサル場合ニ於テ發起人ノ負フヘキ責任ヲモ規定シタリ

會社カ成立シタル場合ニハ發起人ト其會社ノ間ニハ一種ノ關係アルモノト見發起人ハ會社ニ對シテ任務ヲ有スルモノト看做ス(一四二ノ二)其任務ハ定款ノ

作成株式ノ募集總會ノ整理等ナリ或發起人カ其任務ヲ怠リタルトキハ惡意又ハ過失ナキ場合タリトモ會社ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ負フヘク任務ヲ怠リタル發起人二人以上ナルトキハ彼等ノ責任ハ連帶トセラルヘシ發起人ノ此義務ヨリ生スル責任ハ會社ニ對シテ負フノミニシテ株主及ヒ第三者ニ對シテ負フニ非ス

發起人カ會社ノ設立ニ關シ不法行爲ニ因リテ會社ニ損害ヲ加ヘタルトキハ民法ノ原則ニ依リテ責任ヲ負フ其責任ノ連帶ナルヤ否ヤモ民法ノ原則ニ依リテ決ス株主ニ對スル責任又ハ第三者ニ對スル責任ニ關シテ云フモ亦然リ此場合ニ問題ト爲ルハ發起人ハ未成立ノ會社ニ損害ヲ加ヘ得ルヤ隨テ之ニ對シテ賠償ノ責任ヲ負ヒ得ルヤ否ヤニ在リ正確ナル議論ヨリスルトキハ未成立人ニ對シテ損害ヲ加フルヲ得サルヘシ然レトモ發起人ノ怠務ニ關シテハ既ニ會社ハ成立セルモノト看做スヲ以テ過失其他ノ不法行爲ニ關シテモ亦會社ヲ存在スルモノト看做シテ可ナラン株主ニ關シテ云フモ亦然リ正確ニ云ヘハ發起人ハ將サニ株主ト爲ラントスル人ニ損害ヲ加ヘ得ルノミ

發起人ノ怠務ノ際發起人ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ其發起人ハ
 第三者ニ對シテモ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス此責任ハ發起人カ任務ヲ怠リ
 タル場合ニ非サレハ生セヌ又大過失アルニ非サレハ生セヌ不法行為ノ責任ノ
 如ク過失ノミニテハ生セサルナリ其代ハリ不法行為ヨリ生スル責任ノ成立條
 件例ハ他人ノ權利ヲ害シテ損害ヲ加フトノ條件ヲ要セス發起人ノ怠務ハ多ク
 ノ場合ニハ他人ノ權利ヲ害スルコトト爲ランモ之ヲ必要ノ成立條件トセス又
 被害者ヨリ權利ノ侵害ヲ證明スルコトヲ要セス被害者ハ發起人ノ惡意又ハ大
 過失ヲ證明スレハ足ルナリ此場合ニ於ケル發起人ノ責任ハ連帶ナリトシ此規
 定ニ依リテ會社ノ發起人ト第三者トノ間ニ會社法ニ於ケル重大ナル特別關係
 ヲ生スルモノトス

會社成立ノ場合ニ於ケル發起人ノ特別責任ハ會社ニ對スルモノト第三者ニ對
 スルモノナリ我國ハ自耳義商法ト等シク此ノ如クシタルモ獨逸商法ハ之ニ異
 ナリテ會社ニ對スルモノノミヲ規定シ株主及ヒ第三者ニ對スルモノヲ規定セ
 ス

會社カ成立セサル場合ニハ固ヨリ發起人ト會社ノ間ニ關係ヲ生セヌ關係ヲ生
 スヘキ會社ナケレハナリ此場合ノ發起人ノ責任ハ一般ノ原則ニ依リテ決スヘ
 ク之カ爲メニ何等ノ明文ヲモ要セス改正規定一四二ノ三ニ發起人ハ設立ニ關
 シテ要シタル行為ニ付キ連帶シテ其責ニ任スト規定セルモ其規定ハ殆ト無用
 ノモノナリ何等カノ用アリトセハ其責任ノ連帶ヲ定メタル點ニ在ルノミ而モ
 若シ發起人ハ常ニ發起團ヲ爲シ發起人ノ責任ハ民商法ノ規定ニ從ヒテ常ニ連
 帶ナリトスルトキハ此點モ無益ト爲ルヘシ又設立費用ハ發起人ノ負擔タルコ
 ト言フヲ竣タヌ而シテ改正規定ニハ發起人ノ此負擔ヲ連帶ト明定セス連帶ナ
 ルカ否カハ一般ノ原則ニ依リテ決セシムルヲ以テ設立費用ノ規定ハ益餘尾ト
 爲ルナリ會社不成立ノ場合ニ於ケル被害者ハ所謂第三者ニシテ其中ニハ株式
 ノ申込人又ハ引受人及ヒ其以外ノ者アリ伊國商法ニモ之ニ類スル規定アリ(伊
 一二六)

發起人ハ會社成立前ノ取締役又ハ監査役ト連帶シテ責ヲ負フコトアリ
 會社成立前即チ設立時代ニ於ケル取締役ハ或事項ヲ調査シテ之ヲ創立總會ニ

報告スヘキ任務ヲ有シ其任務ヲ怠リテ會社ニ損害ヲ加フルトキハ賠償ノ責ニ任ヌ我商法ハ取締役ノ怠務ノ責任ニ關シテハ會社成立前ノ取締役ヲ會社成立後ノモノト同視シ成立後ノ取締役ニ關シ「取締役カ其任務ヲ怠リタルトキハ其取締役ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ヌ」(七七)トセル規定ヲ成立前ノ取締役ニモ適用シ調査報告ニ付キ會社ニ對シ連帶シテ責ニ任セシメタリ而シテ發起人ニモ其場合ニ責任ヲ負ハシムルコトアリトシ發起人モ其實ニ任ヌヘキトキハ取締役監査役及ヒ發起人ヲ連帶債務者トシテ會社ヲ保護ス(二四二ノ四)

第二節 株式

株式ノ法理上ノ性質ニ關シテハ種々ノ説アリ或者ハ物權トシ或者ハ債權トシ或者ハ物權債權ノ混合トシ又或者ハ之ヲ一種ノ請求權トセリ然レトモ株式ハ權利義務ノ包括ニシテ其本質ニ於テ合名會社ノ持分ニ等シ其如何ナル權利義務ヲ包括スルカハ各國ノ會社法ニ依リ異ナリテ各國法ニ株主ノ權利義務トシ

テ規定セルモノヲ拔萃シテ知ルナリ義務ノ最大ナルヲ拂込ノ義務トシ多クハ之ヲ唯一ノ義務トス隨テ株金全額ノ拂込後ハ株式ハ權利ノミノ集合ト爲ルヘシ若シ拂込ノ外ニ總會ニ出席スヘキ義務或ハ會社ノ業務ヲ執行スル義務アリト假定スレハ拂込ノ後モ權利義務ノ包括ナレトモ多數國ノ法律ニ於テ株主ノ義務トスルモノハ拂込ノ一事ニ止マルヲ以テ通常ハ株式ヲ權利ノ方面ヨリ觀察シ株式ト株主權トヲ同視ス株式ノ起原及ヒ語源ヨリ云フモ株式ハ「アクション」即チ請求ヲ意味シ權利ノ方面ヨリ觀察スル主觀的ノモノナリ株式ノ本質ハ株主カ會社ニ對シテ有スル權利義務ノ包括ナルモ株式ナル語ハ時トシテ資本ノ一部ヲ示スニ用ヒラル株式會社ノ資本ハ株式ニ分ツコトヲ要スト云フ如シ(一四三)此場合ノ株式ハ資本ナリ然レトモ是レ株式會社ニ於ケル資本ノ分割方法ヲ定メタルモノニシテ株式ノ一面ヲ示スニ過キサレヲ以テ株式ハ資本ノ一部ナリト云ヒテ株式ノ全般ヲ説明スヘカラス又株式ハ往々株券ト同意義ニ用ヒラルルハ吾人ノ知ル處ナリ獨逸ノルイ氏ハ其株式會社法ニ於テ株式ナル語ハ株主權資本ノ一部及ヒ株券ノ三様ニ用ヒラルト云ヘリ

株式ニ包含スル權利中重ナルモノハ會社ヨリ金錢ヲ受クル權利及ヒ會社ノ業務ニ關スル權利ナリ何レヲ最重トスヘキカハ觀ル人ニ依リテ異ナルモ實際ノ效果ニ差ナシ分割シテ利益ノ配當ヲ受クル權會社財産ノ分配ヲ受クル權總會ニ出席シテ發言スル權會社ノ帳簿ヲ検査シ取締役監査役ノ行爲ヲ監督スル權等トス義務ハ殆ント拂込ノ一事ニ止ルコト前述ノ如シ一言シ置カシニ配名株ノ株主ハ何等ノ手續ヲモ爲サスシテ其權利ヲ行使シ得ルヲ原則トスルモ無記名株ノ株主ハ權利ヲ行ハントスルトキハ其權利ノ行使ニ必要ナル員數ノ株券ヲ會社ニ供託スルコトヲ要ス(一五五ノ二)此規定ノ適用ハ總會ニ出席シテ議決權ヲ行ヒ或ハ裁判所ニ決議ノ無効宣告ヲ訴フル場合ニ最モ多シトス

株式ハ平等ニシテ不可分ナリ平等トハ一個ノ株式ノ包含スル權利義務ハ各株式ニ同一ナルヲ云フ故ニ或株式ニハ多クノ利益ヲ請求スル權利アリテ他ノ株式ニハ少キコトナク又或株式ヲ有スル者ハ他ノ株式ヲ有スル者ヨリ多クノ發言ヲ爲シ得ルコトナシ特ニ優先株ヲ認ムルカ明カニ議決權ヲ制限スルハ例外トシ原則トシテハ株式ハ平等ニシテ多クノ疑義ハ此原則ニ依リテ決セラル義

務ノ方面ニ於テモ亦平等ヲ原則トシ額面以上ノ引受ノ場合ニ多少ノ例外アルノミ株式ノ金額ハ均一ナルヲ要スト云フハ株式平等ノ原理ヨリ出テタルモノニシテ財産的觀察ニ表ハレタル顯著ナル現象ナリ(一四五)株式ヲ平等トスルハ一ハ條理ヨリ來リ又一ハ計算ノ便宜ヨリ來ルナリ金額ヲ均一ナラシムルハ取引所其他ニ於ケル讓渡ヲ容易ナラシムル主意モアラシ

株式ヲ平等トスルト類似ノ理由ヨリシテ株主ノ隨意ニ之ヲ併合又ハ分割スルコトヲ得セシメス株券ヲ併合シテ十株又ハ五株ノ株券ヲ作り或ハ十株券五株券ヲ分割シテ一株券ト爲スコトヲ得ルモ株式其モノヲ併合又ハ分割スルコトヲ得ヌ又株式ノ單位ハ一株ナルヲ以テ一株ノ株券ヲ分割シテ半株券ト爲ヌヲ得ヌ株式ハ分割シ得サルヲ以テ二人以上ノ者カ一個ノ株式ヲ有セント欲スルトキハ之ヲ共有スルヨリ外ナシ多クノ株式ヲ多數人ニテ共有スルモ可ナリトシ相續組合等ニ屢此事實ヲ生ス共有ノ場合ニハ共有者ヲシテ株主ノ權利ヲ行フ者一人ヲ定メシメ而シテ株金ノ拂込ニ關シテハ共有者ヲシテ連帶シテ其義務ヲ負ハシム(一四六)故ニ株式ノ共有ハ會社ニ利益ニシテ株主ニ不利益ナリ

株式ノ不可分ハ株式ヲ分割シテ二個以上ノモノト爲シ得サルコトニ表ハレ又株式中ニ包含セル權利ヲ分離シテ讓渡シ得サルコトニ表ハル株主ハ總會ニ出席シテ發言スル權又ハ會社ノ帳簿ヲ検査スル權ノミヲ他人ニ贈與シ又ハ利益ノ配當ヲ請求スル權ノミヲ讓渡スコトヲ得ス會社ハ總會ニ於テ利益配當ノ決議ヲ爲シ株主カ利益ヲ請求スルコトヲ得ルニ至ルトキハ最早單純ナル債權ト爲ルヲ以テ讓渡シ得ルハ當然ナルモ株式中ノ權利タル利益配當ノ請求權ノミヲ分離シテ讓渡スコトヲ得サルナリ

株式ノ金額

株式ノ金額ハ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス(一四五)少額ニテモ可トスルトキハ株式ノ數多ク爲リテ計算ニ不便ナル外會社事業ニ關係セサルヲ可トスル細民ヲモ株主ト爲ラシムルニ至ラン更ニ株券ノ方面ヨリ見ルトキハ株券ハ有價證券トシテ盛シニ之ヲ賣買スルニ少額ノ株式アルトキハ無數ノ賣買ヲ生シテ名義ノ書換名簿ノ記入等ヲ煩雜ナラシメ且無數ノ無記名證券ヲ生シ紙幣ノ發行ニ等シキ現象ヲ呈スルニ至ラン故ニ一定ノ金額以上ニ限リ我國ノ現狀ヨリ五十圓

ヲ相當ト認メタリ

株式ノ金額ハ五十圓ヲ下リ得サルヲ原則トシ之ニ一ノ例外ヲ設ク即チ一時ニ株金ノ金額ヲ拂込ムヘキ場合ニ限リ二十圓マテニ下スコトヲ得ルニ在リ株式ノ金額ヲ五十圓以上トシタルハ細民ヲシテ會社事業ニ關係セシメサルコト及ヒ株式賣買ノ便宜ヲ慮カルニ在ルモ一時ニ二十圓以上ヲ拂込ミ得ル者ニハ株式ヲ所有セシメテ可ナリ又五十圓以上ノ株式ニモ四分一ノ拂込ヲ爲ストキハ賣買ヲ許スヲ以テ二十圓ノ株式ヲ賣買スルモ差支ナシト認メテ此ノ如クシタルナリ獨逸商法ハ此外ニ例外ヲ認メ自治體ニ關スル事業ニシテ其自治體ニ屬スル者ヲ株主トスル場合及ヒ國家其他ノ公法人ヨリ一定ノ利益又ハ利息ヲ擔保スル會社ニ在リテハ少額ノ株式ヲ許シ名ケテ小株式ト云ヘリ

五十圓以上ヲ原則トシ其未滿ヲ例外トスルヲ以テ疑義ノ生スル際ニハ成ルヘク嚴密ニ解釋スヘシ漸次拂込ノ五十圓株ヲ發行シ全額拂込ノ後ニ之ヲ分割シテ二十五圓株二個トスルコトヲ得ス分割ノ際ニハ何レモ二十五圓ノ全額拂込ト爲ルヲ以テ一時ニ拂込ミタルモノト同視シテ可ナリトノ辯解ヲ容レヌ會社

ヲシテ株式ヲ發行スル初メニ漸次拂トシテ五十圓株トスルカ一時拂トシテ二十五圓株トスルカラ決セシメ一旦漸次拂ノ五十圓株トシタルトキハ其種類ノ株式トシテ繼續セシム或會社カ一時拂ノモノトシテ二十圓株ヲ發行シ後ニ新株ヲ發行スル際同シク二十圓株トシテ漸次拂ノモノトスルヲ得ヌ五十圓未滿ノ株式ハ會社設立ノ場合タルト設立後ノ増資ノ場合タルトヲ問ハス常ニ一時拂タルヲ要ス

株式ノ拂込

株主ハ株金拂込ノ義務ヲ負フ(一四四)最初ノ株主即チ株式引受人タリシ者ハ株金ノ全額ヲ拂込ムヘキ義務ヲ負ヒ後ニ株主ト爲リタル者ハ取得ノ際ニ於ケル未拂額ニ付キ義務ヲ負フ何レモ此金額ヲ限度トシ如何ナル場合ニ在リテモ自己ノ意ニ反シテ之ヨリ以上ノ責ヲ實フコトナシ故ニ株主總會ニ於テ一株ノ金額ヲ増加シ株主ヲシテ之ヲ拂込マシムルコトヲ決議スルモ株主ハ其拂込ヲ拒ムコトヲ得同一ノ理由ニ因リ株式ヲ増加シ現在ノ株主ヲシテ引受ケシメントスル決議ヲ強行スルヲ得ヌ

拂込ハ金錢ヲ以テ之ヲ爲スヲ要ス金錢以外ノ出資者ハ別トシ通常ノ株主ハ金錢ヲ以テ拂込マサルヘカラス勞務信用等ヲ以テ拂込ムヲ得サルハ勿論動産不動産手形其他ノ有價證券ヲ以テモ拂込ムコトヲ得ヌ拂込ノ義務ヲ變シテ普通ノ債權ト爲シ以テ拂込ノ義務ヲ消滅セシムルヲ得ヌ株金ノ拂込ニ付相殺ヲ以テ會社ニ對抗スルヲ得ヌ會社ニ債權者ナキトキハ株主ヲシテ相殺ヲ對抗セシメテモ債權者ヲ害スルコトナキモ之ヲ許ストキハ種々ノ弊ヲ生スルヲ以テ凡テノ場合ニ相殺ノ對抗ヲ禁スルナリ會社ニ債權者アル場合ニ相殺ノ對抗ヲ許ストキハ其株主ニ優先權ヲ與フルト等シクナリテ一層不可ナリ

會社カ株主ヲシテ株金ヲ拂込マシムルニハ二週間前ニ之ヲ催告スルコトヲ要ス(一五二)株主ヲシテ拂込ノ準備ヲ爲シ得セシムル爲メナリ二週間前トハ二週間ヲ下ラサル期間ノ意ナリ拂込マシムヘキ金額大ナルトキハ長キ期間前ニ催告スヘク金融ノ情況ニ從ヒテ期間ノ長短ヲ定ム二週間前ノ催告ハ法律ニ要スル形式ニシテ會社ハ之ヲ嚴守セサルヘカラス執達吏ヲシテ請求セシムルカ如キ正確ノ方式ヲ用ユルモ十三日前ノ催告ヲ適法トセス催告ハ株主名簿ニ記載

シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル(一七二)ノニ會社カ此催告ヲ爲スモ株主カ拂込
ヲ爲ササルトキハ更ニ催告ヲ爲スコトアルヲ以テ後ノ催告ニ對シテ之ヲ第一
回催告ト云フ

株主カ第一回催告ニ應セサル場合ニ會社ハ第二回ノ催告ヲ爲スコトヲ得第二
回催告ハ必ス爲スヲ要スルニ非ス會社ノ隨意ニ其儘ニ委スルモ可ナリ
第二回催告ノ場合ニモ通知ノ時ト拂込ノ時ニハ少クトモ二週間ヲ存セサルハ
カラヌ而シテ其通知ニハ其期間内ニ拂込ヲ爲ササルトキハ株主ノ權利ヲ失フ
ヘキ旨ヲ示スコトヲ要ス株主ハ第二回催告ニ應セサルトキハ失權スルハ法律
ノ規定ナルヲ以テ殊更ニ催告ノ通知ニ之ヲ示サヌシテ可ナル理ナルモ成ルヘ
ク株主ヲ警醒シテ失權スルコトナカラシメ又成ルヘク拂込ヲ爲サシムルコト
ニ勉ムルナリ法定ノ形式ナルヲ以テ之ヲ守ラスシテ爲シタル催告ハ效力ヲ生
セス

會社カ株主ニ對シ其權利ヲ失フヘキ旨ヲ通知スルトキハ會社ハ其通知スヘキ
事項ヲ公告スルコトヲ要ス是レ株主ノ失權ニ因リテ株式ハ會社其他ノ者ニ歸

屬シ其株式ニ關シテ權利ヲ有スル者カ損害ヲ蒙ルヲ以テ代位辨濟ヲ爲シテ
失權ヲ防カントスルコトアリ其他自己ノ利益ヲ保護セントスルコトアルヲ以
テ公告シテ之ヲ知ラシムルナリ

會社カ第二回催告ヲ爲スモ株主カ拂込ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フ(一五三)
當然權利ヲ失フモノニシテ獨逸商法ノ如ク失權ノ爲メニ特別ノ宣言ヲ爲スヲ
要セス是レ一々失權ノ宣言ヲ爲ス煩ヲ省ク爲メナランモ時トシハ却テ會社ニ
不利益ヲ來スヲ以テ寧ロ當然失權セシメス會社ヲシテ之ヲ決スルコトヲ得セ
シムヘシ合名會社ニ於テ社員カ出資ヲ爲ササルトキハ他ノ社員ノ一致ヲ以テ
其社員ヲ除名シ得ルコトトスル主意ニ倣フヘシ株主カ失權スルトキハ最早株
主タル權利ナキヲ以テ所謂從前株主ト爲ル

株主カ失權スルトキハ會社ハ遲滯ナク其株主ノ氏名住所及ヒ株券ノ番號ヲ公
告スルコトヲ要ス株主カ既ニ失權スルトキハ其株式ニ關シテ權利ヲ有スル者
カ其權利ヲ保護スル途大ニ減スルモ而モ尙存スル點アリ又既ニ權利ヲ失フト
スルモ善後策ヲ講セントスルコトアルヲ以テ公告ヲ爲サシム會社及ヒ社會全

體ノ爲メニモ公告ノ要アルヘシ

株主カ失權スルトキハ其株式ハ一時會社ニ歸屬ス會社ハ自己ノ株式ヲ取得スルコトヲ得ストスル原則アルモ此場合ニハ例外トシテ自己ノ株式ヲ有セシム會社ハ自ら進ンテ株式ヲ取得スルコトヲ得ストスルモ株主ノ失權ノ場合ニハ株式ノ歸屬スル所ナキヲ以テ會社ノ有トスルナリ何トナレハ株式ハ依然トシテ失權株主ノ有ナリト云フハ無意味ナリ之ヲ無主物トスルハ非ナリ當然消滅スト云フモ非ナリ消滅スルトキハ株式ノ數ヲ減シ資本ノ減少ト爲リ資本減少ノ規定ト調和シ難ケレハナリ故ニ一時會社ニ歸屬セシメ會社ヲシテ速カニ之ヲ競賣セシムルヨリ外ニ途ナシ

株主カ失權シタルトキハ會社ハ株式ノ各讓渡人ニ對シ拂込ヲ爲スヘキ旨ノ催告ヲ發スルコトヲ要ス此催告ハ會社カ必ス爲スヘキ事ニシテ任意事項ニ非ス此ノ如クシテ會社ノ有セル株式ヲ速カニ他人ニ歸セシム然レトモ法律ニハ何時マテニ此催告ヲ爲スヘキカヲ定メサルヲ以テ時トシテハ株式ハ長ク會社ノ有ニ存スルコトアルヘシ強テ會社ヲシテ一定ノ期間内ニ催告セシムルヨリモ

適當ノ時期ヲ計リテ催告セシムルヲ適當ト認メタルナリ催告ヲ發スル時ト拂込ノ時ニハ少クトモ二週間ヲ存セサルヘカラス

株式讓渡人カ二人以上ナルトキハ先ツ失權株主ニ直近ノ讓渡人ニ催告シ次テ其前ノ讓渡人ニ催告シ漸ヲ追フテ最先ノ讓渡人ニ及フヘシトスル順序主義ヲ採ル國モアレハ(獨逸)如何ナル讓渡人ニ對シテ直チニ催告スルモ可ナリトスル不順序主義ヲ主張スル者モアレトモ我國ハ各讓渡人ニ對シテ請求セシムル同時主義ヲ採リタリ此場合ニハ最先ニ拂込ヲ爲シタル讓渡人株式ヲ取得ス同時ニ多クノ讓渡人カ拂込ヲ提供スルトキハ彼等ノ權利ハ同等ナルヲ以テ平等ノ割合ニ拂込マシメテ株式ヲ共有セシムルヲ穩當トス

株式讓渡人カ拂込ヲ爲ササルトキハ會社ハ株式ヲ競賣スルコトヲ要ス競賣モ會社ノ必ス爲スヘキ事ニシテ任意事項ニ非ス然レトモ讓渡人カ拂込ヲ爲ササル時ヨリ何日間ニ競賣ヲ爲スヘキカヲ定メサルヲ以テ會社ハ相當ノ時機ヲ見ル餘地アルナリ獨逸ニ於テハ取引所ノ相場アルモノハ之ニ依リ相場ナキモノハ競賣スヘシト云ヘトモ我國ニテハ如何ナルモノヲモ競賣セシム競賣ハ競賣

法令ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

競賣ニ依リテ得タル金額カ滯納金額ニ滿タサルトキハ會社ハ從前株主ヲシテ其不足額ヲ辨濟セシムルコトヲ得若シ從前株主カ二週間内ニ之ヲ辨濟セサルトキハ讓渡人ニ對シテ其辨濟ヲ請求スルコトヲ得所謂不足額辨濟ノ請求ナリ然レトモ此場合ニハ株式ハ既ニ競落人ノ有ニ歸シ居ルヲ以テ從前株主又ハ讓渡人カ不足額ヲ辨濟スルモ株式ヲ取得スルコトナシ

競賣ニ依リテ得タル金額カ滯納金額ヲ超ユルトキハ之ヲ會社ノ所得トス純理ヨリ云フトキハ株主ヲ失權セシメタル株式ヲ競賣シテ得タル剩餘ナルヲ以テ失權株主ニ返還スヘキ理ナルモ商法ハ會社ヲシテ剩餘金ヲ返還セシメス株主ハ既ニ失權シ株式ハ會社ノ有ニ歸シ會社ハ自己ノ株式ヲ賣却シタル賣得金ナリトシテ悉ク自己ノ有トス法律ノ規定ニ因リテ得ル利益ナルヲ以テ從前株主ハ不當利得ノ規定ニ基キテ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

讓渡人ハ株式ヲ拂込ミ又ハ不足額ヲ辨濟スルモ別段ノ定ナキ限りハ其辨濟ヲ自己ノ讓渡人又ハ從前株主ニ請求スルヲ得ス之ニハ反對論アルモ余ハ讓渡人

ハ必スシモ當然償還請求權ヲ有スルモノニ非スト解ス

株式讓渡人ノ拂込又ハ不足額辨濟ノ責任ハ株式ノ讓渡ヲ株主名簿ニ記載シタル後二年ヲ經過シタルトキハ消滅ス(一五四)絶對ノ消滅ニシテ時効ニ非ラス然ハ會社カ讓渡人ニ追及セントスルニハ此期間ニ如何ナル行爲ヲ爲スヘキカニ關シテ多クノ説ヲ生ヌ第一回催告說ハ會社ハ此二年間ニ株主ニ對シテ拂込ヲ催告スレハ可ナリ株主ニ催告スルハ讓渡人ニ催告スルニ等シケレハナリト云ヒ第二回催告說ハ會社ハ讓渡人ニ責ヲ負ハシムルニハ現在ノ株主ニ對シテ爲スヘキ事ヲ悉ク爲シ何時ニテモ讓渡人ニ請求シ得ル地位ニ居ルヲ要ス然ルニ第一回催告ハ單ニ株主ニ警告ヲ與フルニ止マリ株主ハ之ニ應セサルモ損害ヲ蒙ルコトナシ株主ニ利害ノ影響ヲ及ホスモノハ第二回催告ナリ株主カ之ニ應セサルトキハ失權スレハナリ故ニ會社ハ二年間ニ第二回催告ヲ爲ササルヘカラスト云ヘリ然レトモ本問ハ讓渡人ノ免責ニ關スルヲ以テ主トシテ見ルヘキモノハ讓渡人ナリ會社カ讓渡人以外ノ者ニ幾回ノ催告ヲ爲スモ讓渡人ハ自己ニ催告ヲ受ケタルニ非サルヲ以テ拂込ムニ由ナシ讓渡人ヲシテ拂込ム機會ヲ

得セシメスシテ二年ヲ經過スルトキハ其責任ヲ消滅セシメテ可ナリ故ニ會社カ讓渡人ニ對スル權利ヲ保全センニハ二年間ニ讓渡人ニ對シテ催告セサルヘカラス之ヲ直接催告説ト名ケ余ノ主張スル所ナリ尙辨濟請求ナルモノアレトモ探ルニ足ラス

従前株主ハ拂込義務ヲ免カルニ非ス故ニ競落後ノ株主カ拂込ヲ爲ササル場合ニハ會社ハ従前株主ニ對シテモ拂込ヲ請求スルコトヲ得従前株主ハ株主タル權利ヲ失フモ義務ヲ免レス適法ニ株式ヲ讓渡シタル者モ尙二年間ハ拂込ノ義務ヲ負フトスレハ拂込ノ義務ヲ盡ササル爲メニ失權シタル者ハ此義務ヲ負フハ當然ナリ反對論者多數者ハ反對論ナリハ法律ハ現在株主ト讓渡人トニ拂込義務ヲ負ハシメタルモ従前株主ハ讓渡人ニ非サルヲ以テ拂込ノ義務ナシト云フモ義務ノ不履行ニ因リ却テ重大ナル責任ヲ免カルトスルハ非ナリ又之ヲ認ムルトキハ拂込ノ資力アルニ拂込ヲ爲サス従前株主ト爲リテ義務ヲ免レントスル者ヲ生スヘシ故ニ従前株主ニモ拂込ノ義務アリトシ此義務ハ株式ノ競落ヲ株主名簿ニ記載シタル後二年ヲ經過スルトキハ消滅スト解スヘシ

會社ハ拂込請求權ヲ讓渡スコトヲ得ス拂込請求ハ會社ト株主トノ間ニ存スル特殊ノ關係ニシテ會社ヨリ分離シテ他人ニ讓渡スヲ得サルモノナリ或者ハ拂込請求權モ一ノ債權ナルヲ以テ他ノ債權ト等シク讓渡スコトヲ得ト云フモ此債權ハ讓渡ヲ許ササル性質ノモノナルヲ以テ民四六六普通債權ニ關スル原則ニテ律スルヲ得ス法律カ拂込請求ニ關シテ嚴重ナル法式ヲ規定セルヨリシテモ特殊ノ債權ナルヲ知ルヘシ

會社ハ株主ヲシテ株金ヲ拂込マシムルニハ上述ノ如キ手續ヲ爲スハ是レ法カ會社ノ爲メニ特定メタル權利行使ノ方法ナリ決シテ之カ爲メニ會社ノ有スル普通ノ請求方法ヲ除外スルニ非ス故ニ會社カ第一回催告ヲ爲スモ株主カ之ニ應セサル場合ニ第二回催告ノ方法ニ依ラスシテ普通ノ強制手段ニ據ルコトヲ得ヘク第二回催告ニ應セサル場合ニモ強制手段ニ據ルコトヲ得ヘシ大審院ハ屢此主意ノ判決ヲ下セリ又會社ハ此規定ニ因リテ株主又ハ株式讓渡人ニ請求シ得ル外拂込義務ノ不履行ニ因リテ蒙ムリタル損害ヲ賠償セシメ又ハ定款ヲ以テ定メタル違約金ヲ請求スルコトヲ得

株式ノ讓渡及ヒ質入

株式ハ會社ノ承諾ナクシテ讓渡シ得ルヲ原則トス(一四九)持分ハ社員ノ承諾ナク讓渡シテ之ヲ會社ニ對抗スルヲ得ストスルモ株式ハ自由ニ轉讓スヘキ性質ノモノニシテ會社ノ承諾ナク讓渡シ簡易ナル手續ヲ爲シテ之ヲ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得トシタリ定款ヲ以テ之ニ異ナル定メヲ爲シ例ハ株式ハ會社ノ承諾ナクシテ讓渡スコトヲ得ストスルハ可ナレトモ如何ナル場合ニモ讓渡スコトヲ得ストスルハ株式ノ性質ニ反ス

株式ノ讓渡ハ當事者ノ合意ヲ以テ爲スモ其讓渡ヲ會社其他ノ第三者ニ對抗スルニハ記名株ニ在リテハ讓受人ノ氏名住所ヲ株主名簿ニ記載シ且其氏名ヲ株券ニ記載スルヲ要シ(一五〇)無記名株ニ在リテハ株券ヲ讓受人ニ交付スルヲ要ス民法ニハ無記名債權ヲ動産ト看做シ動産ノ讓渡ハ其動産ノ引渡アルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルヲ得ストスルヲ以テ其規定ヲ無記名株ニ準用スルナリ(民八六一七八)株式ハ純然タル債權ニ非サレトモ商法ハ屢之ニ債權ノ規定ヲ準用セルヲ以テ無記名株ノ讓渡ニ關シテモ亦無記名債權ノ規定ヲ準用

シテ可ナリ尙讓渡ノ對抗手續ニ關シテ述ヘタル所ハ讓渡以外ノ原因ニ因ル株式ノ移轉ニ關シテ云フモ總テ同一ナリ

當事者間ニ株式ノ讓渡ヲ爲シ讓受人カ氏名ノ記載ヲ請求スルトキハ會社ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス讓渡ハ當事者ノ任意ニ爲シ得ルモノニシテ會社ハ異議ヲ述フルヲ得サルハ當然ナリ然レトモ讓受人ト稱シテ書換ヲ請求シ來タル者ハ正當ノ者ニ非スト思惟スルトキハ其眞僞ヲ調査スル權アリ又會社ハ或場合ニ名義ノ書換ヲ停止スルコトヲ得

株式ヲ讓渡スコトヲ得ルハ會社ノ設立登記後ナリ設立登記ヲ爲ササルトキハ株券ヲ發行スルヲ得ス株券ヲ發行シ得サル際ニ株式ヲ讓渡スモ讓渡ヲ會社其他ノ第三者ニ對抗スルヲ得サルヲ以テ其效力薄弱ナリ且此ノ如キ際ニ讓渡ヲ許ストキハ屢良民ヲ詐害スルコトアルヲ以テ讓渡ハ必ス登記後ニ爲サシメ登記前ニ爲ス讓渡ヲ全然無効トス同一ノ主意ヨリシテ讓渡ノ豫約ヲモ無効トス豫約トハ會社カ登記セラレテ其株式ヲ讓渡シ得ル時期ニ至ラハ之ヲ讓渡サント約スルモノナリ會社カ未タ成立セヌ隨テ未タ株式ヲ生セサル場合或ハ會社

ノ増資ノ爲メ新株ヲ募集スル際ニ未タ株式ヲ生セサル場合ニ株式ヲ引受クル
 権利或ハ之ヲ引受クル者ノ権利ヲ讓受ケ權利株ノ賣買ト稱スルコトアリ此賣
 買ハ全然無効ナリ

讓渡シ得サルモノヲ讓渡スモ無効ナリ隨テ讓受人ハ代價ヲ支拂フヲ要セス支
 拂フヲ要セサルニ支拂フタルトキハ其返還ヲ請求シ得ルカ余ハ權利株ノ讓渡
 ハ不法行爲ナリトシ民法ニ不法ノ原因ノ爲メ給付ヲ爲シタル者ハ其給付シタ
 ルモノノ返還ヲ請求スルコトヲ得スト云ヘルヲ適用シテ返還ヲ請求シ得スト
 解スルモ我裁判所ハ不法ノ原因ヲ醜行ト否ラサルモノトニ分チ而シテ權利株
 ノ讓渡ハ醜行ニ非サルヲ以テ讓受人ハ之ヲ主張シテ代價ノ返還ヲ請求スルコ
 トヲ得ト云ヘリ法律ノ誤解ナリ

會社ハ自己ノ株式ヲ讓受クルコトヲ得ス會社ハ自己ノ株式ヲ取得スルコトヲ
 得ストセル規定ヨリ生ス(一五)株式ハ會社ニ對スル權利義務ノ包括ナルヲ以
 テ之ヲ會社ニ取得セシムルハ通常ノ法理ニ反ス又會社ヲシテ株式ヲ取得セシ
 ヲ混同ノ法理ニ依リテ消滅セシムルトキハ會社ノ資力ヲ減シテ會社ノ債權者

其他ノ者ヲ害スルコトアリ又會社ハ自己ノ株式ヲ賣買シ不當ニ其相場ヲ高メ
 ントスル弊害ヲモ生スヘシ故ニ會社ヲシテ株式ヲ取得シ得サラシメ株主ノ失
 權ニ因リ或株式カ自然ニ會社ノ有ニ歸シタル場合ニハ速カニ之ヲ競賣セシム
 ルナリ

株式ノ讓受人ハ株式ヲ取得シテ株主ト爲ル若シ其讓受前ニ利益配當ノ決議ヲ
 爲シタルトキハ配當請求權ハ讓受人ノ有ニ歸スルコトナク總會決議ノ無効宣
 告請求權モ讓受人ニ移轉スルコトナシ其代リ讓渡人ノ有セル一身上ノ瑕疵ヲ
 モ承繼セサルヲ以テ會社カ讓渡人ニ對抗シ得ヘカリシ事由ニシテ讓受人ニ對
 抗シ得サルモノ多カラン

株式ハ之ヲ質入スルコトヲ得株式ハ讓渡スコトヲ得ルヲ以テ質入シ得ルハ明
 カナリ又會社ハ自己ノ株式ヲ質權ノ目的トシテ受クルコトヲ得スト云ヘルヨ
 リシテ其他ノ者ニハ質入シ得ルヲ知ルナリ若シ定款ヲ以テ株式ハ質入スルコ
 トヲ得ストスルカ又ハ質入スルニハ會社ノ承諾ヲ要ストスルトキハ之ニ從フ
 ヘク其定款ニ違反シテ爲シタル質入ヲ會社ニ對抗スルヲ得ス

株式ノ質入ハ株券ヲ交付スルコトニ依リテ之ヲ爲ス質權設定ノ方法ハ總テノ株式ニ同一ナリ然レトモ之ヲ第三者ニ對抗スル方法ニ關シテハ議論アリ無記名株ノ質入ヲ第三者ニ對抗スルハ株券ヲ其儘ニ交付スルノミニテ足ルコトニ一致スルモ記名株ニ關シテハ議論アリ或者ハ記名株ノ中ニテ指圖株ノ質入對抗ハ株券ニ質權ノ設定ヲ裏書スルコトナリ指名株ノ對抗方法ハ株券ヲ其儘ニ交付スルコトナリト云ヒ或者ハ指圖株モ指名株モ株券ノ交付ノミニテ足ルト云ヒ或者ハ記名株ノ中ニ指圖株ナルモノナシ悉ク指名株ニシテ其指名株ハ株券ノ交付ノミニテ對抗スルコトヲ得ト云ヒ又或者ハ記名株ハ悉ク指名株ニシテ其質入ノ對抗ニハ株主名簿及ヒ株券ニ記入スルコトヲ要スト云ヘリ我民法商法トモニ記名株ノ質入ノ對抗方法ニ關シテ特ニ規定セス然レトモ民法ニハ指圖債權ノ質入ノ對抗ニスラ裏書ヲ要ストスレハ記名株ノ質入ノ對抗ニハ裏書以上ノコトヲ要シ即チ商法ノ讓渡ノ對抗方法ノ規定ヲ準用シテ名簿及ヒ株券ニ記入スルコトヲ要スト云フニハ強キ理アリ然レトモ多數ノ學者ハ實際ノ便宜ヲ主トシ株券ノ交付ノミニテ足リ他ニ何事ヲモ要セスト解セリ其理

由トスル所ハ法律ニ質權ノ設定方法ヲ規定シ其對抗方法ニ關シテ特ニ規定セサルトキハ設定ノ儘ニテ直チニ對抗スルコトヲ得ルナリ殊ニ民法ニハ指名債權ノ質入ノ對抗方法ニ關シテ特別ノ規定ヲ設ケナカラ此規定ハ之ヲ記名株ニ適用セスト明言シ又商法ニハ記名株ノ讓渡ノ對抗方法ヲ規定シナカラ質入ノ對抗方法ニ關シテ何事ヲモ云ハサルヲ以テ之ニハ別段ノ方法ヲ要セサルモノト解スヘシト云フニ在リ理由ノ當否ハ別トシ此ノ如ク解スルトキハ取引ノ簡易迅速ヲ得ルヲ以テ今ヤ此說ヲ採ル者多シ(二五〇、民三六四、三六六)

記名株質入ノ對抗方法ニ關シテハ種々ノ說アルヲ以テ實際ニハ債權者ハ債務者ヲシテ株券ニ其讓渡ノ白紙委任狀ヲ添付セシメ株券ト共ニ之ヲ取得シ債務者ニシテ債務ヲ辨濟セサルトキハ自ラ債務者ノ代理人ト爲リテ其株式ヲ賣却スルコトトセリ而シテ慎重ナル者ハ白紙委任狀ノ外更ニ讓渡承諾書ナルモノヲ取得ス此方法ハ今ヤ我國ノ商慣習ト爲リテ裁判所ニ承認セラル債權者ニ利益ナレトモ債務者ニハ大ニ不利益ナリ何トナレハ債務者ハ株式讓渡ノ代理權ヲ授與セルヲ以テ債權者カ賣却シ得ル時期ニ先チテ株式ヲ賣却スルモ債務者

株 金 拂 込 記 入 (同 英 文)				
回数	金額及年月日	社印	取 得 者 記 名 調 印	年 月 日 (同 英 文)
第壹回	金拾貳圓五拾錢 明治四拾四年五月拾壹日			
第貳回				
第參回				
第肆回				
回数	金額及年月日	社印	取 得 者 記 名 調 印	年 月 日 (同 英 文)
第五回				
第六回				
第七回				
第八回				

二九〇

株式ハ權利義務ノ包括ニシテ無形ナルヲ以テ之ヲ表示スル爲メ有形ノ證券ヲ用ユ之ヲ株券ト稱ス

株券ハ必スシモ常ニ株式ニ伴ヒテ存在スルニ非ス株券ハ株式ノ存在ヲ前提トシ株式ヲ生シタル後之ヲ體現セシムルモノナルヲ以テ其作成前ニハ株式ノミ單獨ニ存在スルナリ發起人カ總株ヲ引受クルカ或ハ株主ノ數少キトキハ長ク株券ヲ發行セスシテ會社ヲ繼續スルコトアルヘシ故ニ同シク有價證券ト云フモ株券ハ手形ノ如ク證券ノ發行ヲ待チテ權利ノ初メヲ生スルモノトハ異ナレリ隨テ手形ハ設權證券ナレトモ株券ハ設權證券ニ非ス然レトモ無記名株ニ株券ナクシハ株式ヲ讓渡スコトヲ得ス又記名株ニテ株式ノ讓渡ヲ會社其他ノ第三者ニ對抗スルニハ讓受人ノ氏名ヲ株券ニ記載スルヲ要スルヲ以テ株式ノ權利ヲ十分ニ發揮スルニハ株券ヲ要シ而モ其占有ヲ必要トスルヲ以テ有價證券論ニ於テ權行説ヲ採ル者モ株券ヲ有價證券中ニ入ルナリ而シテ株券アルトキハ株式ハ之ニ化現シ屬株式ト株券トヲ同視スル程ナルヲ以テ權現説ヲ採ルモ株券ハ有價證券ナリ

株券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ取締役之ニ署名スルコトヲ要ス(一四八)何レモ絶對要件ニシテ其一ヲ缺クモ株券ヲ成サス

一 會社ノ商號

二 設立登記ノ年月日

三 資本ノ總額

四 一株ノ金額

一時ニ株金ノ全額ヲ拂込マシメサル場合ニ於テハ拂込アル毎ニ其金額ヲ株券ニ記載スルヲ要ス時トシテハ全額拂込ナキ中ハ假株券ヲ發行セシメ全額ノ拂込ヲ待チテ本株券ト引換ヘシムル國アルモ我國ハ初メヨリ本株券ヲ發行セシメ漸次之ニ拂込金額ヲ記載セシム拂込ヲ爲シタル株主ハ會社ニ對シテ其金額ノ記載ヲ請求スルコトヲ得トシ之ヲ請求シタルニ取締役カ記載セサルトキハ過料ニ處ス然レトモ株主カ記載ヲ請求セサレハ其儘ニ委シテ可ナリ株主ヲシテ強テ之ヲ記載セシムル必要ナク又之ヲ強制スル良法ナシ

株券發行ノ年月日ハ必要ナルニ法律ニ之ヲ要件トセサリシヲ遺憾トス

株券ヲ發行シ得ル時期ハ會社ノ設立登記ヲ爲シタル時ナリ(一四七)同時成立ニ在リテハ検査役ノ調査ヲ終リテ登記ヲ爲シタル後トシ漸次成立ニ在リテハ創立總會ノ終結シテ登記ヲ爲シタル後トス此等ノ時機ニ至レハ既ニ會社ニ關スル凡テノ調査ヲ終リ第一回ノ拂込ヲ完了シ詐欺強迫ニ因ル引受人モ引受ヲ取消シ得サルニ至レルヲ以テ株券ヲ發行シテ株主ノ權利ヲ明カニシ且容易ニ株式ヲ讓渡シテ之ヲ會社其他ノ第三者ニ對抗シ得セシムルナリ

會社カ株券ヲ發行シ得ル時機ニ先チテ株券ヲ發行スルモ全然無効トシ此發行ニ因リテ損害ヲ蒙リタル者ハ會社ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得會社カ時機ニ先チテ發行シタル後ニ其時機カ到來スルモ曩キニ發行シタル無効ノモノハ當然有効ト爲ルコトナシ獨逸ノベールンド氏ハ余ト同說ナルモ獨逸帝國裁判所ハ之ニ反對シ會社ノ登記前ニ發行シタルモノハ株券ニ非サルモ登記ニ因リテ自然ニ株券ト爲ルト云ヘリ非ナリ株券ハ之ヲ發行シ得ル時機ニ發行スルヲ必要トシ時機ハ嚴重ナル前提條件ナルヲ以テ之ニ先チテ發行シタルモノハ當然株券ト爲ルコトナシ若シ之ヲ許ストキハ發行ノ時機ヲ嚴重ニシタル

主意ヲ破ラシ

株券ニハ記名ノモノト無記名ノモノアリ株式ニ記名株ト無記名株アリト云フハ株券ヲ聯想シテ生シタル語ナリ株券ナケレハ記名無記名ノ實ヲ想像シ得サレハナリ記名株券トハ株主ノ氏名ヲ記載シタルモノニシテ無記名株券トハ之ヲ記載セサルモノナリ其如何ニ依リテ之ニ表現セル株式ノ讓渡及ヒ對抗方法ヲ異ニス會社ハ記名株ノミヲ發行スルコトアリ無記名株ノミヲ發行スルコトアリ二種ヲ合セテ發行スルコトアリ又株主ノ隨意ニ記名株ヲ無記名株ト變シ或ハ無記名株ヲ記名株ト變更スルコトヲ得之ヲ原則トスレトモ株主カ記名株券ヲ無記名株券ト爲スコトヲ請求スルニハ株金全額ノ拂込アルヲ要ス(一五五)是レ無記名株ノ拂込ヲ催告シ其不足額ノ辨濟又ハ損害賠償ノ請求ヲ爲スハ困難ナルヲ以テナリ取締役カ之ニ反シテ拂込未済ノモノヲ無記名式ト爲シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處セラル

第三節 會社ノ機關

法人ハ無形ノモノナリ自ラ現實ニ其意思ヲ表示スルコトヲ得ス又自ラ手ヲ下シテ他人ト行爲ヲ爲シ得サルヲ以テ種々ノ機關ヲ設ク機關ハ法人ノ構成ノ一部ナリ合名會社及ヒ合資會社ニ在リテモ機關ヲ要スルモ此等ノ會社ニテハ社員ハ相互ニ借用シ其數モ亦少キヲ以テ殊更ニ特別ノ機關ヲ置クヲ要セス法律モ亦社員ハ或行爲ヲ爲スト云フニ止マリ之ニ特別ノ機關名稱ヲ附セス株式會社ニ在リテモ其初メハ特別機關ヲ設ケス株主ノ或者カ會社ノ爲メニ業務ヲ執行シ會社ヲ代表シ別ニ業務執行者間ノ關係及ヒ如何ニシテ會社ノ意思ヲ表示スヘキカヲ定メサリシモ會社カ發達シテ株主ノ數ヲ増スニ從ヒ業務ヲ執行シ會社ヲ代表スル者ヲ特定シ次テ會社ノ意思ヲ作成表示スル方法ヲ定メ茲ニ至リテ株主總會及ヒ取締役ヲ生シ明白ナル意思機關(議決機關)及ヒ執行機關ト爲リタルナリ又初メハ總會自ラ執行機關ヲ監督シタリシヲ會社ノ發達スルニ從ヒ常設ノ監督機關タル監査役ヲ生シ今ヤ更ニ他ノ機關ヲ生セントスル傾向アリ

機關ヲ其職務ノ性質ヨリ區別スルトキハ意思機關、執行機關、代表機關、監督機關

最高監督機關調查機關等ト爲リ存在ノ時ヨリ區別スルトキハ常設機關臨時機關ト爲ルモ寧ロ株主總會取締役及ヒ監査役ナル法定ノ名稱ノ下ニ説明スヘシ

第一款 株主總會

株主總會ハ會社ノ意思機關ナリ會社ノ意思ハ總會ニ依リテ表示セラル時トシテ會社ニハ意思ナシ總會ハ會社ノ爲メニ意思ヲ作成スルモノナリ故ニ作成機關ナリト云ヒ或ハ意思ハ作成シタルノミニテハ他人ニ知ラレス必スヤ外ニ表示スルヲ要ス之ヲ表示スルモノハ總會ナリ故ニ總會ハ作成機關タルト同時ニ表示機關ナリト云フ者アリ必スシモ誤ニ非サレトモ苟クモ會社ヲ人トスレハ人ニハ意思アリト云フハ至當ニシテ唯無形人ナルカ故ニ其意思ヲ表示スル機關ヲ要スト見ルヘシ會社ノ意思表示ハ決議ノ方法ニ依リテ爲スヲ以テ總會ヲ稱シテ議決機關ト云フ

總會ハ會社ノ意思ヲ表示シ執行機關ヲシテ之ヲ執行セシムル外其執行ヲ監督シ監査役ノ制定セラレタル後モ尙ホ最高監督機關トシテ監督作用ヲ爲スナリ或場合ト或意味ニ於テハ執行作用ヲ爲スコトモアリ株主總會ヲ會社ノ有名機

關ト認メタルハ取締役ヲ生シタル後ナリ獨逸商法ハ特ニ之カ爲メニ款ヲ設ケヌ取締役及ヒ監査役ノ規定ニ次テ會社事項殊ニ業務執行ニ關シテ株主ノ有スル權利ハ總會ノ決議ニ依リテ行使セラルト云ヒテ株主總會ノ性質ノ一部ヲ示スニ止マルモ(獨商二五〇)我商法ハ特ニ一款ヲ設ケテ總會ノ招集手續決議方法等ヲ示シタリ

株主總會ノ種類

株主總會ニハ定時總會及ヒ臨時總會アリ
定時總會ハ毎年一回一定ノ時期ニ開クモノナリ(一五七)取締役之ヲ招集スルヲ通常トスルモ時トシテ他ノ者カ招集スルコトアリ毎年一回之ヲ開カシムルハ株主ヲシテ毎年取締役及ヒ監査役ノ行爲ヲ調査シ會社及ヒ自己ノ利益ヲ保護スルコトヲ得セシムル爲メナリ毎年利益配當ヲ爲ササル會社ニ在リテモ總會ハ必ス毎年招集セシメ年二回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ニテハ配當期毎ニ招集セシム一定ノ時期ニ招集スヘシト云ヘル一定ハ相當ノ定時ニテ可ナリ多クハ六月又ハ十二月トシ取締役ハ其間ニ適當ノ日ヲ選定ス

定時總會ニ於テ爲スヘキ事モ法律ニ限定セラレヌ舊規定ニハ定時總會ハ取締役カ提出シタル書類及ヒ監査役ノ報告書ヲ調査シ且利益又ハ利息ノ配當ヲ決議スト定メテ其權限ヲ限定シタルモ改正規定ニテ之ヲ削除シ其權限ヲ無限トシタリ隨テ今ヤ定時總會ニ於テ何事ヲ爲スモ可ナリ然レトモ實際ニハ多ク書類ノ調査ト利益配當ノ決議ナラン總會ハ取締役ノ提出シタル書類及ヒ監査役ノ報告書ヲ調査セシムル爲メ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得(一六〇ノ二)検査役ハ株主中ヨリ選任スルモ其以外ノ者ヲ選任スルモ可ナリ調査ノ主意ニ矛盾セサル範圍内ニ於テ取締役又ハ監査役ヲ選任スルモ尙可ナリ

臨時總會ハ必要アル毎ニ開クモノナリ取締役ハ總會ヲ招集スル必要アリト認めタル場合ニ招集スルヲ通常トシ或場合ニハ法律ニテ其招集ヲ命ス例ハ會社カ其資本ノ半額ヲ失ヒタル場合ニ總會ヲ招集セシムルカ如シ(一七四)又取締役監査役ヲ選任スル爲メニ之ヲ招集スルコトアリ招集ノ日ハ定時總會ノ日ト同日ナルモ可ナリ開會ノ時間ハ定時總會ヨリ先ナルモ可ナレトモ後ニスルヲ便トス總會ノ權限ヲ限定セサルコト定時總會ニ於ケルト等シ

株主總會ヲ分テテ普通株主總會及ヒ優先株主總會トス普通株主總會ハ優先株ヲ發行シタル場合ト否トニ拘ハラヌ生シ優先株ヲ發行セサル場合ハ悉ク同種ノ株主ヨリ成リ之ヲ發行シタル場合ハ普通株主及ヒ優先株主ヨリ成ル優先株主總會ハ優先株主ノミヨリ成リ諸種ノ優先株ヲ發行シタル場合ニハ之ニ應スル數ノ優先株主總會ヲ生スヘシ

優先株主總會ハ特ニ優先株主ノ利害ニ關スル事項ヲ議決スルモノニシテ就中重要ナルハ優先株主ニ損害ヲ及ホスヘキ定款ノ變更ヲ爲ス場合ナリトス此變更ヲ爲スニハ普通株主總會ノ決議ノ外優先株主總會ノ決議ヲ要ス(一一二)優先株主總會ヲ招集スル者招集ノ時期方法議決權ノ行使決議ノ方法決議無効ノ宣告等ニ關シテハ普通株主總會ニ關スル規定ヲ準用ス

株主總會ノ招集

株主總會ヲ招集スル者ハ取締役タルヲ通常トス取締役ハ會社ノ業務ヲ執行スル者ニシテ何時ニ總會ヲ開キテ會社ノ意思ヲ知ルヘキカヲ判定スルニ最モ適スレハナリ

取締役ハ自ら總會ヲ召集セント欲シテ召集スルコトアリ又法律ノ規定ニ基キテ召集スルコトアリ(一七四、一五九)定時總會ハ毎年召集セサルヘカラス臨時總會ハ必要アル毎ニ召集ス此點ニ於テハ法律ノ規定ニ基クナリ然レトモ定時總會ヲ如何ナル時期ニ召集スヘキカ又何時ハ果シテ臨時總會ヲ召集スル必要ニ接シ居ルカヲ定ムルハ専ラ取締役ノ意思ニ出ツ尙取締役ハ總會ヲ召集スルコトヲ欲セス又召集ノ必要ナシト認ムルモ十分一株主ヨリ請求セラルトキハ之ヲ召集セサルヘカラス是レ會社ハ株主ノ會社ナルヲ以テ株主ヲシテ總會召集ノ原動者タルヲ得セシムルナリ

或場合ニ於テハ監査役ハ總會ノ召集者タルコトアリ監査役ハ業務ノ執行ヲ監督シ専心會社ノ利益ヲ慮ルヘキモノナルヲ以テ株主ニ會社ノ情況ヲ報告シテ其意見ヲ聽ク必要アリト信スルトキハ總會ヲ召集スルコトヲ得ルナリ(一八二)管ニ監査役ノ權利ナルノミナラス同時ニ其義務トス

十分一株主モ亦總會ヲ召集シ得ルコトアリ株主ハ各個ノ株主トシテハ利益ノ配當ヲ受ケ總會ニ於テ發言シ得ル等ニ止マリ直接ニ業務ニ干渉スルヲ得ス又

自ら總會ヲ召集スルヲ得ス然レトモ或場合ニハ定數ノ株主ヲシテ合シテ自ら總會ヲ召集シ以テ會社ノ意思ヲ表示スルコトヲ得セシム之ヲ少數株主ノ權利トシ或學者ハ少數株主モ亦一ノ集合體トシテ會社ノ機關ヲ成スト云ヘリ此權利ヲ行フニハ幾何ノ株主ヲ要スルカハ國ニ依リテ異ナリ我國ハ資本ノ十分一以上トシタリ資本ノ十分一トシ株主ノ數ノ十分一トセサリシハ資力ニ重キヲ置キタルナリ然レトモ單ニ資本ノ十分一トシタルヲ以テ一人ニテ之ヲ有スルトキハ其者ノ隨意ニ總會ヲ召集シ得ルコトト爲ルヲ以テ改メテ資本ノ十分一及ヒ株主ノ數ノ十分一ニ當ル者トスヘシ

總會ヲ召集シ得ルモノハ資本ノ十分一以上ノ株主ナリ定款ヲ以テ之ヨリ少數ノ者モ總會ヲ召集スルコトヲ得ト定ムルヲ得然レトモ十分一ヨリ多クノ株主カ合スルニ非サレハ總會ヲ召集スルヲ得スト定ムルコトヲ得ス總會ノ召集ハ株主ノ有スル干渉權ノ重モナルモノニシテ尤モ尊重セサルヘカラス然ルヲ法定ノ數ヨリモ多數者カ合セサレハ總會ヲ召集スルヲ得ストスルトキハ株主ノ權ヲ甚ク減殺スルコトト爲ラン

十分一株主カ總會ヲ召集スルハ非常ノ事ナルヲ以テ之ヲ爲スニ先チテ一定ノ條件及ヒ手續ヲ要ス即チ總會ノ目的タル事項及ヒ其召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ取締役ニ提出シテ總會ノ召集ヲ請求シタルニ取締役カ請求後二週間内ニ召集ノ手續ヲ爲ササルヲ要ス又召集ニ先チテ裁判所ノ許可ヲ得ルヲ要スルナリ(一六〇)此二個ノ手續ヲ必要トスルヲ以テ之ヲ盡サスシテ召集シタル總會ハ違法ニシテ其決議ハ無効ナリ

總會ニ召集ヲ受クル者ハ召集當時ニ於ケル株主ナリ正確ニ云フトキハ其際ニ株式ヲ有シテ之ヲ會社ニ對抗シ得ル者ナリ記名株ノ移轉ハ取得者ノ氏名ヲ株主名簿及ヒ株券ニ記載スルニ非サレハ之ヲ會社ニ對抗スルヲ得サルヲ以テ當事者間ニハ完全ノ移轉アルモ書換ノ手續ヲ爲ササルトキハ總會ニ召集セラル權利ナシ無記名株ニ在リテハ移轉ハ株券ノ交付ヲ以テ爲スカ故ニ未タ株券ヲ取得セサル者ハ召集ヲ受クル權利ナシ時トシテハ會社ハ總會ニ關スル煩雜ヲ避クル爲メ總會前一定ノ期間株券ノ書換ヲ停止スルコトアリ

總會ハ之ヲ召集シ得ル者カ召集ヲ受クル權アル者ヲ悉ク召集シテ閉クヘキモノナリ故ニ召集シ得サル者カ召集スルトキハ決議ハ全然無効ナリ又召集ヲ受クル權アル株主ヲ召集セシテ開會シタルトキハ其株主ハ決議ノ無効宣告ヲ請求スルコトヲ得實際ニ多クノ問題ヲ生スルハ或株主ニ對シテ召集ノ通知ヲ發スルコトヲ脱漏スル場合又ハ或株主カ破産、禁治産等ト爲リタル際彼等ニ對シテ通知ヲ發セサル場合ニ在リ

總會召集ノ方法ハ記名株主ニ對シテハ會日ヨリ二週間前ニ召集ノ通知ヲ發スルコトナリ無記名株主ニ對シテハ會日ヨリ三週間前ニ總會ヲ開ク旨ヲ公告スルコトナリ(一五六)通知ハ發スルノミニテ足り公告ハ定款ニ定ムル方法ニ依ル會日ニ先タツ期間ヲ嚴守スヘキコト株金拂込ノ期間ニ關スルニ等シ通知ハ書面上ノモノニ限ル通知ニハ一定ノ事項ヲ記載スルヲ要スレハナリ總會召集ノ通知及ヒ公告ニハ會議ノ目的タル事項ヲ示スコトヲ要ス我商法ノ改正規定ハ定款變更ノ場合ニノミ議案ノ要領ヲ通知公告ニ示サシムルモ他ノ場合ニハ會議ノ目的タル事項ヲ示セハ足ルトス獨逸商法ハ之ト異ナリテ總會ノ目的ト事項トノ間ニ差ヲ附シ總會ノ目的ハ二週間前ニ通知スヘク事項ハ一週間前ニ通

知シタルニ非サレハ決議スルコトヲ得スト云ヘリ總會ニテハ通知公告シタル事項ニ關シテノミ議スヘク突然通知外ノ議案ヲ提出シテ決議スルハ違法ナリ通知ハ株主名簿ニ記載シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル(一七二ノ二)

株主總會ノ決議

株主カ總會ニ出席シテ發言及ヒ決議スル權利ヲ株主ノ業務干涉權ト稱シ株主ノ有スル重要ナル權利ナリ株主カ總會ニ出席シテ決議スルニ因リテ會社ノ意思カ表ハレ執行機關之ヲ執行シ得ルナリ故ニ或點ヨリスレハ總會ニ出席スルコトヲ株主ノ義務トスヘキカナレトモ義務トスルモ強行シ難ク又損害賠償違約金等ノ制裁ヲ附シテ其履行ヲ強フルハ株式會社ニ不適當トシテ義務トセザリシナリ

株主ハ自ら出席スルヲ通常トスルモ代理人ヲ出席セシメテ議決權ヲ行フモ可ナリ(一六一)株主ヲ代理人トスルモ株主外ノ者ヲ代理人トスルモ可ナリ株主ヲ代理人トスル場合ニ其株主ハ自己ノ意見ヲ述ヘテ更ニ之ト異ナル本人ノ意見ヲ述フルモ可ナレハ同一ノ意見ナルトキ同時ニ之ヲ述フルモ可ナリ一人ニテ

幾人ノ代理ヲ爲スモ可ナルヲ以テ時トシテハ少數ノ代理人ニテ多數株主ノ意見ヲ壓倒スルコトアリ會社カ之ヲ欲セザルトキハ一人ノ代理シ得ル株主ノ數ヲ制限スヘシ代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ會社ニ差出スコトヲ要ス

無記名株主カ議決權ヲ行ハントスルニハ會日ヨリ一週間前ニ其株券ヲ會社ニ供託スルコトヲ要ス是レ無記名株主ノ何人タルカハ株券ヲ見テ初メテ知リ得ルモノナレハナリ(一六一、一五五ノ二)一週間前ニ供託セシムルハ會日ニ突然他人ノ株券ヲ借り來リテ總會ニ出席スル者ナカラシメシ爲ナリ或人カ無記名株券ヲ借受ケ又ハ之ヲ竊取シテ供託スルモ株主ノ權利ヲ行フヲ得サルハ理論上明白ナルモ無記名株ナルヲ以テ實際ニハ自己ノ株券ヲ供託シタルカ他人ノ株券ヲ供託シタルカ不明ナルコト多カラシ

株主ハ悉ク議決權ヲ有ス換言スレハ議決權ヲ有スルコトハ株主タルニ必要ノモノナリ然レトモ必スシモ常ニ之ヲ行使スルコトヲ得ルニ非ス故ニ議決權ヲ有スル事ト之ヲ行使スル事トヲ混同スヘカラス議決權ヲ行使シ得サル事ハ商法ノ規定ニ依ルコトアリ特別法令ノ規定ニ依ルコトアリ又定款ノ定ニ依ルコ

トアリ著シキ例ハ總會ノ決議ニ付キ特別ノ利害關係ヲ有スル者カ議決權ヲ行フヲ得サルニ在リ株主ハ總會ノ決議ニ利害關係ヲ有シ利害關係ヲ有スレハヨシ總會ニ出席スルモノナルモ特別ノ利害關係アル者ハ除去セサルヘカラス例ハ會社カ或株主ニ對シテ訴訟ヲ起サントスル場合ニ其株主ヲシテ議決權ヲ行ハシムヘカラス如何ナル程度ヲ以テ特別ノ利害關係ト見ルヘキカハ各場合ノ狀況ニ依リテ決ス二個ノ會社ノ合併決議ニ關シ若シ取締役又ハ監査役ハ特別ノ利害關係ヲ有スト決セラルトキハ彼等ハ其議決權ヲ行フコトヲ得サルナリ

優先株ヲ發行シタル場合ニ優先株主ノ權利ヲ増減セントスル場合ニハ優先株主ハ特別ノ利害關係ヲ有スル者トシテ議決權ヲ行フコトヲ得ス或學者ハ優先株主ノ權利カ増減スルハ通常ノ利害關係ナリト云フモ否ラス總テノ株主ノ權利ヲ増減スルニ非スシテ特ニ優先株主ノ權利ノミヲ増減スルハ優先株主ニ特別ノ利害關係アルモノナリ故ニ直接ニ其影響ヲ受タル優先株主ヲシテ議決權ヲ行ハシメヌ或學者ハ茲ニ特別ノ利害關係ト稱スルハ株主ノ一人又ハ數人ニ

特別ノ利害關係アルヲ意味シ一種ノ株主ノ全體ニ關係アル場合ヲ含マスト云フモ苟クモ法文ニ此區別ヲ設ケスシテ廣ク決議ニ付キ特別ノ利害關係ヲ有スル者ト云ヘル以上ハ一人ナルカ數人ナルカ一種ノ株主ナルカ數種ノ株主ナルカヲ問ハスト解セサルヘカラス或者ハ此決議ヨリ優先株主ヲ排斥スルハ優先株主ニ對シテ酷ナリト云フモ法律ハ之ニ對シ特別ノ方法ヲ以テ優先株主ヲ保護シ定款ノ變更カ優先株主ニ損害ヲ及ボスヘキトキハ株主總會ノ決議ノ外優先株主ノ決議アルコトヲ要ストシタルヲ以テ可ナリ(一一二)

議決權ヲ行フコトヲ得サル者モ發言ヲ爲シ得ルコトアリ余ハ發言ト決議投票トハ區別シ得ルモノト信ス

總會ニ於ケル議事ハ如何ニ進行セシムヘキカ何人カ之ヲ整理スヘキカハ商法ニ規定セサルモ會議ノ性質上總會自ラ之ヲ定ムヘク會長ニハ總會ノ選任シタル者ヲ充ツヘシ何等特別ノ事情モナキトキハ取締役ハ慣例ト條理ニ依リテ議事ヲ進行セシムヘシ

決議ヲ得ル方法ハ決議スヘキ事項ノ如何ニ依リテ異ナレリ分チテ二種トス

一 通常決議

通常事項ハ出席株主ノ議決權ノ過半数ヲ以テ決ス(一六一)定期ノ利益配當取締役監査役ノ選任解任或財産ノ處分等ニシテ定款ノ變更ヲ要セサルモノハ此方法ニ依ルナリ出席株主ノ數ヲ問ハサルヲ以テ僅カニ總株主ノ百分一出席スルモ其過半数ヲ以テ決議スルコトヲ得極メテ輕易ナルヲ以テ簡易ノ決議ト云フコトアリ

二 特別決議

特別事項ニハ特別ノ決議方法ヲ要ス茲ニ特別事項ト稱スルハ主トシテ定款ノ變更ヲ指スナリ定款ハ會社ノ基礎ヲ爲スモノニシテ總テノ株主ニ大關係ヲ有スルヲ以テ其變更ニモ鄭重ノ手續ヲ要シ單ニ出席株主ノ過半数ニ依リテ決スヘカラス隨テ總株主ノ半数以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ議決權ノ過半数ヲ以テ決スヘシ(二〇九)決議ノ方法ヨリモ寧ロ總會ノ成立ニ關スル蓋ナルモ便宜ノ爲メ特別總會ニテ決議スルモノヲ特別決議ト云フナリ(二〇九)九條ニ規定セラレテ屢採用セラルヲ以テ世人之ヲ(二〇九)條

ノ決議ト稱ス

特別決議中(一)必ス定款ノ出席ヲ要スルモノト(二)一タヒ總會ヲ招集シテ定款ヲ得サルトキハ出席者ノミヲ以テ假決議ヲ爲シ再ヒ總會ヲ招集シ出席者ノ多少ニ拘ハラヌ先キノ假決議ヲ本決議トスルモノトアリ前者ハ會社事業ノ變更ノ場合ニ必要ニシテ之ヲ絕對特別決議ト稱シ後者ハ一般ニ定款ヲ變更スル場合ニ用キラレ相對特別決議ト稱ス假決議ニ基ク決議ト云フコトアリ後ニ定款變更ノ章ニテ説ク所ヲ參照スヘシ

決議ハ議決權ノ過半数ヲ以テ決スルヲ原則トシ會社ハ定款ヲ以テ之ヨリ嚴重ナル方法ヲ定ムルコトヲ得然レトモ簡易ノ方法ヲ定ムルヲ得ス例ハ議決權ノ四分三ヲ以テ決スト定メ得ルモ三分ノ一ニテ決スト定メ得サル如シ蓋シ各人ノ權利ハ各人ノ同意ヲ以テ變更増減スヘキモノニシテ多數決ニテ決スルサヘモ既ニ純理ニ反スルナリ故ニ假ヒ會社ノ如キ團體ニハ已ムヲ得ス多數決ヲ認ムルモ成ルヘク嚴密ニ解セサルヘカラス

議決權ノ過半数ヲ定ムルニハ其議決權ノ單位ヲ定メサルヘカラス商法ハ一様

ヲ以テ議決權一個トシタリ(一六二)故ニ千株ノ會社ニ在リテ一人カ五百一株ヲ有スルトキハ其者ノ意思ニ依リテ議決セラル理ト爲リ資本家ノ壓制ヲ來スヘシ定款ノ變更ニハ株主ノ員數ト資本額トカ何レモ半數以上出席スルヲ要スルヲ以テ少數資本家ノ出席ニテハ總會ヲ成立セサルモ一旦定款ノ出席者ヲ生シ總會ヲ成立シタル後ハ一人ノ株主ニテ議決ヲ左右シ得ルナリ之ヲ防ク爲メニ定款ヲ以テ十一株以上ヲ有スル株主ノ議決權ヲ制限スルコトヲ認ム例ハ本會社ニ在リテハ議決權ハ十株マテハ一株毎ニ一個トシ十一株以上ハ十株毎ニ一個トスト定ムル如シ

十株以下ノ株主ノ權利ハ制限スルコトヲ得ス同一ノ理由ニ由リ本會社ニ在リテハ五株以上ノ株主ニ非サレハ議決權ヲ有セストスル定款ハ無効ナリ四株以下ノ株主ハ議決權ヲ有セサルニ至レハナリ議決權ハ株主タルニ必要ニシテ豫メ拋棄スルコトヲ得サルモノナリ或種ノ會社ニテハ株主ノ數多キニ過キ一株ノ株主ニハ議決權ヲ有セシメサルヲ可トスルヲ以テ特別法令ニテ其制限ヲ認ムルコトアルモ商法ハ十株以下ノ者ニハ一株毎ニ必ス一個ノ議決權ヲ與フル

主意ナルヲ以テ嚴守セサルヘカラス

決議ノ無効判決

總會ノ招集手續又ハ其決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ反スルトキハ或株主取締役又ハ監査役ハ其決議ノ無効ヲ主張スルコトヲ得(一六三)所謂無効判決請求權ニシテ獨法ニアソフヒツングス、レヒト即チ爭效權ト稱スルモノナリ

株主等カ決議ノ無効ヲ主張シ得ル場合ハ法律ニ限定セラル即チ(一)總會ノ招集手續カ法令又ハ定款ニ反スルトキ(二)決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ反スルトキナリ例ハ招集ノ通知ハ會日ヨリ二週間前ニ發スヘキニ十三日前ニ發シタルトキ通知ニ會議ノ目的タル事項ヲ記載スヘキニ之ヲ遺漏シタルトキ決議ハ本人又ハ代理人ノ出席ニ依リテ爲スヘキニ書面ニテ意見ヲ述ヘタルヲ出席ト看做シテ決議シタル場合等ナリ會社カ決議シ得サル性質ノ事項ヲ決議スルトキハ權限ナキ決議トシテ當然無効トスルハ格別之ヲ原因トシテ爭效スルヲ得ス法律ハ株主ノ爭效權ヲ二場合ニ限リタルヲ以テ狎リニ擴張スルヲ得サルナリ之ヲ事物ニ依ル無効主張ノ限定トス

商法ニハ此外ニ決議無効ノ主張者ヲモ限定シ或株主取締役及ヒ監査役トス或株主トハ總會召集ノ手續ニ關シ法令又ハ定款ニ反スル通知ヲ受ケタル株主正當ノ理由ナクシテ總會ニ出席スルコトヲ拒マレタル株主又ハ總會ニ於テ決議ニ對シ異議ヲ述ヘタル株主ナリ廣ク總テノ株主ニ決議無効ノ主張ヲ許ストキハ自ラ適法ノ通知ヲ受ケ總會ニ出席シナカラ他ノ株主ノ通知ヲ受ケサルヲ理由トシテ無効ヲ主張シ或ハ總會ニ於テ決議ヲ默認シナカラ後ニ漫リニ其無効ヲ主張シテ濫訴ノ弊ヲ生スルヲ以テ此ノ如ク限定ス尙濫訴ノ弊ヲ防キ且會社ノ損害ヲ防ク爲メニ會社ヲシテ決議無効ノ訴ヲ提起シタル株主ニ對シ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得セシム無記名株主ナルトキハ必ス株券ヲ供託スヘキコト通則ヨリ明カナリ(一六三ノ三、一五五ノ二)取締役又ハ監査役ハ必ス株主ナルヲ以テ株主トシテ決議ノ無効ヲ主張シ得ルハ明カナリ然レトモ株主トシテ之ヲ主張スルニハ其場合ハ限ラレ又時トシテ擔保ノ供託ヲ請求セラルコトアルヲ以テ其外ニ取締役トシテ無効ヲ主張スルヲ許スナリ取締役トシテ之ヲ主張スルハ如何ナル場合タリトモ可トシ又擔保ヲ供託スルコトヲ必要トセス是

レ取締役ハ會社ノ爲メニ公平無私ニ業務ヲ執行シ漫リニ決議ノ無効ヲ主張スルコトナク又彼等カ任務ヲ忘リタルトキハ連帶シテ其實ニ任セシムルヲ以テ此外ニ擔保ノ供託ヲ爲サシムルニ及ハサルヘシト認ムルニ由ル株主取締役又ハ監査役ノ何レタルヲ問ハス無効ノ主張ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ取訴シタル場合ニ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス(九九ノ四)決議ノ無効ハ訴ヲ以テノミ之ヲ主張スルコトヲ得トシ此訴ノ專屬管轄所ハ本店地ノ地方裁判所トシ訴ハ決議ノ日ヨリ一ヶ月内ニ提起スルヲ要シ數個ノ訴カ同時ニ繫屬スルトキハ辯論及ヒ裁判ハ併合シテ爲ヌヲ要シ決議ヲ無効トスル判決ハ當事者ニ非ナル株主ニ對シテモ其效力ヲ有シ判決カ確定シタルトキハ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス(一六三ノ二、四)決議ノ無効判決ノ效力ハ其決議ヲシテ無キニ等シカラシムルニ在リ無キニ等シトスルハ初メヨリ決議セサルト等シクスルモノナルカ或ハ將來ニ向テ消滅セシムルモノナルカニ關シテ學說分レ一ヲ週及説ト名ケ又一ヲ將來説ト名ケ將來説ノ理由トスル所ハ無効判決ハ訴訟法學ニテ稱スル創設的裁決ノ一種ニ

シテ將來ニ向テ其効力ヲ生スルニ止マリ判決ノ確定以前ニ其効力ヲ及ホサス
ト云フニ在リ然レトモ彼等ハ商法ニ無効ト云フヲ何故ニ創設的裁決ノ一種ト
見ルヘキカノ理由ヲ示サス民法及ヒ商法ニ於テハ無効トハ無キニ等シキモノ
トセルニ茲ニ或行爲ヲ無効ト云ヘルヲ解シテ其行爲ハ有效ニ存在シ居リ將來
ニ向ツテ効力ヲ失フニ過キスト論スルニハ有力ナル根據ヲ示スヲ要スルニ之
ヲ示サス或ハ此ノ如ク解スルハ專ラ實際ノ便宜ヲ慮リ既ニ總會ノ決議アリト
シテ執行シ來リシモノヲ全然無効トシテ原狀ニ復スルトキハ多クノ混雜ヲ生
スト云フニ在ランモ無効ノモノヲ有效ト信シタルコトナルカ故ニ之ヲ原狀ニ
回復スルニ當リテ多少ノ混雜ヲ生スルハ已ムヲ得サルナリ又實際ヨリ云フト
キハ判決ノ効力ヲ將來ニ向テカアルノミトスルトキハ不公平ヲ生スヘシ例ハ
株金拂込ノ決議ヲ爲シテ或株主ハ之ニ從ヒテ拂込ミ他ノ株主未タ拂込マサル
際無効ノ判決下リ其儘ニ委スルトキハ速カニ拂込ヲ爲シタル者ハ不利益ヲ受
クルカ如シ何レノ解釋ヲ探ルモ實際上ノ不便アリトスレハ寧ロ無効ノ意義ヲ
通常ノ如ク解シ初メヨリ無効ノモノト爲スヘシ判決ノ原則ヨリ云フモ判決ハ

或事實ヲ確認スルモノニシテ創設スルニ非サルナリ

第二款 取締役

取締役ハ會社ノ業務執行及ヒ代表ノ機關ナリ常ニ存スルヲ以テ常設機關ト云
ハル獨佛ノ學者ハ取締役ナル抽象的觀念ト取締役ト爲ル人トヲ分テ前者ヲ取
締役ト稱シ後者ヲ取締役員ト稱スルコトアリ獨人レーマン氏ハ取締役ハ會社
ノ機關ニシテ取締役員ハ此機關ヲ組織スル人ナリト云ヘリ正確ノ論ナルモ必
スシモ二分スルヲ要セス

取締役ハ株主中ヨリ之ヲ選任ス英獨ニ於テハ株主外ノ者ヲ充ツルモ可トスレ
トモ取締役ヲシテ會社ト利害關係ヲ密ナラシムルニハ株主タルヲ要ストスヘ
シ然レトモ一個ノ株式ヲ有スルモ株主ナルヲ以テ十分ニ立法ノ主意ヲ貫カン
トスルニハ取締役タルニハ必ス或數以上ノ株式ヲ有スルヲ要ストスヘク法律
ニ規定シ得サル事情アリトセハ定款ニテ定ムヘシ

取締役ト爲ル者ハ株主ナレハ可ナリ男女老若内外人等ヲ問ハス然レトモ未成
年者妻等ノ如キ無能力者又ハ破産者禁治産者等ハ取締役ト爲リ得サルヘシ(民

六五三取締役ハ會社ノ業務ヲ執行シ會社ヲ代表スル者ナルヲ以テ適當ニ執行及ヒ代表ノ行爲ヲ爲シ得ル者タルヲ要スレハナリ尙多數人ヨリ成レル法人ノ機關ナルヲ以テ之ニ當ル者ハ其位ニ協フヘキ者ナルヘシ取締役ハ自然人タルヲ要スト論スルハ此理由ヨリ出ツ時トシテハ法人ヲ取締役トスルコトヲ得ト云フ者アルモ余ハ我商法ノ解釋トシテ株式會社ノ取締役ハ自然人ニ限ルト云フナリ

取締役ハ支配人ヲ兼ヌルコトヲ得商法ハ監査役ハ支配人ヲ兼ヌルコトヲ得スト明言スルニ取締役ニハ之ヲ明言セサルヲ以テ法律ハ之ヲ禁セサルモノト見ルヘシ而シテ取締役ヲシテ支配人ヲ兼ネシムルモ害ナク之ヲ兼ネシムル實用ハ多ク存スルヲ以テ精神的解釋ニ依リテモ之ヲ可能ト解スヘキナリ
取締役ハ三人以上タルコトヲ要ス(一六五)

取締役ノ選任解任

取締役ハ株主總會ニ於テ株主中ヨリ之ヲ選任ス(一六四)合名會社ニ在リテハ各社員業務ヲ執行スルヲ通常トシ特ニ或者ヲ執行社員トスルニハ定款ノ定ヲ要

スルモ株式會社ニテハ各株主ヲシテ業務ヲ執行セシムヘキニ非ストシ株主中ヨリ或者ヲ選任シテ之ニ當ラシムル選任ノ決議ハ通常決議ニテ可ナリ
總會ニ於テ選任シタル株主ヲ取締役トスルニハ被選者ノ承諾ヲ要ス即チ會社ト被選者ノ合意ヲ要シ此合意ヨリ雙方ニ義務ヲ生スルヲ以テ取締役ノ就任ハ雙務契約ナリ

會社ト取締役ノ關係ハ契約ナリトシ株主ヲ取締役トスルニハ其者ノ承諾ヲ要スト云フニ左ノ理由アリ

- 一 義務ノ本質 義務ハ容易ニ推定シ得ルモノニ非ス故ニ或者ニ義務アリト云フニハ法律ニテ其者ニ其義務アリト規定スルカ少クトモ義務アルコトヲ推測スルニ足ル規定ナカルヘカラス會社法ニ於テ合名會社ノ社員ハ會社ノ業務ヲ執行スル義務ヲ負フトシタルハ前者ノ例ニシテ合資會社ノ無限責任社員ニハ合名會社ノ規定ヲ準用ストシテ業務執行ノ義務アルヲ知ラシメタルハ後者ノ例ナリ合名會社ニ業務執行者ナキトキハ會社ヲ繼續シ能ハサルヲ以テ各社員ニ執行義務アルハ言フヲ俟タサルニ尙明文ヲ置クヲ見テモ義務

務ハ容易ニ推測スヘキモノニ非サルヲ知ルヘシ然ルニ株式會社ニ在リテハ各株主ニ業務執行ノ義務アリト云ハサルヲ以テ法ノ明文ヨリシテ執行義務アリトスルヲ得ス然ラハ他ノ規定ヨリ推測シ得ルカヲ見ルニ株式會社ハ財產會社ニシテ株主ノ義務ハ殆ント拂込ノ一事ニ止マリ各株主ニ業務執行ノ義務ヲ負ハシムヘキニ非ス會社法ニ於テ特ニ會社ノ機關ヲ規定シ取締役ナル者ヲシテ特ニ執行機關タラシムルヨリシテモ各株主ハ當然ニ會社ノ業務ヲ執行スル者ニ非サルヲ知ルヘシ

二 株主ノ平等 株主ノ平等ハ株主ノ有限責任ト共ニ株式會社ニ於ケル特質ナリ或株主ハ他ノ株主ヨリ多クノ權利ヲ有セサルト等シク(優先株ハ例外)多クノ義務ヲモ負ハス株主總會ノ決議ヲ以テモ或株主ノ權利ヲ剝奪シ或ハ或株主ニ特殊ノ義務ヲ負ハシムルヲ得ス株主總會ハ會社ノ最高機關トシテ會社ノ爲メニ多クノ決議ヲ爲シ得ルモ會社ノ性質ニ反スルコト或ハ公益ニ反スルコトヲ爲シ得サルナリ然ルヲ或株主ヲ取締役ニ選任シ其者ノ意思如何ヲ問ハスシテ之ヲ取締役トスルハ株主ノ平等ヲ破リテ或株主ニ特殊ノ義務

ヲ負ハシムルモノナリ取締役ハ通常巨額ノ報酬ヲ受クルヲ以テ多クノ者ハ選任ヲ承諾スルナランモ取締役ト爲ルトキハ善良管理人ノ注意ヲ以テ業務ヲ執行セサルヘカラス又或會社ノ取締役ト爲リタル爲メ他ノ會社ノ取締役ト爲リ得サルコトアリ且隨意ニ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲スコトヲ得サルヲ以テ(一七五、一七六)取締役タルヲ欲セサルコトアラン然ルヲ自己ノ意ニ反シテ此ノ如キ積極及ヒ消極ノ義務ヲ負ハシメラルトセハ被選者ノ困難察スルニ餘アリ

三 實際ノ不都合 株主ハ選任ニ因リテ當然取締役ト爲ルトセハ會社ノ取締役ト爲リ得サル者又ハ取締役ト爲ルヲ欲セサル者ハ會社ノ株主ト爲ルコトヲ得サルヘシ官吏懲戒法ニテ官吏ハ會社ノ取締役ト爲ルコトヲ得ストスルトキハ官吏ハ會社ノ株主ト爲ルヲ得サルヘシ若シ懲戒法ニ依リテ會社ノ取締役ト爲リ得サル者ハ取締役タル資格ナキ者ナルカ故ニ其選任ハ初メヨリ無効ナリト論シ得トセハ夫レニテ可ナリトシ法令以外ノ定ニテ或者カ會社ノ取締役ト爲ルトキハ直チニ免職スヘシトカ違約金ヲ支拂フヘシトスルト

キハ其者ハ會社ノ株主ト爲リ得サルヘシ或ハ辯シテ此ノ如キ者ハ豫メ其旨ヲ會社ニ開陳シ置キテ選任セラレサル様ニスヘシト云ハンモ被選者ヲ取締役トスルニ其者ノ意思如何ヲ問ハサル主義ノ下ニ在リテハ會社ハ此豫告ニ拘束セララルコトナカルヘシ次ニ辯シテ取締役ハ何時ニテモ辭シ得ルヲ以テ可ナリト云フモ假ニ取締役ハ何時ニテモ辭シ得トスルモ辭スルト云フハ一旦取締役ト爲リタルコトヲ意味スルヲ以テ株式會社ノ取締役ト爲リタルトキハ制裁ヲ加フトノ定ニ對シ辭スレハ可ナリトノ辯解ハ無力ナリ

不而已株主カ選任ニ因リテ當然取締役ト爲ルトセハ自己ノ知ラサル間ニ取締役ト爲リ居リテ多クノ事項ニ關シテ他ノ取締役ト連帶ノ責任ヲ負フコトト爲リ且ツ種々ノ不利益ヲ蒙ムラン

以上ノ理由ニ基キ或株主ヲ取締役トスルニハ選任決議ノ外被選者ノ承諾ヲ要スルハ明カナリ舊規定ノ下ニモ明カナルニ改正規定ハ會社ト取締役トノ關係ハ委任ニ關スル規定ニ從フトシテ一層此點ヲ明カニシタリ獨逸ニ於テモ學者ノ多數ハ契約說ヲ採リ他ノ事ニ關シテハ殆ント常ニ單獨行爲說ヲ採レルレ

マン氏モ或株主ヲ取締役トスルニハ其者ノ承諾ヲ要スト云ヘリ

會社ト取締役ノ關係ハ契約關係ナリ其契約ハ會社カ或株主ヲ取締役ニ選任シテ就任スルコトヲ申込ミ株主ハ之ヲ承諾スルニ因リテ成立ス民法ヨリ見レハ無名契約ナルモ商法ニテ名稱ヲ附ストセハ就任契約ト云ヘハ可ナラン吾人ト等シク取締役ノ就任ヲ契約ト説ク者ノ中ニハ委任契約トスル者ト雇傭契約トスル者アリ委任契約ト云フ者ハ會社カ法律行爲ヲ爲スコトヲ株主ニ委託シ株主カ之ヲ承諾スルニ因リテ其效力ヲ生スト云フナリ(民六四三)此說ニ從フトキハ取締役ノ解任其權限義務等ニ關シテモ悉ク委任ノ規定ヲ適用セサルヘカラス然レトモ取締役ハ會社ノ爲メニ法律行爲ニ非サル事務ヲモ爲シ少クトモ委任ト準委任トヲ合シ及其何レヲ以テモ説明シ得サル點アリ尙報酬ノ有無注意ノ程度代表權ノ性質種類等ヲ見ルトキハ此關係ハ純然タル委任ト云フヲ得サルヲ知ラン雇傭契約ト云フ者ハ取締役ハ會社ニ對シテ勞務ヲ供スルコトヲ約シ會社ハ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生スト云フナリ(民六二三)此說ニ從フトキハ取締役ニ民法ノ雇傭ノ規定ヲ適用セサルヘカラス

然レトモ取締役ハ單ニ會社ノ爲メニ勞務ヲ供スルノミナラス會社ノ爲メニ多クノ法律行爲ヲ爲スナリ又取締役ハ會社ノ機關ニシテ或意味ニ於テハ會社自身ナリ會社本人ニシテ會社ノ使用人ニ非ス勞務ナル語ヲ極メテ廣ク解シ他人ノ爲メニ一切ノ行爲ヲ爲スコトヲモ此中ニ入ルトスレハ取締役ノ就任ハ或ハ雇傭ト爲ランモ民法ニ雇傭ト云ヘルハ此ノ如ク廣カラサルヲ以テ取締役ノ就任ハ雇傭ニ非サルナリ時トシテハ取締役ノ就任ハ取締役カ報酬ヲ受クルトキ雇傭ニシテ受ケサルトキハ委任ナリト云フ者アルモ報酬ノ有無ヲ以テ就任契約ノ性質ヲ變セシムルハ非ナリ取締役ノ就任契約ハ無名契約ニシテ其中ニハ委任ノ分子、雇傭ノ分子、民法ノ有名契約ニ無キ團體的分子等アルナリ會社ト取締役ノ關係ノ學理的説明ハ上述ノ如シ然レトモ之ヲ無名契約トシテ先ツ契約ノ一般ノ規定ヲ適用セシムルハ不可ナリ寧ロ情狀ノ最モ類スル委任ノ規定ヲ適用セシムルヲ可トストシテ改正規定ハ特ニ一文ヲ設ケ會社ト取締役トノ關係ハ委任ニ關スル規定ニ從フトシタリ之ニ依リテ法規ノ適用ニ於テハ此關係ハ委任ナルコト明白ト爲リタリ然レトモ學理上ノ説明トシテ云フト

キハ改正規定ハ此關係ヲ委任關係ト見タルニ非ス委任關係ナルトキハ委任ノ規定ニ從フハ言フヲ俟タサルニ云フヲ要スルハ委任關係ニ非サルモノニ委任ノ規定ヲ適用セントシタルニ由ル故ニ余ハ今モ尙無名契約說ヲ固守ス
取締役ノ任期、三年ヲ超ユルコトヲ得ス(一六六)是レ株主ヲシテ時ニ應シテ適當ノ取締役ヲ得セシムル爲メナリ株式會社ニ在リテハ株主ハ常ニ變動スルヲ以テ自己ノ選任セサル取締役ヲ欲セサルコトアラン故ニ三年毎ニ之ヲ選任セシム株主總會ノ決議ヲ以テ何時ニテモ現在ノ取締役ヲ解任シ得トスルモ現任者ヲ解任スルハ容易ナラサルコトアリ又情實上積極的ニ解任シ得サル場合モアルヲ以テ法律ニテ三年毎ニ改選セシメ若シ株主ニシテ現任者ヲ信任スルトキハ再選セシムルコトトシタリ再選ハ任期滿了ノ後之ヲ爲スヲ可トスルモ必スシモ常ニ其後ニ爲スヲ要セス任期ノ滿了セントスル際招集セラルル總會ニ於テ之ヲ選任セシメ任期滿了ノ後ニ繼續シテ取締役タラシムルモ可ナリ而モ之ヲ濫用シテ三年毎ニ選任セシムル主意ヲ破フルヘカラス任期ハ三年ヲ超ユルヲ得サルヲ原則トシ例外トシテ定款ヲ以テ任期中ノ最終期ニ關スル定時總

會ノ終結ニ至ルマテ其任期ヲ伸長スルコトヲ得セシム
 會社ハ株主總會ノ決議ヲ以テ何時ニテモ取締役ヲ解任スルコトヲ得(一六七)契
 約ハ當事者ノ合意ヲ以テ成ルカ故ニ之ヲ解クニモ亦當事者ノ合意ヲ要シ隨テ
 會社ハ隨意ニ取締役ヲ解任シ得サル理ナルモ取締役ハ重大ノ權限ヲ有シテ業
 務ヲ執行スル者ナルヲ以テ會社カ一朝取締役ニ不信ノ念ヲ生スルトキハ安心
 シ得サルカ故ニ總會ノ決議ヲ以テ何時ニテモ解任スルコトヲ得セシムルナリ
 委任ノ規定ノ適用ト云フモ可ナルヘク海商法ニ於テ船舶所有者ヲシテ何時ニ
 テモ船長ヲ解任スルコトヲ得セシムルニ等シ會社ハ取締役ヲ解任スルニ關シ
 テ正當ノ理由アルトキハ何等ノ賠償ヲモ支拂フヲ要セス正當ノ理由ナキトキ
 ハ損害ヲ賠償スルヲ要ス商法ノ特別規定ナリ正當ノ理由ニハ取締役ノ方面ニ
 存スルモノアリ會社ノ方面ニ存スルモノアリ例ハ取締役カ疾病ニ罹リ業務ニ
 堪ヘサルカ會社カ事業ヲ縮少シテ多クノ取締役ヲ要セサルニ至ル如シ
 取締役ハ自己ノ隨意ニ取締役タルコトヲ辭スルヲ得委任ノ規定ニ於テ委任ハ
 各當事者ニ於テ何時ニテモ之ヲ解除ス(民六五一)ト云ヘルモノノ適用ナリ若シ

取締役カ會社ノ爲メニ不利ナル時期ニ於テ辭任シタルトキハ其損害ヲ賠償ス
 ルコトヲ要ス但已ムコトヲ得サル事由アリタルトキハ此限ニ在ラス亦民法ノ
 適用ナリ取締役カ隨意ニ辭任スルコトヲ得トスルモ定數ノ取締役ナキニ至リ
 タルトキハ新取締役ノ就任スルマテ退任取締役ヲシテ仍ホ取締役ノ義務ヲ有
 セシムルヲ以テ多クノ不都合ヲ生セサルヘシ(一六七ノ二)

取締役ノ權限

取締役ハ會社ノ機關ナリ内部關係ニ在リテハ會社ノ業務ヲ執行シ外部關係ニ
 在リテハ會社ヲ代表ス

會社ノ業務ノ執行ハ取締役ノ過半數ヲ以テ決ス支配人ノ選任及ヒ解任モ亦然
 リ(一六九)之ヲ原則トシ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シ取締役ヲ專務取締役常務取
 締役相談取締役等ニ分チテ業務ヲ分掌セシムルモ可ナリ此等ノ定ヲ有效トシ
 公益ニ反シ又ハ會社ノ性質ト相容レサルモノヲ無効トス

取締役ハ會社ヲ代表ス代表者ハ會社ノ機關ニシテ或意味ニ於テ會社自身ナリ
 會社ノ組織ノ一部ヲ成シ通常ノ代理人又ハ使用人ノ如ク明カニ本人ト對立シ

テ本人ノ爲メニ行爲ヲ爲ス者ト異ナレリ其有スル權限ノ最モ重ナルモノハ代理權ナルモ其外ニ代理權ト稱シ得サル權利ヲモ有ス例ハ總會ヲ招集シ官廳ニ届出ヲ爲スカ如キハ代理權ノ行使ト云ヒ難ク又強テ代理ト云フヲ要セサルモノナリ故ニ法律ニハ取締役ハ會社ヲ代理スト云ハスシテ會社ヲ代表スト云ヘリ

取締役ノ有スル權限ハ代表權ト稱スル包括權限ナリ其中最モ重ナルモノハ法定代理權ニシテ會社ノ營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ナリ其權限ノ性質及ヒ範圍ハ合名會社ノ代表社員ノ有スルモノニ等シ(一七〇、六一)此點ヨリ取締役ヲ法定ノ權限ヲ有スル代理人ト云フコト多シ嚴格ニ云ヘハ取締役ハ代表者ニシテ代理人ニ非サレトモ代表權ニ包含セラルル權利中最重ノモノハ代理權ナルヲ以テ此點ヲ抽萃シテ取締役ヲ會社ノ代理人ト云フモ必スシモ誤ニ非ス以下ノ説明ニ於テハ便宜ノ爲メ取締役ヲ代理人ト假定スヘシ

取締役ヲ會社ノ代理人トシ代理人ニハ法定代理人及ヒ委任代理人ノ二種アル

ノミトスレハ取締役ハ委任代理人ト爲ル會社ト取締役ノ關係ニハ委任ノ規定ヲ適用スレハナリ既ニ委任代理人トスレハ法定代理人ニ非サルコト明白ナリ世上往々之ヲ法定代理人ト云フモ誤ナリ

法定代理人ノ何タルカニ關シテハ種々ノ說アリ或者ハ法律上ノ代理人トシ即チ或人カ或行爲ヲ爲スニハ法律ニテ必ス代理人ニ依ラシムル場合ニ生スルモノトシ訴訟ニ於ケル辯護士ヲモ法定代理人トセリ或者ハ法律ニテ必ス選任ヲ命スル場合ノ代理人トシ船舶管理人ヲモ法定代理人トセリ又或者ハ法律ニ規定スル包括權限ヲ有スル者トシ支配人船長等ヲモ法定代理人トセリ此等ノ意味ニ於テハ取締役ハ法定代理人タルヘシ何トナレハ取締役ハ法律ニ規定スル會社ノ代理人ニシテ會社ハ營業ヲ爲サントスルニハ必ス取締役ニ依ラサルヘカラス而シテ法律ニハ株式會社ハ必ス取締役ヲ有スヘキモノトシ其權限ヲ法定ノ包括的トスレハナリ然レトモ法定代理人トハ代理人ト爲ル者ノ意思如何ヲ問ハス或事實ノ發生ニ因リ法律カ當然之ヲ代理人トスル者ナルヲ以テ取締役ハ法定代理人ニ非ス取締役カ取締役ト爲ルハ自己ノ承諾ニ因レハナリ

取締役ハ各自會社ヲ代表スルヲ原則トス即チ各自ノ單獨代表ヲ原則トスルナリ然レトモ之ニ對シテハ二個ノ例外アリテ何レモ定款又ハ株主總會ノ決議ヲ以テ定メ得ルモノトス一ハ各自代表ノ例外ト爲リ又一ハ單獨代表ノ例外ト爲ル左ノ如シ

一 特定代表者ヲ選任シタルトキ 取締役中ノ或者ノミヲ代表者トシ他ヲ排斥スルコトナリ通常行ハル語ヲ用ユルトキハ或者ヲ專務取締役又ハ常務取締役トシテ會社ノ代表者トシ他ハ相談ニ預カリ或ハ業務ヲ執行スルニ止マル如シ是レ改正規定ニ依リテ生シタルモノナルモ余ハ第三者保護ノ爲メ寧ロ各自代表ノ制ヲ貫通セル舊規定ヲ可ト信ス

二 共同代表者ヲ作ルコト 數人ノ取締役カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定ムルトキハ其者ハ各自單獨ニテ代表スルコトヲ得ス外國ニテハ往々取締役全體ヲ代表機關トシ各自ヲ機關トセス全ク各自ヲ代表者トセサルカ或ハ例外トシテ代表者ト爲リ得トシ例ハ總取締役ヨリ二三ノ者ニ委託スルトキハ受託者ハ單獨代表者ト爲ルコトヲ得トスルニ止メ我國トハ正反對ニ爲

ヌモノアリ然レトモ我國ニ於テハ第三者ヲ保護スル爲メ單獨代表ヲ原則トシタルナリ而シテ余ハ第三者保護ノ爲メニハ共同代表ナル例外ヲ設ケサルヲ可ト信ス

尙我國ハ獨逸(獨商二三三)ニ倣ヒ定款又ハ總會ノ決議ヲ以テ取締役ヲシテ支配人ト共同シテ會社ヲ代表セシムルコトヲ定メ得トシタリ不可ナリ主人ノ位地ニ居ル取締役ト商業使用人タル支配人トニ共同代表ヲ爲サシムルハ不可ナリ理論ニ於テ不可ナルノミナラス實際ニ於テ不都合ナルヘシ

取締役ノ共同代表モ支配人又ハ合名會社員ノ共同代表ト等シク單面ノ共同代表ナリ我ヨリ代表權ヲ行フニハ共同ヲ要スルモ相手方ヨリ意思ヲ表示スルニハ取締役ノ各自ニ對シテ爲セハ可ナリ此レ程ナレハ寧ロ全ク各自代表トスヘシ即チ双面トモ單獨代表トスル舊規定ノ如クスヘシ

取締役ハ報酬ヲ受クルヲ通常トス其額ハ多クハ定款ニ定ムルモ定款ニ之ヲ定メサルトキハ株主總會ノ決議ヲ以テ定ム(一七九)

取締役ノ職務

取締役ノ職務ハ會社ノ業務ヲ執行シ會社ヲ代表スルニ在リ會社ノ爲メニ一切ノ裁判上及ヒ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ附與セラレタルト同時ニ此一切ノ行爲ヲ爲ス義務ヲ有ス業務ノ何タルカハ悉ク列擧スルヲ得ストシ左ニ本款ニ規定セルモノヲ示サン其他ハ各節ニ讓ルナリ

一 株主總會ノ招集

會社ハ毎年一回以上定時總會ヲ開クヘキモノトシ之ヲ招集スル者ヲ取締役トス取締役ハ又必要アル毎ニ臨時總會ヲ招集セサルヘカラス而シテ議案ヲ提出シ總會ヲ整理シ其決議ヲ執行スル等ハ悉ク取締役ノ職務ニ屬ス臨時總會ヲ招集スヘキ必要ノ有無ハ取締役ノ認定ニテ決スルヲ原則トス然レトモ會社カ資本ノ半額ヲ失ヒタル場合ニハ取締役ハ自己ノ意見ヲ容レヌシテ必ス遲滞ナク總會ヲ招集シテ之ヲ報告スルコトヲ要ス(一七四)株主ヲシテ善後策ヲ講セシムル爲メナリ資本ノ半額ヲ失フトハ會社ノ財産カ會社ノ資本額ノ半ハト爲ルコトナリ最モ明カナルハ十萬圓ノ資本ヲ全額拂込ミタル後五萬圓ヲ損失スル場合ナリ拂込金額ハ六萬圓ノ場合ニ三萬圓ヲ損失ス

ルモ尙殘餘ノ三萬圓ト未拂債權四萬圓合セテ七萬圓ノ資産ヲ有スルヲ以テ總會ヲ招集スルコトヲ要セス

二 帳簿及ヒ書類ノ保管

會社ハ商人ナルヲ以テ商法ノ總則ノ規定ニ從ヒテ商業帳簿ヲ作り必要ノ事項ヲ記入シテ之ヲ保存セサルヘカラス又帳簿ノ外多クノ書類及ヒ信書ヲモ保存セサルヘカラス書類ノ重ナルモノニシテ本款ニ顯ハレタルモノ左ノ如シ何レモ本店ニ(定款ト決議録ハ支店ニモ)備ヘ置キ株主及ヒ會社ノ債權者ヲシテ營業時間内何時ニテモ之ヲ閱覽セシム

甲 定款 定款ハ會社契約ナリ必ス書面ニ記載スヘキコトトシ屢定款ヲ記載セル書面ヲ略稱シテ定款ト云フ會社ノ基本的約款ノ記載ナルヲ以テ嚴密ニ保存スル必要アリ

乙 株主名簿 其必要ハ總會招集ノ通知ヲ發スル場合記名株移轉ノ對抗手續ヲ爲サシムル場合等ニ存ス株式カ悉ク無記名式ト爲ルトキハ現在株主ノ名簿ヲ作成スルヲ得サルモ過去ノ株主ヲ知ル爲メ既成ノ名簿ヲ保存セ

シム株式カ初ノヨリ悉ク無記名式ナルトキハ株主名簿ハ單ニ株式原簿タル實ヲ生ヌヘシ

株主名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス(一七二)

- 一 株主ノ氏名住所
- 二 各株主ノ株式ノ數及ヒ株券ノ番號
- 三 各株ニ付キ拂込ミタル株金額及ヒ拂込ノ年月日
- 四 各株式ノ取得ノ年月日
- 五 無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキハ其數番號及ヒ發行ノ年月日株主名簿ニ住所ヲ記載スルハ株主ニ對スル通知又ハ催告ヲ爲ス際ノ便宜ニ備フルナリ如何ナル場合ニモ其要アルモ改正規定ニ於テ會社ノ株主ニ對スル通知又ハ催告ハ株主名簿ニ記載シタル株主ノ住所ニ宛ツルヲ以テ是ル此通知又ハ催告ハ通常其到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス(一七二ノ二)トシタルヲ以テ一層其必要ヲ増シタリ

丙 社債原簿 社債原簿ノ必要ハ社債ノ償還社債移轉ノ對抗手續ヲ爲サシ

ムル場合等ニ存ス株式ニ關シテ株主名簿ト云フトセハ社債ニ關シテハ社債權者名簿ト云フヲ可トセンモ名稱ノ長キト株式ト社債ノ異ナルヨリシテ社債ヲ本トシテ社債原簿ト云フナリ
社債原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス(一七三)

- 一 社債權者ノ氏名住所
- 二 債券ノ番號
- 三 社債ノ總額
- 四 各社債ノ金額
- 五 社債ノ利率
- 六 社債償還ノ方法及ヒ期限
- 七 數回ニ分テテ社債ノ拂込ヲ爲サシムルトキハ其拂込ノ金額及ヒ時期
- 八 各社債ニ付キ拂込ミタル金額及ヒ拂込ノ年月日
- 九 債券發行ノ年月日

十 各社債ノ取得ノ年月日

十一 無記名式ノ社債ヲ發行シタルトキハ其數番號及ヒ發行ノ年月日
株主名簿ノ記載事項ニ比シ差異ヲ生スルハ株式ト社債ノ異ナルニ由ル

丁 總會ノ決議錄 總會ノ決議ハ如何ナル方法ヲ以テスルモ可ナリ又決議
ノ實アルトキハ決議ノ效力ヲ生シ決シテ之ヲ記載スルヲ待タス然レトモ
株主及ヒ會社ノ債權者ヲシテ決議ノ何タルコト又如何ニシテ其決議ヲ得
タルカヲ知ラシムル爲メ決議錄ヲ作リテ保存セシム決議錄ハ如何ニ作成
スヘキカニ關シテ獨逸商法ニ少シク規定スル所アルモ我商法ハ何事ヲモ
云ハス總會ニハ必ス決議錄ヲ作ルヘシトノ明文モナシ唯取締役ノ職務ヲ
規定スルニ當リテ之ヲ本店及ヒ支店ニ備ヘ置クコトヲ要スト云ヘルヨリ
シテ決議錄ヲ作ラシムル趣意ヲ推知スルノミ

三 破産宣告ノ請求

會社財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ取締
役ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス(一七四)

此職務ハ嚴格ナルモノナリ會社カ其資本ノ半額ヲ失ヒタル場合ニハ遲滯ナ
ク總會ヲ招集シテ報告スレハ足ルモ此場合ニハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲
ササルヘカラス之ヲ怠ルトキハ取締役ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス會社財産ト
ハ會社ニ現存セル財産及ヒ會社カ株主ニ對シテ有スル未拂込株金ノ請求權
ヲ合シタルモノナリ即チ會社ノ貸方ニ計上セル金額ヲ以テ會社ノ債務ヲ完
済スル能ハサル場合ニ破産宣告ヲ請求セシムルナリ會社カ此ノ如キ狀況ニ
在ルニ業務ヲ其儘ニ繼續スルトキハ從來ノ債權者ヲシテ擔保ヲ減セシメ又
新ニ被害者ヲ生スル虞アリ
會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至ルト云フハ現實ニ債務ノ辨濟期ニ
至リ辨濟シツツアリテ最早辨濟スヘキ財産ナキニ至ルトキニ非スシテ計算
上現在ノ財産ヲ以テハ到底現在ノ債務ヲ完済スルコト能ハス株主ヲシテ未
拂込金ヲ拂込マシムルモ尙其債務ヲ完済スルコト能ハサルヘキ情況ニ至レ
ルヲ云フナリ

取締役ヲシテ以上ノ職務其他多クノ職務ヲ忠實ニ執行セシムル爲メ或數ノ株

券ヲ監査役ニ供託セシムルコトヲ定款ニ定ムルコトアリ又商法ニハ取締役ニ
避止ノ義務ヲ負ハシム

取締役ノ避止ノ義務ハ或點ニ於テ合名會社員ノ避止ノ義務ニ類シ他ノ點ニ於
テ株式會社ニ特殊ノモノナリ左ノ如シ

一 取締役ハ株主總會ノ認許アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ノ
營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ
無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス(一七五)

取締役カ之ニ反シテ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲ストキハ會社ハ介入權ヲ行フ
コトヲ得而シテ會社カ之ヲ行フハ監査役ノ一人カ其商行爲ヲ知リタル時ヨ
リ二ヶ月内又ハ其商行爲ノ時ヨリ一年內ニ於テスルヲ要ス此期間ヲ經過ス
ルトキハ監査役其他ノ者ノ知ルト否トニ拘ハラヌ介入權ハ消滅ス

取締役ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ取締役ト爲ルコトヲ得ヌ取締
役ト爲ルトキハ必ス其會社ノ爲メニ業務ヲ執行セサルヘカラサルニ彼ハ第
三者ノ爲メニ其商行爲ヲ爲シ得サル者ナレハナリ故ニ他ノ會社ノ取締役ト

爲ラントスルトキハ總會ノ認許ヲ受クヘシ總會ノ認許ハ默示ニテモ可ナリ
又何時ニ受クルモ可ナリ或會社ノ取締役ヲ他ノ同種ノ營業ヲ目的トスル會
社ノ總會ニテ選任スルトキハ兩會社ノ取締役ヲ兼ヌルコトヲ認ムルモノト
解シ得ラル

二 取締役ハ監査役ノ承認ヲ得ルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ト
取引ヲ爲スコトヲ得ス(一七六)

法文ニハ積極的ニ取締役ハ監査役ノ承認ヲ得タルトキニ限り自己又ハ第三
者ノ爲メニ會社ト取引ヲ爲スコトヲ得ト云フモ意味ニ於テハ一種ノ避止的
義務ヲ規定シタルモノナリ

取締役ハ會社ノ執行及ヒ代表ノ機關トシテ會社ノ爲メニ多クノ行爲ヲ爲ス
ヲ要スルニ自己カ會社ヲ相手方トシテ取引ヲ爲ストキハ會社ニ不利益ヲ生
ヌヘク第三者ノ爲メニスルモ會社ニ不利益ヲ生ヌルヲ以テ原則トシテ之ヲ
爲シ得ヌトスルナリ或學說ハ此原則ヲ貫キ取締役ハ如何ナル場合ニ於テモ
會社ト取引ヲ爲スコトヲ得ヌトシ獨ノガライスルノール佛ノリオンカンターレ

ル等ハ之ヲ唱フルモ我國ハ例外ヲ設ケ取締役ハ監査役ノ承認ヲ得タルトキハ會社ト取引ヲ爲スコトヲ得トス

監査役ノ承認ハ各取引ニ付キ之ヲ與ヘサルヘカラス包括的ニ永久ニ一切ノ取引ヲ承認シ或ハ一年間又ハ二年間ノ取引ヲ悉ク承認スルコトヲ得ス此ノ如キ承認ハ取引ニ監査役ノ承認ヲ要スル主意ニ反ス或取引ハ重大ニシテ繼續的ノモノナルモ一個ノ取引ト解シ得ヘクシハ一個ノ承認ニテ足ルハ勿論ナリ

監査役ノ承認ハ一人ノ監査役ノ承認ニテモ可ナリ法律ニハ全員ノ同意若クハ承認ヲ要スル際ニハ之ヲ明言スルヲ常トスルニ此場合ニハ明言セス而シテ監査役ノ監査ノ行爲ハ各員之ヲ爲シ得ルヲ以テ此場合ノ承認モ亦一人ニテ可ナリト云フナリ若シ重大ノ事項ナルトキハ監査役ハ任意ニ他ノ監査役ニ協議スレハ可ナリ

取締役カ監査役ノ承認ヲ經スシテ會社ト爲シタル取引ハ全然無効ナリ或行爲ヲ爲スコトヲ得サル者カ之ヲ爲スコトキハ其行爲ヲ無効ト解スルハ有效ト

解スルヨリモ至當ナリ法律ニハ屢或者カ或行爲ヲ爲スコトヲ得ストスルニ續キテ之ヲ爲ストキハ或効力ヲ生セストシテ暗ニ他ノ効力ヲ生スルコトヲ示シ或ハ或行爲ヲ爲ストキハ或者ハ之ヲ取消スコトヲ得ト云ヒテ取消スマシハ成立スルコトヲ知ラシム然レトモ取締役カ會社ト爲ス取引ヲ有效ト解シ得ル餘地ナキヲ以テ無効トシ又此ノ如キ公益規定ニ反スル行爲ヲ無効ト解スルヲ可トス大審院ハ曾テ之ニ異ナル説ヲ採リ其行爲ハ有效ニシテ會社ハ之ヲ取消シ得ルノミト云ヒシモ近來ニ至リ無効説ニ改メタリ

取締役カ監査役ノ承認ヲ得テ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ト取引ヲ爲ス場合ニハ自ラ會社ノ代理人ト爲リテ自己ト取引ヲ爲スモ可ナリ民法(民一〇八)ニハ何人ト雖モ同一ノ法律行爲ニ付其相手方ノ代理人ト爲リ又ハ當事者双方ノ代理人ト爲ルコトヲ得ストスルモ商法ニハ此場合ニハ此規定ヲ適用セザルコトヲ特ニ規定シタリ

取締役ノ職務及ヒ之ニ伴フ義務ハ上述ノ如シトシ此職務及ヒ義務ハ取締役ノ退任ト共ニ終了スルヲ當然トス然レトモ此當然ノ理ヲ貫クトキハ會社及ヒ第

三者ニ損害ヲ及ホスコトアリトシ或場合ニ變例ヲ設ク即チ取締役ノ任務カ終了シタル場合ニ於テ法律又ハ定款ニ定メタル員數ノ取締役ナキニ至リタルトキハ退任シタル取締役ヲシテ新タニ選任セラレタル取締役カ就職スルマテ仍ホ取締役ノ權利義務ヲ有セシム(一六七ノ二)民法ノ委任ノ規定ニハ委任終了ノ場合ニ於テ急迫ノ事情アルトキハ受任者其相續人又ハ法定代理人ハ委任者其相續人又ハ法定代理人カ委任事務ヲ處理スルコトヲ得ルニ至ルマテ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ要ス(民六五四)トシ之ヲ取締役ニ適用スルモ未タ十分ナラサルヲ以テ商法ニ特ニ此規定ヲ設ケテ必要ニ應セシムルナリ商法ノ特別規定ハ急迫ノ事情ナキ場合ニモ適用アルヘク又必要ナル處分ニ止マラスシテ有益ナル處分ヲモ含ム而シテ義務ヲ負フト同時ニ權利ヲ有スルコトヲモ明カニシタリ然レトモ急迫ノ事情アルモ定數ノ取締役アルトキハ此規定ニ依リテ義務ヲ負ハシムルヲ得ヌ必ス民法ノ規定ニ依ラサルヘカラス

取締役ニ此繼續ノ權利義務アルハ取締役カ解任辭任其他ノ事由ニ因リテ退任シタルトキナリ會社ト取締役ノ關係ニハ委任ノ規定ヲ適用ストシ從テ其關係

ノ終了事由ニモ之ヲ適用スルトキハ取締役ノ退任ノ事由ハ死亡破産及ヒ禁治産ト爲リ(民六五三)之ニ商法ニ定ムル特別事由ヲ加フルナリ然レトモ死亡者ニハ繼續義務ヲ負ハシメ得サルハ言フヲ俟タストシ破産及ヒ禁治産ノ者ヲシテ取締役ノ權利義務ヲ有セシムルハ不可トシテ之ヲ除外スルトキハ殘ル所ハ解任辭任等ニ因リテ退任シタル場合ト爲ルナリ

取締役ノ責任

取締役ハ會社及ヒ第三者ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任スルコトアリ商法ニ定ムル所左ノ如シトシ(一七七)其外ニ民法ノ不法行爲ノ規定ニ依リテ責ヲ負フカ如キハ通則ニ依ル

取締役ハ會社ノ爲メニ業務ヲ執行シ又會社ヲ代表スル任務ヲ有シ常ニ善良管理者ノ注意ヲ以テ之ヲ爲ササルヘカラス然ルニ之ニ反シ其任務ヲ怠ルトキハ會社ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任ス若シ此ノ如キ者二人以上アルトキハ其責任ハ之ヲ連帶トス

取締役ノ第三者ニ對シテ責任モ連帶ナリ二種ニ分タル一ハ會社ノ目的ノ

範圍内ニ在ラサル行爲ニ因リテ第三者ニ損害ヲ加ヘタルトキニシテ其場合ニハ其事項ノ議決ヲ賛成シタル取締役及ヒ之ヲ履行シタル取締役連帶シテ賠償ノ責ニ任ス(一七〇、六一、民四四)又一ハ法令又ハ定款ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキニシテ其場合ニハ其取締役ハ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス違法若クハ違款ノ行爲ヲ爲シタル者ハ必ス此責ヲ負ヒ其之ヲ爲シタルハ株主總會ノ決議ニ依リタルト否ト問ハヌ又自己カ其行爲ニ對シ株主總會ニ於テ異議ヲ述ヘタルト否ト問ハヌ從テ株主總會ニ於テ之ヲ決議シ其執行ヲ命セラルトキハ強ク反抗スルカ或ハ取締役タルコトヲ辭スルヨリ外ナシ取締役カ定款ニ反スル行爲ヲ爲ス場合ニモ第三者ニ對スル責任ヲ負ハシムルヲ怪ム者アルモ決シテ怪ムヘキニ非ス定款ハ會社ノ内部關係ヲ定ムルモノナルモ而モ會社ノ基礎ヲ爲シ且第三者ヲシテ閱覽セシムル公知ノモノナルヲ以テ第三者ハ之ニ信賴スルハ自然ノ勢ナリ故ニ取締役カ之ニ反シタル行爲ヲ爲シテ第三者ニ損害ヲ蒙ラシムルトキハ其賠償ノ責ヲ負ハシムルハ至當ナリ尙此ノ如クシテ取締役ヲシテ成ルヘク違款ノ行爲ヲ避ケシメントスル理由モアリ

取締役カ賠償ノ責ニ任スヘキ場合ニ於テ監査役モ亦其實ニ任スヘキトキハ兩者ヲ連帶債務者トス(一八六)

取締役カ任務ヲ盡クスヘキコトニ關シテハ監査役アリテ之ヲ監督スルモ未タ足ラストシテ株主總會及ヒ少數株主ニモ監督ノ權利ヲ授附ス而シテ彼等ハ取締役ニ對スル訴訟ノ方法ヲ以テ其權利ヲ行使ス株主總會ハ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ決議スルコトアリ此場合ニハ監査役ハ會社ヲ代表シテ訴ヲ提起スルコトヲ要ス株主總會ハ訴ノ提起ヲ否決シタル場合ニハ資本ノ十分一株主ハ之ヲ監査役ニ請求スルコトヲ得ヘク監査役カ此請求ヲ受ケタルトキハ訴ヲ提起スルコトヲ要ス其際株主ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得而シテ會社カ敗訴シタルトキハ右ノ株主ハ會社ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任ス會社ニ對シテノミ其責ニ任シ被告タル取締役其他ノ者ニ對シテ何等ノ責ニ任セサルナリ(一七八)

第三款 監査役

株式會社ニハ業務ノ執行其他全般ノ監督ヲ爲サシムル爲メ特別ノ機關ヲ設ク

之ヲ稱シテ監査役ト云フ一般法人ニ在リテハ監事ヲ置クト否トヲ總會ノ決議ニ委ヌルモ(民五八)株式會社ニハ必ス監査役ヲ選任セシム

監査役ハ株主總會ニ於テ株主中ヨリ之ヲ選任ス(一八九)取締役タルニハ株主タルコトヲ要ストスルモノノ中ニモ監査役タルニハ之ヲ要セストスル主義アレトモ我國ハ何レモ株主タルヲ要ストシタリ其他ニハ何等特別ノ資格ヲ要セス男女老若内外人ヲ問ハス無能力者破産者禁治産者等ハ監査役ト爲リ得サルハ監査役ノ職務ノ性質ヨリシテモ知リ得ラル監査役ハ一人ニテモ可ナリ監査役ノ職務ノ性質上必スシモ二人以上アルコトヲ要セス

或株主ヲ監査役トスルニハ總會ニ於テ選任シタル上ニテ被選者ノ承諾ヲ求ムヘシ監査役ノ就任ハ契約ナリ雙務契約ナリ之ニ依リテ會社ハ監査役ヲシテ會社ノ帳簿ヲ検査シ取締役ヲ監督スルコトヲ得セシメ又多クノ場合ニ於テハ報酬ヲ支拂フヘキ義務ヲ負ヒ而シテ監査役ハ會社ノ爲メニ法定ノ職務ヲ盡スヘキ義務ヲ負フナリ會社ト監査役トノ關係ハ委任ニ關スル規定ニ從フ此等ノ解釋及ヒ學理的説明ハ大體ニ於テ取締役ニ關スルモノト同一ナリ

監査役ノ任期ハ二年ヲ超ユルコトヲ得ス(一〇八)但定款ヲ以テ任期中ノ最終ノ配當期ニ關スル定時總會ノ終結ニ至ルマテ其任期ヲ延長スルコトヲ妨ケス此規定及任期ノ滿了ニ際シテ再選シ得ルコト等ハ取締役ニ等シ取締役ニ在リテハ三年ヲ超ユルヲ得ストシタルヲ監査役ニハ二年ヲ超ユルコトヲ得ストシタルハ監査役ニハ取締役程長キ年月間其職ニ居ラシムル要ナク且取締役ト同年數トスルトキハ取締役トノ間ニ情弊ヲ生スルヲ以テナリ取締役トノ情弊ヲ慮レハ其再選ヲ禁スル理由アルモ株主ノ信スル者ヲ強テ排斥スルヲ要セストシテ再選ヲ認ム

會社ハ何時ニテモ監査役ヲ解任スルコトヲ得然レトモ正當ノ理由ナクシテ任期前ニ解任シタルトキハ其監査役ハ會社ニ對シテ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得尙監査役ハ委任ノ規定ノ適用ニ依リ何時ニテモ解任セラレ

監査役ノ權限及ヒ職務

監査役ハ會社ノ監査機關ナリ監査役當然ノ性質トシテ第三者ト直接關係ニ立ツコトナク又其會社ノ内部關係ニ於ケル地位モ極メテ單純ナリ監査役ノ職務

中取締役ヨリ株券ノ供託ヲ受クルコト株主ヨリ株主總會招集ノ請求ヲ受クルコト等ハ各場合ニ述ヘタリ

監査役ハ二人以上アル場合ニ於テ各自其任務ヲ執行シ過半数ノ決議若クハ共同ヲ要セス又之ヲ法律上ノ原則トセス監査役ノ行為ハ必スシモ共同ニ爲スヲ要セス監査ニ關シテ總監査役ノ意見ヲ一致セシムル必要ナキヲ通常トスレハナリ或學者ハ監査役ノ監査モ其過半数ヲ以テ決スヘシ監査役ニ關シテハ明文ナクトモ取締役ト同一ニ解スヘシト云ヘトモ此類推解釋ハ許サス業務ノ執行ハ總員ノ同意又ハ過半数ノ決議ヲ以テスルニ非サレハ爲シ難キ場合多キモ監督ハ各自ニ爲シ得ヘク又各自ニ爲スヲ可トスレハナリ若シ監査ノ方法或ハ調査ノ結果ニ關シテ意見ヲ異ニスルトキハ各自其意見ヲ述ヘテ可ナリ

一 報告請求權及ヒ財産調査權

監査役ハ何時ニテモ取締役ニ對シテ事業ノ報告ヲ求メ又ハ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ情況ヲ調査スルコトヲ得(一八一)合資會社ノ有限責任社員ハ營業

年度ノ終ニ於テ營業時間内ニ限り會社ノ財産目錄及ヒ貸借對照表ノ閱覽ヲ求メ且會社ノ業務及ヒ會社財産ノ情況ヲ検査スルコトヲ得(一八二)止マレモ監査役ニハ之ヨリ大ナル權限ヲ與ヘタリ是レ株式會社ニ在リテハ株主ハ營業時間内何時ニテモ定款總會ノ決議錄株主名簿及ヒ社債原簿ヲ閱覽ヲ求メ又或場合ニハ多數者合シテ總會ノ招集ヲ求メ以テ間接ニ會社ヲ監督スルヲ得(一八三)夫ノミニテハ不十分トシ別ニ監査役ヲ設ケタルモノナルヲ以テ監査役ニハ重大ノ調査權ヲ與ヘ何時ニテモ事業ノ報告ヲ求メ會社財産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得セシムル要アレハナリ

監査役ハ報告ノ請求及ヒ業務ノ調査ヲ爲スコトヲ得ルモ自ら進シテ業務ヲ執行スルコトヲ得ス

二 總會ノ招集權

監査役ハ株主總會ヲ招集スル必要アリト認メタルトキハ之ヲ招集スルコトヲ得(一八二)定時總會ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ取締役之ヲ招集シ臨時總會ハ必要アル毎ニ取締役之ヲ招集スルモ時トシテ取締役ハ定時總會ヲ招集

セサルコトアラン其際ニハ監査役ハ之ヲ招集スルコトヲ得ヘク又招集セサルヘカラス臨時總會ヲ招集スル必要アルニ取締役之ヲ招集セサル場合モ亦然リ招集ノ必要ニ關シテ取締役ト監査役ノ間ニ意見ヲ異ニスルトキハ監査役ハ取締役ノ意見如何ニ拘ハラス總會ヲ招集スルコトヲ得取締役ニ代リテ爲スニ非ス監査役ノ固有ノ權限ニ依リテ爲スナリ

此總會ニ於テ監査役其他ノ株主ハ自ラ諸般ノ調査ヲ爲スコトヲ得ルハ言フヲ俟タストシ特ニ検査役ヲ選任シテ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ調査セシムルコトヲ得

三 臨時執行權

監査役ハ會社ノ業務ヲ執行スルヲ得サル者ナリ然レトモ取締役中ニ缺員ヲ生シ急速ニ補缺選任ヲ爲スコト能ハサル場合ニ監査役ヲシテ一時取締役ノ職務ヲ行ハシムルコトアリ(一八四)取締役ノ代理トシテ行フニ非ス監査役トシテ行フナリ監査役ニハ臨時執行權アルナリ監査役カ此權利ヲ行使スルニハ取締役及ヒ監査役ノ協議ヲ要ス協議トハ總員ノ同意ナリ一人タリトモ異

議ヲ唱フルトキハ協議ノ整ハサルモノトス監査役カ此權利ヲ行フハ監査役カ二人以上アル場合ナルヲ要ス一人ノ監査役ナル場合ニ其者ヲシテ取締役ノ職務ヲ行ハシムルトキハ會社ニ監査ノ職務ヲ行フ者ナキニ至リ法律ニ監査役ヲ必要機關トシタル主意ニ戻ルヘシ法文ニ取締役ニ缺員アルトキハ監査役中ヨリ取締役ノ職務ヲ行フヘキ者ヲ定ムト云フヨリシテモ二人以上ノ監査役ヲ有スル場合ナルコトヲ知ル附言センニ監査役カ取締役ノ職務ヲ行フコトハ純然タル權利ナリ隨テ協議ニ同意シテ之ヲ行フト否トハ自己ノ隨意ナリ

監査役カ取締役ノ職務ヲ行フハ監査役トシテ行フモノナルモ實際ニ會社ノ業務ヲ執行スルコトナルヲ以テ之ト同時ニ監査役ノ職務ヲ行フコトヲ得サラシム監査ト被監査ヲ一身ニ集ムルヲ許ササルナリ監査行爲ヲ爲シ得サル期間ハ取締役ノ職務ヲ行フ時ヨリ之ヲ止メタル後一定ノ書類ヲ定時總會ニ提出シテ其承認ヲ得ル時マテトス

四 會社代表權

監査役ハ監査機關ナルヲ以テ會社ノ代表ヲ爲シ得サルヲ原則トスレトモ或
 場合ニ之ヲ爲スコトヲ得例ハ總會招集ノ如キハ取締役ノ爲スヘキ事ナルモ
 監査役モ之ヲ爲シ得ル場合アル如シ又監査役ハ會社ト取締役ノ訴訟ニ於テ
 會社ヲ代表スル權限アリ(一八五)會社カ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スル場合ニ
 ハ原告タル會社ヲ代表シ取締役カ會社ニ對シテ訴ヲ提起スル場合ニハ被告
 タル會社ヲ代表ス

監査役ハ會社ト取締役ノ訴訟ニ關シテ會社ヲ代表スルニ最モ適當ノ者ナリ
 然レトモ時トシテハ取締役トノ關係上十分ニ法廷ニ争ヒ得サル事情ノ存ス
 ルコトアリ又或監査役ハ此ノ如キ行爲ヲ爲スニ不適任ナルコトアリ此等ノ
 場合ニハ株主總會ノ決議ヲ以テ他人ヲシテ會社ヲ代表セシムルコトヲ得又
 十分一株主カ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ請求シタル場合ニハ特ニ代
 表者ヲ指定スルコトヲ得セシム

監査役カ訴訟ニ於テ會社ノ相手方ト爲ルトキハ會社ヲ代表スル者ハ取締役
 ナルコト言フヲ俟ダス唯或場合ニ限リ法律ノ規定ニ依リ特ニ他ノ者ヲ會社

ノ代表者ト爲シ得ルノミ(一八七)

監査役ハ報酬ヲ受クルヲ通常トス其額ハ多クハ定款ニテ定マルモ定款ニ之ヲ
 定メザルトキハ株主總會ノ決議ヲ以テ定ム

監査役ノ職務ハ會社全般ノ利害ニ注意シ就中取締役ノ行爲ヲ監督スルニ在リ
 曩キニ監査役ノ權限トシテ説明シタルモノニシテ其裏面ニ職務ノ性質ヲ伴フ
 モノ多シ例ハ取締役ニ對シテ事業ノ報告ヲ求メ又ハ會社財産ノ狀況ヲ調査ス
 ルコトハ職權タルト同時ニ職務ナリ株主總會ノ招集訴訟ニ於ケル會社代表ニ
 付テ云フモ亦然リ此外監査役ハ取締役カ株主總會ニ提出セントスル書類ヲ調
 査シ株主總會ニ其意見ヲ報告スヘキ職務アリ

監査役ニハ此等ノ職務アルヲ以テ忠實ニ之ヲ執行セシムル爲メ避止ノ義務ヲ
 負ハシム即チ監査役ヲシテ取締役又ハ支配人ヲ兼スルコトヲ得サラシム(一八
 四)業務ノ監督者ヲシテ同時ニ業務ノ執行者タルコトヲ得セシメサルナリ取締
 役又ハ支配人ト爲ルヲ得サルモ通常ノ代理人又ハ商業使用人ト爲ルコトヲ得
 又監査役ハ業務ノ執行者ニ非サルヲ以テ隨意ニ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社

ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ヘク隨意ニ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ト取引ヲ爲スコトヲ得ヘシ

監査役ノ職務及ヒ之ニ伴フ義務ハ監査役ノ退社ト共ニ終了スルモ若シ監査役ノ任務カ終了シタル場合ニ於テ定數ノ監査役ナキニ至ルトキハ退任シタル監査役ハ新監査役カ就職スルマテ仍ホ監査役ノ權利義務ヲ有スルモノトス

監査役ノ責任

監査役ハ會社及ヒ第三者ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任スルコトアリ即チ監査役カ其任務ヲ怠リタルトキハ其監査役ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任シ又監査役カ法令又ハ定款ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ其監査役ハ第三者ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任スルナリ其外民法ノ不法行爲ノ規定ニ因リテ責ヲ負フハ通則ニ依ル

監査役カ賠償ノ責ニ任スヘキ場合ニ於テ取締役モ亦其責ニ任スヘキトキハ兩者ヲ連帶債務者トス(一八六)

監査役ヲシテ任務ヲ盡サシムルコトニ關シテハ株主總會及ヒ少數株主モ監督ノ權利アリ彼等ハ監査役ニ對スル訴訟ノ方法ヲ以テ其權利ヲ行使ス株主總會ニ於テ監査役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ決議シタルトキハ取締役ハ會社ヲ代表シテ訴ヲ提起スルコトヲ要ス株主總會ニ於テ訴ノ提起ヲ否決シタル場合ニハ資本ノ十分一株主ハ之ヲ取締役ニ請求スルコトヲ得ヘク取締役ハ此請求ヲ受ケタルトキハ訴ヲ提起スルコトヲ要ス其際株主ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得トシ又會社カ敗訴シタルトキハ右ノ株主ハ會社ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任ス會社ニ對シテノミ其責ニ任シ被告タル監査役及ヒ其他ノ者ニ對シテ何等ノ責ニ任セス(一八七)

第四節 會社ノ計算

株式會社ハ財産會社ナリ多數人ノ資カヲ集メ少數人ニテ之ヲ保管使用シ其得タル利益ヲ出資者ニ分配スルモノナリ而シテ多數ノ出資者ハ殆ント全ク業務ニ干渉スルコトナク唯定期時又ハ臨時ニ其出資ヨリ生スル利益ノ分配ヲ得ント

スルニ在ルヲ以テ保管者ヲシテ出資者ノ希望ニ應セシメ且資金又ハ利益ヲ私
スルヲ得サラシメントシテ多クノ監督規定ヲ設ク本節ハ此主意ヨリ出テ會社
財産ノ計算ヲ明確ナラシメ會社ノ基礎ヲ鞏固ニシテ株主及ヒ第三者ノ利益ヲ
保護セントスル目的ヲ有ス

書類ノ整頓

取締役ノ職務ノ一ハ書類ノ記入保管ナリト云ヒ又株主總會ハ取締役ノ提出シ
タル書類及ヒ監査役ノ報告書ヲ調査スト云ヒタリ取締役ヲシテ會社ノ計算ヲ
明カニスル爲メ諸種ノ書類ヲ作成シテ之ヲ株主ノ閱覽ニ供セシムルナリ本節
ニ規定スル書類左ノ如シ

一 財産目録

商業帳簿ノ一ニシテ動産、不動産、債權其他ノ財産ヲ記載シ且目錄調製ノ時ニ
於ケル價格ヲ記載スルモノナリ會社ノ設立登記ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時
期ニ之ヲ作ルヘク年二回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ニ在リテハ毎配當期ニ
作ルヘシ(二六、二七)

二 貸借對照表

商業帳簿ノ一ニシテ貸方借方ヲ記載シ一見シテ會社ノ貸借關係ニ於ケル位
地ヲ知ラシムルモノナリ之ヲ作成スヘキ理由作成ノ時期等ハ大體ニ於テ財
産目錄ニ於ケルト等シ
貸借對照表ハ公告スルヲ要ス之ニ依リテ社會公衆ヲシテ其會社ノ財産上ニ
於ケル情況ヲ知ラシムルナリ株主ハ或時間内ニ會社ノ帳簿ヲ閱覽スルコト
ヲ得ルモ時ト手數ヲ要スルヲ以テ株主モ亦公告ニ依リテ會社ノ貸借關係ヲ
知ルコト多シ貸借對照表ヲ公告セシムル理由ヲ押シテ財産目錄ヲモ公告セ
シムヘント云フ者アルモ商法ハ之ヲ強要セス

三 營業報告書

如何ナル點マテ記載スヘキカハ會社ノ目的タル事業及ヒ各場合ノ情況ニ依
リテ異ナルヘシ

四 損益ノ計算書

會社ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得サルヲ以

ヲ損益ノ計算ヲ明カニスルコトハ每期ノ利益配當ニ先チテ必要ナリ貸借對照表ニ依リテ損益計算ノ一部ヲ知り得ルモ決シテ詳細ナルヲ得ス又彼ト此トハ其目的ヲ異ニス

五 準備金及ヒ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル議案

會社ハ其資本ノ四分ノ一ニ達スルマテ準備金ヲ積立ツル義務ヲ負ヒ取締役ハ其議案ヲ作成シテ總會ノ決議ヲ乞フヘキモノトス尙取締役ハ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル議案ヲ作成セサルヘカラス

取締役ハ此五種ノ書類ヲ定時總會ノ會日ヨリ一週間前ニ監査役ニ提出スルコトヲ要ス取締役ヨリ之ヲ提出シ來リタルトキハ監査役ハ之ヲ調査シ自己ノ意見ヲ添ヘテ總會ノ會日前ニ返還スヘシ(一八三)然ルトキハ取締役ハ其書類及ヒ監査役ノ報告書ヲ本店ニ備ヘ株主及ヒ會社債權者ノ請求ニ應シテ營業時間内何時ニテモ之ヲ閱覽セシムヘキモノトス(一九一)此規定ニ依リ株主及ヒ會社債權者ヲシテ會社ノ情況ヲ知りテ自衛ノ途ヲ講セシムレトモ書類ノ備付ハ定時總會ノ會日前トセルヲ以テ一日前ニテモ可ナルコトト爲リ閱覽權アル者ヲシ

テ殆ント其權利ヲ行使スルニ暇ナカラシムルヲ遺憾トス

取締役ハ此等ノ書類ヲ總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムヘク監査役ハ此等ノ書類ヲ調査シテ作りタル自己ノ意見ヲ報告スヘシ取締役ハ總會ノ承認ヲ得タル後ニ貸借對照表ヲ公告スルコトヲ要ス(一九二)總會カ此等ノ書類ヲ承認スルトキハ會社ハ取締役及ヒ監査役ニ對シテ其責任ヲ解除シタルモノト看做ス(一九三)隨テ書類ハ取締役及ヒ監査役ヲ監督スル具ト爲ルナリ總會カ之ヲ承認セサルトキハ更ニ再調査ヲ命スルカ取締役又ハ監査役ノ行爲ヲ調査シテ責任ノ歸着スル所ヲ定ムルコトニ進行ス

總會ニ於テ書類ヲ承認スルトキハ責任ノ解除シタルモノト看做スモ取締役又ハ監査役ニ不正ノ行爲アリタルトキハ之ヲ解除セズ不正行爲カ書類ノ作成ニ關スルトキハ責任解除ノ基礎ヲ覆スモノトシテ總會テノ者ノ責任ヲ解除セス然レトモ不正行爲ニシテ各員ノ特別行爲ナルトキハ行爲者ノミノ責任ヲ解除セズ取締役及ヒ監査役ハ一人ノ不正行爲ニ對シ必スシモ常ニ連帶責任ヲ負フモノニ非ス

株主ノ調査權

法律ハ取締役ヲシテ種々ノ書類ヲ作成シテ供覽又ハ提出セシムルハ專ラ之ニ依リテ株主ノ利益ヲ保護セントスルニ在リ然レトモ此等ノ書類ハ定時總會ノ會日前ニ閱覽シ會日ニ調査シ得ルニ止ルヲ以テ之ニテハ足ラストシ更ニ株主ニ與フルニ平常會社ノ計算ヲ監督スル權利ヲ以テス即チ十分ノ一株主ヲシテ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ調査セシムル爲メ検査役ノ選任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得セシム(二九八)

各株主ニ此權利ヲ與フルトキハ濫用ノ虞アルヲ以テ十分一株主ノ權利トシ其請求ノ取捨ヲ裁判所ニ委ヌ又調査モ株主自身ヲシテ爲サシメヌ検査役ヲシテ調査セシムルコトトス即チ裁判上ノ検査役ナリ検査役ハ選任ヲ受諾シタルトキハ調査ノ義務ヲ負ヒ其結果ヲ裁判所ニ報告スヘシ裁判所ハ此報告ヲ聽キ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ニ異狀ナシト認ムルトキハ其儘ニ委シ總會ニ報告スル必要アリト認ムルトキハ監査役ヲシテ總會ヲ召集セシム此總會ニ於テ會社ノ業務及ヒ會社財産ヲ調査セシムル必要アリト認ムルトキハ其調査ヲ爲

サシムル爲メ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得即チ總會上ノ検査役ナリ此ノ如ク一方ニ於テ株主各自ノ專權ヲ認メサル代リニ調査ノ請求ニ關シテ供託ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供セシムル義務ヲ負ハシメヌ検査ノ爲メニ會社ニ損害ヲ生スルモ會社ノ負擔トシ検査ノ費用モ亦會社ノ負擔トス

利益又ハ利息ノ配當

株式會社ノ株主ノ最重ノ目的ハ利益ヲ得ントスルニ在リテ他ハ之ニ附隨スルニ過キヌ法律ニ會社ノ計算ト題シテ規定スル所ハ結局會社ノ利益ヲ保護シ正確公平ニ各株主ヲシテ其分配ヲ受ケシムルニ在リ同時ニ會社債權者ノ利益ヲ保護スル規定ヲ設ク

利益ヲ配當スヘキ時期ハ法律ニ限定セヌ一年ニ一回配當スルモ可ナレハ二回以上配當スルモ可ナリ十年毎ニ配當スルモ可ナレハ會社解散ノ際ニノ配當スルモ可ナリ此最後ノ場合ニ在リテハ會社財産ノ分配ト同時ト爲ルヲ以テ或著ハ利益ノ配當ハ株主ニ必要ノ權利ニ非スト云ヘトモ還ハ極端ノ場合ヲ想像シタルモノニシテ通常ハ年一回若クハ二回分配ヌ又解散ノ際ニ分配ストスル

モ單純ナル會社財産ノ分配ニ非スシテ蓄積シタル利益ノ配當ヲ包含スルナリ故ニ利益配當請求權ハ株式ニ必要ノ權利ナリトノ原則外ニ出ツルコトナシ法律ニハ定時總會ハ毎年一回之ヲ招集スルコトヲ要シ年二回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ニ在リテハ各配當期ニ招集スルコトヲ要スト云ヘルヲ以テ少クトモ一年一回ハ利益ヲ配當セサルヘカラサル如ク見ユルモ然ラス定時總會ニ於テハ利益配當ニ關スル決議ヲ爲スハ通常ナルモ常ニ利益ヲ配當スルコトヲ決議スルヲ要セス配當スヘキ利益ナキ時ハ配當シ得サルハ旨フヲ俟タストシ利益アルモ次期ニ繰込ムカ準備金ニ入ル主意ニテ配當セサルモ可ナリ利益ノ配當ヲ爲スニ當リテ充實スヘキ條件ニシテ特ニ規定セルモノアリ損失ノ填補及ヒ準備金ノ控除ナリ(一九五)

一 會社ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス利益ノ性質上旨フヲ俟タス損失ヲ填補セスシテ利益アリト云フハ意味ヲ爲ササルコト合名會社ニ關シテ説明シタルト同シ(六七)損失ヲ填補セスシテ配當ヲ爲スモ其配當ヲ當然無効トセス會社ノ債權者ヲシテ其返還ヲ請求スル

ヲ得セシムルニ止ム亦合名會社ニ於ケルニ等シ

二 會社ハ準備金ヲ控除シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス合名會社ニテハ利益ノ配當ニハ損失ノ填補ヲ唯一ノ條件トスルモ株式會社ニハ更ニ第二ノ條件トシテ準備金ノ控除ヲ必要トシタリ準備金ヲ積立テスシテ配當ヲ爲シタルトキハ會社ノ債權者ヲシテ其返還ヲ請求シ得セシムルコト前場合ニ等シ

利益ノ配當ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ爲ス(一九七)株式ハ平等ナルヲ以テ利益ハ平等ニ分配セラルヘキモノトス故ニ若シ各株ニ同額ノ拂込ヲ爲シタルトキハ利益ハ各株ニ平等ニ配當セラル然レトモ株式ニ全額拂込濟ノモノト一部拂込ノモノアル場合ニハ同額ヲ分配シ得サルハ當然ナリ拂込ハ總テ定款ニ依リシモノナルヲ要ス即チ會社ヨリ拂込ノ通知ヲ受ケルトキハ利益ノ大ナル際取締役ヨリ通知スルヲ待タス拂込ミテ多クノ配當ヲ得ントスル者ヲ生スルカ故ニ之ヲ豫防ス

同種同額ノ株式タリトモ或株主ハ定款ニ依リテ全額ヲ拂込ミ他ノ株主ハ半額ヲ拂込ミ而モ未タ失權セサルコトアリ此場合ニハ前者ニハ後者ノ倍額ヲ配當スヘシ利益ハ利用セラレタル資金ヨリ生シ空額ヨリ生セサレハナリ此ノ如クヌルモ尙全額拂込ノ株主ニ不利益ナリ會社ノ事業ノ發達スルハ會社ノ信用大ナルカ故ナリ而シテ信用ハ定款ニ從ヒ拂込ヲ爲シ會社ヲシテ事業ヲ進行セシムルヨリ生ヌルモノナルニ此點ヲ參考トセス單ニ拂込ミタル金額ニ應シテ配當ヲ爲セハナリ

株式ニ新舊ノ二種アル場合タリトモ若シ同種ノ總株ニ同額ノ拂込アルトキハ配當ハ困難ナラス然レトモ或株主ハ全額ヲ拂込ミ他ノ株主ハ拂込マス而モ拂込額ハ數個ニ分カルトキハ此割合ニ應スル配當ハ極メテ困難ナルヘシ故ニ或國ニテハ利益ハ株式ノ拂込ムヘキ額ニ應シテ之ヲ配當セシムルコトトシ全額ヲ拂込ムヘキ者ニハ實際ノ拂込額如何ニ拘ハラヌ全額半額ヲ拂込ムヘキ者ニハ半額ヲ配當スルコトトシ而シテ會社ヨリ此辨濟義務ト株主ノ拂込義務トヲ相殺スルコトトセリ

優先株主ニハ少額ノ拂込ヲ爲シタル者ニ普通株主ヨリモ多クノ額ヲ與フルコトアリ是レ優先株ノ性質ヨリ來ルモノトシ同種ノ優先株ニ在リテハ必ス平等ニ配當スヘシ諸種ノ優先株ヲ發行シタル場合ニ第一種ト第二種ノ間ニハ差等ヲ附スルコトヲ得ルモ同種ノ株式間ニハ常ニ平等ヲ維持セサルヘカラス

會社ニ利益ナキトキハ何物ヲモ配當シ得サルハ當然ナリ然レトモ會社ノ事業ノ性質ニ依リ長期間利益ヲ生セサルモノニ在リテハ株主ハ無配當ニ堪ユルヲ得スシテ株式ヲ讓渡シ又ハ初メヨリ此ノ如キ株式ニ應募セサルヲ以テ此際特ニ一種ノ配當ヲ許スコトアリ利益ニ非サルカ故ニ利息ノ配當ト云フ會社ノ事業ヲ建設スルマテ支拂フヲ以テ建設利息ト云フ獨逸學者ノ所謂パウチンズナリ我商法ニ屢利益又ハ利息ノ配當ト云フハ此場合ヲ指スモノトス利息ハ資本タル株式ノ拂込金ヨリ支拂フヲ以テ株金ノ拂戻ト同一ト爲リ寧ロ初メヨリ夫レ丈小額ヲ拂込マシムルニ如カスト思ハルモ經濟上及ヒ心理上ノ事情ヨリシテ建設利息ノ如キ變例ヲ生シタリ變例ニシテ濫用セラレ易キヲ以テ其分配ニハ特別ノ條件ヲ附ス

建設利息ヲ與フルニ要スル條件左ノ如シ

- 一 事業ノ性質カ設立登記後二年以上開業ヲ爲スコト能ハサルモノ
 - 二 定款ヲ以テ定ムルコト
 - 三 定款ノ規定ハ裁判所ノ認可ヲ受クルコト
 - 四 開業ヲ爲スマテナリ
 - 五 法定利率以內ナリ
- 一 此利息債務ヲ商行爲ニ因リテ生シタル債務ト解スルトキハ法定利率ハ六分ト爲リ然ラスト解スルトキハ五分ト爲ル多クノ者ハ五分説ヲ採用ス建設利息ヲ配當スルトキハ夫レ丈ケ會社ノ資金ヲ減ス然レトモ之カ爲メニ資本額ヲ減シタリト爲シ得サルヲ以テ貸借對照表ニ於テハ已ムヲ得ス貸ノ部ニ入レテ計算ヲ調停セリ恰モ工事ノ爲メニ土地家屋ヲ購入シタルト同視スルモノトス

準備金

多數ノ國法ハ株式會社ヲシテ一定ノ準備金ヲ積立テシム初メハ何國ニモ準備

金ノ規定ナク會社ハ自ラ注意シテ利益ノ一部分ヲ積立テ非常ノ場合準備ヘタルノミ然レトモ其積立ノ結果良好ナルヲ見テ或國ハ之ヲ法律ニ規定シ名ケテ法定準備金ト云フ最先ニ法定準備金ヲ規定シタルハ一八六七年ノ佛國會社法(三六ナリ多數ノ小國ハ直ニ之ニ模シ伊國商法獨逸商法及ヒ我商法モ亦相次テ此主義ヲ採リタリ

準備金ヲ規定スルモノノ中ニ詳細ニ其財源、目的、使用方法、其上ニ有スル株主及ヒ會社債權者ノ權利、貸借對照表ノ記入方法等ヲ規定スルモノアレトモ獨逸我商法ハ僅カニ準備金ノ財源ト準備金ヲ積立テサル場合ノ制裁ヲ規定スルニ止ム

法定準備金ヲ積立テシムル目的ハ會社ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルニ在リ獨逸商法ニハ會社カ損失ヲ補填スル爲メ準備金ヲ設クルコトヲ要ストシ(獨商二六二)學者ハ解シテ此規定ハ法定準備金ハ必ス損失ノ填補ニ使用スヘキコトヲ強要スルモノナリト云ヘリ會社ノ資産カ減少シタル際之ヲ以テ補充セシメ間接ニハ會社債權者ノ利益ヲ保護スル效モアリ既ニ此目的ヲ有ストセハ一タヒ法定

準備金中ニ入レタルモノハ最早分配スルヲ得ヌ或年度ニ準備金中ニ入レ翌年度ニ之ヲ用キテ利益ノ配當額ヲ増加セシムルヲ得ヌ會社解散ノ場合ニハ其分配ヲ請求シ得ルモ先ツ會社ノ債務ヲ辨濟スルヲ要ス獨逸ノ學者中ニハ破産ノ場合ニ於ケル準備金ニ關シテハ株主ハ會社債權者ト同等ノ權利ヲ有スト云フ者アレハ稀ニハ株主ノ權利ハ優先ナリト云フ者アルモ獨逸商法ノ下ニテモ會社債權者ノ權利ハ優先ナリ我商法ニテ優先ナルハ疑ヲ容レヌ我商法ハ會社カ準備金ヲ控除セスシテ利益ノ配當ヲ爲シタルトキハ會社ノ債權者ハ之ヲ返還セシムルコトヲ得ト明言セリ(一九五)

準備金ノ財源左ノ如シ(一九四)

一 利益

會社ハ其資本ノ四分ノ一ニ達スルマテ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立ツルコトヲ要ス二十分一以上ニシテ上ニ制限ナキヲ以テ利益ノ多大ナル場合ニ一時ニ資本額ノ四分一ヲ積立ツルトキハ一度ノ積立ニテ此要件ヲ充タヌナリ或學者ハ會社カ巨額ノ利益ヲ得タル場

合ニ悉ク之ヲ積立テ毫モ配當セサルハ株主ノ利益配當權ヲ害スルモノニシテ總會ノ決議ヲ以テモ爲シ得ヌト云フモ然ラヌ法律ハ年々ノ利益ヲ年々ニ配當スルコトヲ命セス況ンヤ其利益ヲ法定ノ準備金ニ充ツルニ於テオヤ

二 額面以上ノ拂込金額

額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シタルトキハ其額面ヲ越ユル金額ハ會社資本ノ四分ノ一ニ達スルマテ之ヲ準備金ニ組入ルルコトヲ要ス所謂差額金ノ組入ナリ此方法ハ準備金ヲ遺クルニ最モ適當ノモノナリ又此ノ如クヌルトキハ會社カ額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シ非常ニ有望ナル如ク見セ掛ケ直チニ其差額ヲ分配シ或ハ速カニ之ヲ分配シテ會社ハ株式募集後直チニ利益ヲ得タル如ク見セ掛ケルヲ防キ得ルナリ

差額金ニシテ資本額ノ四分一ニ達スルトキハ會社ハ夫レニテ法定準備金ヲ充實シ利益ハ悉ク直チニ配當スルコトヲ得ヘシ若シ差額金ハ法定準備金ヲ充タシテ餘リアルトキハ余ハ之ヲ株主ニ分配スルモ可ナリト信ス獨逸ノ學者中ニハ券面額ト差額ト相合シテ株主ノ出資額ト爲リ此差額ハ會社財産ノ